

ヲ規定シ且ツ其罪ヲ重クシタルハ職務上犯シ易クシテ防グニ難キヲ以テナリ

**第二百二十九條** 阿片煙ヲ吸食シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

阿片煙ヲ吸食スル爲メ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖リタル者ハ六月以上  
七年以下ノ懲役ニ處ス

【意義】 阿片煙ヲ輸入製造若クハ販賣スルコトヲ禁ズル所以ハ之ヲ吸食スル者アルニ因ル  
ナリ吸食スル者ナケレバ輸入モ製造モ販賣モ禁ズルノ必要ナシ又吸食セザレバ之ニ用フル  
器具ヲ所持シ所有スル者ヲ罰スルノ必要ナシ要スルニ本章ノ規定ハ専ラ吸食ヲ禁ズル手段  
方法ニ外ナラズ是レ本條ノ罪ヲ重クシタル所以ナリ

本條第二項ハ吸食スル爲メニ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖リタル者ヲ罰スルモノナリ阿片煙ヲ吸  
食スルニハ一室ニ入りテ吸食スル者ナレバ他家ノ房屋ヲ借ルコトアリ之ヲ給與シテ利ヲ得  
ントスル者ハ其罪重シ假令房屋ヲ給與スルモ利ヲ圖ルニアラザレバ本罪ヲ成サズ

**第四百十條** 阿片煙又ハ阿片煙吸食ノ器具ヲ所持シタル者ハ一年以  
下ノ懲役ニ處ス

【意義】 所持ト云ヘバ所有トハ其ノ意義ハ異ナルモノナレドモ本條ノ場合ハ深ク此等ノ區

別ヲシテ解釋スルノ必要ナキモノナリ所持シタル者ハ之ヲ販賣シ吸食スルニ當リ使用スル  
コトヲ得ベキヲ以テナリ

**第四百十一條** 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

【意義】 本章ノ未遂罪ヲ罰スルハ阿片煙吸食ノ害ハ甚大ニシテ且ツ未遂ノ場合ニ至レバ其  
犯意ヲ繼續スル者アルガ故ナリ本章ノ未遂罪ノ場合ハ左ノ如シ

第一 輸入ノ未遂ハ税關官吏ノ發見スル所トナリ輸入ヲ遂ゲザル場合ヲ謂フ

第二 製造ノ未遂ニハ器械及ビ原料ノ準備ヲ爲シ正ニ着手シタルニ當リテ發見セラレタル  
場合ヲ云フ

第三 販賣ノ場合ハ販賣ノ契約ヲシテ未ダ引渡ヲ終ラザル場合ニ發見セラレタルガ如キヲ  
云フ

第四 吸食セントシテ未ダ遂ゲザルハ器具ヲ買求メテ既ニ吸食スルコトヲ得ベキニ至リタ  
ルトキ發見セラレタルガ如キ場合ヲ云フ

阿片煙ニ關スル罪

- ◎第二編罪
- 第一阿片煙ヲ輸入製造又ハ販賣シ若クハ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者
- (一)條 件 第二阿片煙ヲ吸食スル器具ヲ輸入製造又ハ販賣シ若クハ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者
- 第三稅關官吏阿片煙吸食ノ器具ヲ輸入シ又ハ其輸入ヲ許シタルトキ
- (二)處 分 第一ノ場合ハ六月以上七年以下ノ懲役第二ノ犯罪ハ三月以上五年以下ノ懲役第三ノ場合ハ一年以上十年以下ノ懲役
- (イ) 阿片煙ヲ吸食シタル者
- (ロ) 阿片煙ヲ吸食スル爲メ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖リタル者
- (ハ) 阿片煙又ハ阿片煙吸食ノ器具ヲ所持シタル者
- 處分 (イ)ノ場合ハ一年以上三年以下ノ懲役(ロ)ノ場合ハ六月以上七年以下ノ懲役(ハ)ノ場合ハ一年以下ノ懲役

第十五章 飲料水ニ關スル罪

【改正要點】 舊法ハ公衆ノ用ニ供スル淨水道ヲ保護スル規定ナシト雖モ單ニ之ヲ一人ノ用ニ供スル淨水等ニ比スレバ其害ノ及ブ可キ範圍極メテ廣キヲ以テ改正法ハ特ニ水道ニ關スル場合ヲ規定シタリ且ツ本章ノ罪ハ其結果タル重大ナルヲ以テ舊法ニ比シ一般ニ刑ヲ重クシタルナリ

第四百二十二條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト

能ハサルニ至ラシメタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰

金ニ處ス

【意義】 本章ノ淨水トハ器物ニ在ルト水道ニ由リ公衆ニ供給スルモノトヲ問ハズ總テ飲料ニ供スルモノヲ云フ

本條ガ人ノ飲料ニ供スル淨水ト云フハ井水又ハ飲料水ヲ貯フル物ニ在ル水ヲ指スナリ故ニ人ト云フモ汎ク公衆ヲ云フニ非ズ汚穢シトハ不潔物ヲ混ジ因テ之ヲ飲料ニ用フルコト能ハザルニ至ラシメタルヲ云フ汚穢ハ自然ニ舊ニ復スルモノニシテ其時間ニ一時ナルト長時間ニ涉ル場合トアリ故ニ法律ガ罪責ヲ負ハシムルニ汚穢ノ甚シキト否ラザル場合トヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

本條ノ規定ハ一般公衆ノ飲料ニ供スル場合ナリト云フ論者アレドモ公衆ニ供スル場合ハ次條ニ規定シ特ニ公衆ニ供スル云々ト明規シタルニ依リテ明カナリ本條ハ特ニ人ノ飲料水ヲ汚穢シタル場合ナレバ廣キ公衆ノ意味ニ用フルコトヲ得ザルモノナリ

第四百二十三條 水道ニ由リ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水又ハ其水源ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ六月以上

七年以下ノ懲役ニ處ス

【意義】 本條ハ水道ニ由リテ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水ト其水源ヲ汚穢シタル場合ヲ規定シタルモノナリ故ニ單ニ汚穢シタルニ止マルモ其害ノ及ボスコト廣キヲ以テ從テ其罪責ハ前條ニ比シテ重カルベキハ當然ナリ

水道ニ由リ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水ヲ汚穢スルトハ必ず其水道ノ或ル途中ヨリ爲スコトヲ謂フ故ニ其水ニ汚穢ノ至ラザル部分ノアルベキナリ然レドモ水源ヲ汚穢シタルトキハ其ノ害一般ニ及ボシテ廣キガ故ニ其罪モ亦從テ重カルベキナリ是レ本條ガ刑ノ範圍ヲ設ケテ六月以上七年以下ノ懲役ニ處スルモノトシタル所以ナリ

第四百四十四條 人ノ飲料ニ供スル淨水ニ毒物其他人ノ健康ヲ害ス可

キ物ヲ混入シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

【意義】 人ノ健康ヲ害スベキ物トハ水質ヲ變ジ又ハ腐敗セシムルモノヲ云フ毒物ハ固ヨリ健康ヲ害スベキモノナルモ其他ノ健康ニ害アルモノトハ水質ヲ變ズル性質ノモノヲ云フ其ノ中毒ノ場合ハ次條ノ危害ヲ生ズルコトアリ

本條ノ行爲ハ前條ニ比シ其害危険アリト雖モ比較的其罪ノ輕キハ前條ハ其害危険ナルコトナシト雖モ一般公衆ニ及ボシ害廣キガ故ナリ本條ハ危険ナリト雖モ公衆ニ關スル場合ニ非

ズシテ單ニ一人又ハ數人ニ關スル場合ナレバナリ

第四百四十五條 前三條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害

ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

【意義】 本條ハ前三條ノ犯罪行爲ニ因リ生ジタル結果ニ付テ罪責ヲ定メタル規定ナリ而シテ前三條ノ犯罪ノ行爲中第四百四十二條第四百四十三條ノ行爲ハ單ニ人ヲ傷害スルニ止マリテ死ニ致スノ結果ヲ生ズルコト是ナカルベキモ第四百四十四條ノ犯罪行爲ハ或ハ人ヲ死ニ致スコトアラン然ルニ前三條ノ犯罪ノ結果人ヲ死傷ニ致シタルモノハ普通傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷スルモノトス是レ普通傷害ノ場合ハ一人又ハ數人ニ止マリテ一時ニ公衆ニ害ヲ及ボスコトナケレバ本罪ト同一ニ視ザルハ至當ナルベキナリ

第四百四十六條 水道ニ由リ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水又ハ其水源ニ

毒物其他人ノ健康ヲ害ス可キ物ヲ混入シタル者ハ二年以上ノ有期

懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ五年以

上ノ懲役ニ處ス

【意義】 本章ノ犯罪行爲中本條ノ場合ハ最モ重ク且ツ其ノ危害ノ及ブ所極メテ廣シ今本條

ヲ説明スルニ左ノ如ク區別スベシ

一 水道ニ由リ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水又ハ其水源ニ毒物其他人ノ健康ヲ害スベキ物ヲ混入スルコト

二 囚テ人ヲ死ニ致シタル者

第一ノ場合ハ第四百十四條ノ行爲ト同一ナレドモ該條ノ場合ハ法文ニ單ニ飲料ニ供スル淨水ニ毒物其他人ノ健康ヲ害スベキ物ヲ混入シタル者トアリテ其害ノ及ブベキ所一人又ハ數人ニ止マルベキヲ以テ本條ノ如ク一般公衆ニ供スル水道ニ由リ爲シタル場合ニ非ズ本條ハ其危險ノ甚大ナルガ上ニ尙ホ公衆ニ其害ヲ及ボスベキヲ以テ其罪モ亦重カルベキナリ然レドモ其害未ダ人ヲ死ニ致シタルニ非ザレバ二年以上ノ有期懲役ニ處スルモノトス

第二ノ人ヲ死ニ致スノ有意犯ナレバ死刑又ハ無期刑ニ處スベキモノナルモ本罪ハ其刑ノ範圍ヲ廣クシテ五年以上ノ有期ノ刑ニ處スベキ場合ヲ定メタルナリ

第四百十七條 公衆ノ飲料ニ供スル淨水ノ水道ヲ損壞又ハ壅塞シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

〔意義〕 水道ヲ損壞シ又ハ壅塞スルハ何レモ公衆ノ飲料ニ供スル淨水ヲ缺乏スルニ至リ間

接ニ危害ヲ生ジ其及ボス範圍モ亦廣キモノナリ然ルニ前數條ノ如ク直接ニ人身ヲ傷害シ又ハ死ニ致スガ如キ危險ハ之無キモ比較的其罪責ヲ重クシタルハ是レ其行爲ガ公衆ニ及ボスヲ以テナリ

本章ノ規定ハ飲料ノ淨水ヲ保護スルモノニシテ今日水道ノ設ケアル場合最モ必要ナル法規ナリ

(一) 一人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハザルニ至ラシメタル者

(二) 水道ニ由リ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水又ハ其水源ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハザルニ至ラシメタル者

(三) 一人ノ飲料ニ供スル淨水ニ毒物其他人ノ健康ヲ害ス可キ物ヲ混入シタル者

(四) 前三條ノ罪ヲ犯シ囚テ人ヲ死傷ニ致シタル者

飲料ニ關スル罪  
右四ヶ條ノ處分(一)ノ場合ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金(二)ノ場合ハ六月以上七年以下ノ懲役(三)ノ場合ハ三年以上十年以下ノ懲役(四)ノ場合ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

(イ) 水道ニ由リ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水又ハ其水源ニ毒物其他人ノ健康ヲ害スベキ物ヲ混入シタル者

(ロ) 公衆ノ飲料ニ供スル淨水ノ水道ヲ損壞又ハ壅塞シタル者  
右二條ノ犯罪處分(イ)ノ場合ハ二年以上ノ有期懲役人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ五年以上ノ懲役(ロ)ノ場合ハ一年以上十年以下ノ懲役

### 第十六章 通貨偽造ノ罪

【改正要點】 舊法ニハ通貨偽造罪ノ成立ニハ偽造又ハ變造ノ行爲ト行使ノ行爲トノ二ケノ要素ヲ必要トシ單ニ偽造ノ場合ニハ刑ヲ減輕スルコト、爲セリ然レドモ改正法ニハ通貨偽造ノ罪ハ通貨ノ偽造又ハ變造ノ成リタルトキニ成立スベキモノト爲シ從テ偽造又ハ變造ヲ罰スルコト、爲シタリ。

舊法ハ貨幣ノ種類ヲ金銀貨及ビ紙幣ト銅貨トニ分チ罪ノ輕重ヲ區別スト雖モ改正法ハ其必要ナシト認メ此區別ヲ廢シタリ又兌換銀行券條例ニ在ルノミナルヲ以テ改正法ハ茲ニ之ヲ規定シタリ

舊法第百八十七條及ビ第百八十八條ハ貨幣偽造罪ノ幫助ノ場合ナルヲ以テ改正法ハ總則從犯ノ規定ヲ以テ足レリトシ之ヲ刪除シタリ

第百四十八條 行使ノ目的ヲ以テ通用ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

偽造、變造ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シ若クハ輸入シタル者亦同シ

【意義】 本條ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ條件ヲ要ス

第一 行使ノ目的ヲ以テ貨幣紙幣又ハ銀行券ヲ偽造又ハ變造シタル者

行使セザルモ行使セントノ目的アリシトキハ本罪ヲ構成スルモノトス而シテ行使ノ目的ヲ必要トスルコトハ總則ヲ適用シテ之ヲ知ルコトヲ得ベキ事項ニアラザレバ之ヲ本條ニ明記シテ置クノ必要アリトスル所以ナリ語ヲ換テ云ハ行使ノ目的ヨリ出デタル偽造又ハ變造ニアラザレバ刑法上ノ偽造變造ニハ非ズト謂フベシ

行使トハ真正ノ貨幣トシテ支拂其他ニ廣ク流通セシムルヲ謂フ即チ直接ニ之ヲ以テ自カラ物ヲ買フニ使用シテ引渡ノ當時ニ於テ之ヲ收受スル者ガ其不正ノ貨幣紙幣タルコトヲ知ラズシテ支拂フコトヲ得タルヲ謂フ其他贈與又ハ供託スル場合ニモ故障ナク引渡サレタルヲ云フ而シテ引渡ノ意ナクシテ單ニ之ヲ提示スルガ如キハ未ダ行使ノ所爲アリタリト謂フコトヲ得ズ苟クモ引渡ノ意アリテ之ヲ提示シタル以上ハ全ク之ヲ引渡サズト雖モ行使ノ未遂罪ヲ構成スルモノトス尙ホ間接ニ例ヘバ其情ヲ知レル他人ヲシテ情ヲ知ラザル者ニ渡シテ眞貨ト信ゼシメタル場合ヲモ包含スルモノトス

第二通用ノ貨幣ナルコトヲ要ス 通用ノ貨幣トハ法律上適用ヲ強制セラレツ、アル所謂現ニ行ハレテ居ル貨幣ト云フコトヲ示ス爲メナリ而シテ單ニ貨幣トスルト通用ノ二字ヲ

加ヘタルトハ別ニ異ナル所ハナキモ或ハ通用禁止ノモノ即チ舊貨幣ト區別スルガ爲ナル  
ノミ

第三偽造又ハ變造シタルモノナルコトヲ要ス 偽造トハ真物ニ模擬スルコトニシテ一方ニ  
眞正ナルモノ、無キニ新タニ之ヲ造ルモ偽造ニ非ズ即チ其ノ標準トシタル眞貨ナケレバ  
ナリ若シ標準ニ據リ造ラザルモノニシテ流通ノ際常人ノ使用スルトキニ一見識別シ得ル  
モノナルトキハ假令ヒ之ヲ行使スルモ詐欺取財トシテ處罰スベキモノナリ而シテ其眞正  
貨幣ニ類似スルコトヲ要スル程度ニ付キテハ眞正ノ貨幣ト誤信スルニ足ルモノタル以上  
ハ假令ヒ一時ノ誤信ニ價スルニ過ギザルモノモ偽造貨幣ト謂フコトヲ得ベシ  
變造トハ真物ニ或部分ノ變更ヲ加ヘテ他ノ眞貨ニ模擬スルヲ謂フ例ヘバ一圓ヲ二圓ト文  
字ヲ變更スルガ如キヲ云フ故ニ其變更ハ必ズ眞貨ノ價值ヲ高クスルモノ多シト雖モ然レ  
ドモ眞貨ノ價值ヲ損減スルコトナキニシモアラズ例ヘバ眞正貨幣ノ縁邊ヲ削リ化學的ニ  
成分ヲ吸取シ又ハ金銀貨ノ中味ヲ抜ク等ノコトアルガ如シ又變造ノ場合ニ假令其材料ハ  
眞正ノ貨幣ヲ變更スルモ之ガ變更ノ程度ヲ超エテ一旦貨幣ノ原體ヲ失フニ至ルトキハ更  
ニ不正貨幣ヲ造リタルハ變造ニ非ズシテ偽造ナリトス  
偽造變造スルニハ行使ノ目的ヲ以テスルヲ必要トスルハ前ニ述ベタルガ如シ是行使ノ目

的ガ本罪構成ノ要點ナレバナリ若シ行使ノ目的ニ出デズシテ技術研究ノ爲メ或ハ美術參  
考品トナサンガ爲メニ偽造變造シテ後チニ至リテ惡意ヲ生ジ之ヲ行使シタルモノ、如キ  
ハ本條ノ間フ所ニアラズ

又行使ノ方法ハ自己ガ直接ニ行使スルノミナラズ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シタル  
トキ例ヘバ支拂ニ充テ之ヲ引渡シタル場合モ本罪ヲ構成スベシ又未ダ人ニ引渡サハルモ  
之ヲ行使スルノ目的ヲ以テ外國ニ於テ偽造變造シタルモノヲ輸入シタルトキハ本罪ヲ構  
成スルモノトス

第百四十九條 行使ノ目的ヲ以テ内國ニ流通スル外國ノ貨幣、紙幣又

ハ銀行券ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス  
偽造、變造ノ外國ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ  
以テ之ヲ人ニ交付シ若クハ輸入シタル者亦同シ

【意義】 本條ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ條件アルヲ要ス

第一 行使ノ目的ヲ以テ内國ニ流通スル外國ノ貨幣紙幣又ハ銀行券ヲ偽造又ハ變造シタル  
者

第二 外國ノ貨幣紙幣銀行券等ヲ偽造變造シタルモノヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シ若クハ輸入シタル者

第一 ノ場合ハ内國ニ流通スル外國ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ偽造又ハ變造シタル者ナルコトヲ要ス即チ内國ニ於テ其通用ヲ認メタルモノニ限リテ内國ニ於テ通用ヲ認メザルモノハ之ヲ偽造又ハ變造スルモ本條ノ罪トナラズ

外國ニ於テノミ通用スル所ノ貨幣紙幣等ハ本章ニ之ヲ除キタルハ明治三十八年法律第十六號ノ規定ニ據ルノ趣旨ナルモノナリ此ノ法律ハ特別ノ事情ニ由リテ規定セラレタルモノニシテ其事情等ノ變遷ニ依リ屢々修正ノ必要ヲ生ズルヲ以テ之ヲ刑法中ニ置クノ不得策ナルヲ以テナリ

本條ニ所謂銀行券ハ兌換券ニ相當スルモノナレドモ之ヲ兌換券ト云ハザリシハ特別法令ニ銀行券ト云フヲ以テナリ其他特別通用ノ性質ヲ有スル銀行券等ハ第十八章ノ有價證券ニ關スル規定中ニ包含セラレ、ナリ

第一百五十條 行使ノ目的ヲ以テ偽造、變造ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ取得シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

【意義】 本條ハ他人ノ偽造變造シタル貨幣紙幣又ハ銀行券ナルコトヲ知リテ之ヲ行使スル

目的ニテ受取リタル場合ヲ規定シタルモノナリ今左ニ之ヲ區別シテ説明スベシ

第一 偽造變造ナルコトヲ知リ行使スル目的ヲ以テ之ヲ取得スルコトヲ要ス尙ホ詳カニ之ヲ言ヘバ情ヲ知リテ即チ偽造又ハ變造ノモノナルコトヲ知リテ之ヲ行使スル目的ヲ以テ受ルコトヲ云フ故ニ唯ダ受取リタルノミニテハ縱令ヒ其情ヲ知リ居ルトキニモ罪トナラズ行使ノ目的アルトキハ未ダ之ヲ行使セザルモ害惡ヲ生ズルノ危險アルヲ以テ罪トスベシ要ハ行使ノ目的ガ本罪ヲ構成スルモノナリ故ニ之ヲ取得スルモ技術研究ノ爲メニ若クハ美術參考品トシテ行使ノ目的ナキトキハ假令其ノ取得後ニ於テ惡意ヲ生ジ之ヲ行使スルモ本條ノ罪ヲ構成セズ然レドモ其ノ行使ガ取財ノ所爲即チ他人ノ財ト交換シ若クハ物件ヲ買得スル意思ニ出デタルトキハ詐欺取財ヲ以テ論ズルコトヲ得ベキナリ

【字義】 取得ノ字義ニ付テハ二様ニ解釋ス其一ハ取得トハ盜取又ハ拾得シタルガ如キ他ヨリ之ヲ受取タルニ非ズ犯人ニ於テ自カラ之ヲ取得シタル場合ナリト他ハ取得トハ取り又ハ受クルノ義ニシテ他ニ之ヲ引渡ス者ナク犯人自カラ之ヲ取得シタルト他人ノ引渡ニ依リ之ヲ受取リタルト問ハズ自己ノ手ニ入りタルヲ云フト此ノ二說ノ中ニ付テハ後說ヲ可トスル者多シ其趣旨ハ偽造變造ノ行爲ナキ者ニ於テ行使ノ目的ヲ以テ情ヲ知テ之ヲ取得スルト盜取シ又ハ拾得スルトハ其犯罪行爲ニ於テ危險ノ及ボス程度ニ差異ナクレバナリ

第一百五十一條 前二條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

〔意義〕 本條ハ前三條ノ行爲ノ未遂罪ハ之ヲ罰スルトノ規定ナリ而シテ前三條ノ未遂罪ハ左ノ場合ニ在リトス

- 一 偽造變造既ニ成テ未ダ行使セザル場合
- 二 偽造又ハ變造セントシテ未ダ成ラザル場合
- 三 偽造通貨輸入罪ノ未遂

第一 ハ行使ニ着手シテ意外ノ障礙ニ依テ其行使ヲ遂ゲザリシ場合ト假令ヒ行使ニ着手スルモ任意ニ中止シタル場合モ之ヲ包含ス法律ハ中止犯ヲ罰セザルヲ原則トシ或場合ニ限リテ之ヲ罰スルモノトシタルナリ本條ノ場合ハ既ニ偽造變造ノ行爲ヲ罰スルガ故ニ單ニ行使ノ中止犯モ罰セザルベカラズ舊法ハ偽造變造ノミニテハ罪トナサザルモ改正法ハ行使ノ目的ヲ以テ偽造變造シタルトキハ單ニ偽造變造ノミニテモ罰スルモノトシテ其行使スル場合ノ有無ニ拘ハラズ之ヲ罰シタルバ偽造變造シテ之ヲ行使セントシタル者ガ之ヲ行使セザル場合ハ行使未遂罪ト爲スベキナリ

而シテ法律ガ未遂罪ヲ罰スル所以ハ危害ヲ社會ニ及ボス事ノ重大ナルニ因ル貨幣紙幣等ノ偽造罪ハ社會公衆ノ信用ヲ害シ危害ヲ加フルノ度大ニシテ廣キガ故ニ行使ノ意思ヲ以

テ之ヲ偽造變造スルトキハ既ニ社會ヲ害スルノ危險ハ生ジ且ツ重大ナルヲ以テナリ

第二 ハ偽造變造未ダ成ラザル場合 偽造又ハ變造ニ着手スルモ未ダ全ク成ラザル場合ハ其原因ノ如何ニ依ラズ偽造變造ノ未遂罪ヲ構成シタルモノトス

第三 ハ外國ニ於テ偽造變造シタル貨幣ヲ內國ニ輸入セントシテ障礙ノ爲メ例ヘバ稅關吏ノ爲メニ差押ヘラレ之ヲ遂ゲザリシガ如キ場合ハ輸入ノ未遂罪ヲ構成スベキモノトス

第五十二條 貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ取得シタル後其偽造又ハ變造

ナルコトヲ知テ之ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シタル者ハ其名價三倍以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス但一圓以下ニ處スコトヲ得ス

〔意義〕 本條ハ當初ニ取得シタルトキハ偽造變造ノ貨幣紙幣又ハ銀行券ナルコトヲ知ラズシテ取得シタル後チ初メテ之ヲ知リタル者ニシテ之ヲ行使シタル者又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シタル者ヲ罰スル規定ナリ

本條ノ罪責ハ之ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シタル各價ノ三倍以下ノ罰金又ハ科料ニ處スルモノトス名價トハ其ノ貨幣等ノ種類ヲ區別シ何圓又ハ何十錢ト稱スル名



目ト其價額ト云フモノナリ是レ金貨一ト圓紙幣一圓トハ其相場價額ヲ異ニスルハ其價額ニ從ヒテ之ヲ三倍スベキ罰金ニ處スト謂フ所以ナリ

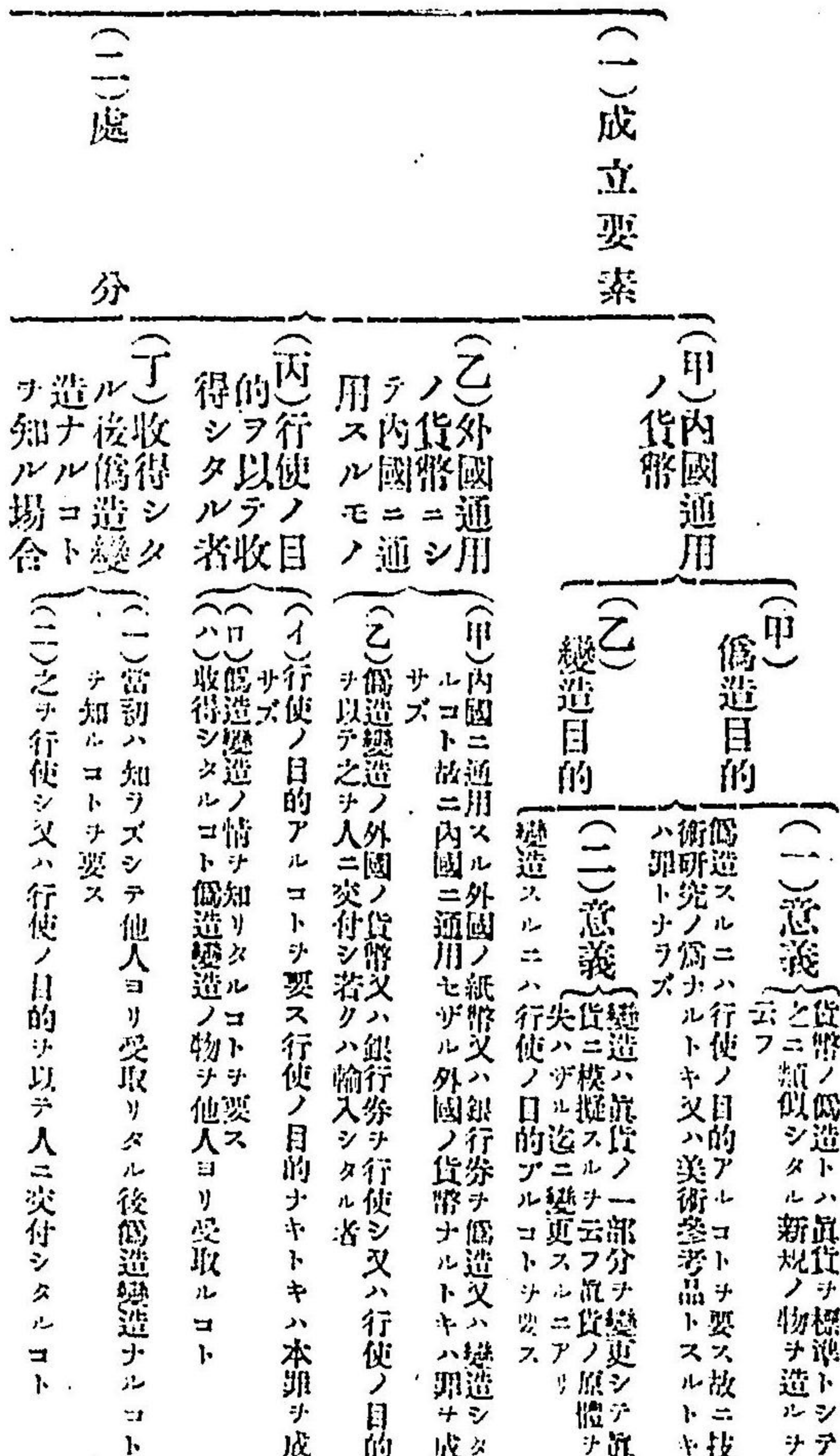
本條ノ罪責ガ比較的輕キハ犯人ニ於テ固ト惡意アルニ非ズシテ唯ダ偽造變造ナルコトヲ知リナガラ之ヲ官ニ告グズシテ使用シタルニ止マレバナリ而シテ本條ノ罰金ヲ一圓以下ニ下スコトヲ得ズトスルハ科料ノ如キハ減輕スルトキハ一圓以下トナルコトアレバナリ

第百五十三條 貨幣、紙幣又ハ銀行券ノ偽造又ハ變造ノ用ニ供スル目的ヲ以テ器械又ハ原料ヲ準備シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

【意義】 本條ハ貨幣、紙幣又ハ銀行券ノ偽造又ハ變造ノ豫備ノ所爲ヲ罰スル規定ナリ

茲ニ米遂ト豫備トノ異ナル點ヲ説明スレバ其程度ヲ異ニスルニ在リ即チ未遂ハ既ニ豫備ノ程度ヲ過ギテ着手實行ニ至リテ或ハ一部分ヲ遂ゲタル場合ナリ豫備ノ所爲ハ着手前ニシテ本罪ノ場合ナレバ或ハ一ノ器械ヲ準備シタルモ豫備ノ所爲トスベキナリ而シテ豫備ニモ其程度ヲ異ニスル場合アリテ僅カニ原料ノ一部或ハ一個ノ器械ヲ準備シタル場合ト器械原料共ニ準備シタル場合ノ如シ本條ガ罪責ノ範圍ヲ三月以上五年以下ノ懲役ニ處スルモノトシタル所以ハ之ヲ以テナリ而シテ本條ノ豫備ハ偽造貨幣ヲ行使スルノ意アリテ偽造器械ヲ豫

シタルトキハ豫備罪トスルナリ若シ其以後ニ於テ之ヲ中止スルコトアルモ本罪ハ既ニ構成スルモノトス是レ本罪ハ經濟上最モ重大ナル影響ヲ及ボスヲ以テ其準備ノ場合ヲモ罰スルモノトス



### 偽造貨幣

- (一) 内國ノ貨幣等ヲ偽造シタル場合
  - (イ) 偽造シタル者
  - (ロ) 行使シタル者
- (二) 外國ノ貨幣ニ係ル場合
  - (一) 偽造又ハ變造者
  - (二) 行使シタル者
- (三) 行使ノ目的ヲ以テ取得シタル者
- (四) 情ヲ知ラズシテ取得シタル場合
  - (イ) 取得シタル後其情ヲ知リテ之ヲ行使シタル者ハ其名價三倍以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
  - (ロ) 取得シタル後行使ノ目的ヲ以テ人ニ交付シ即チ物件ト交換シタル者モ亦前ニ同シ
- (五) 器械原料ノ準備
  - (一) 器械又ハ原料ヲ準備スルコトヲ要ス而シテ自己ガ偽造シタル者
  - (二) 貨幣紙幣又ハ銀行券ノ偽造又ハ變造ノ用ニ供スル目的ヲ以テ器械又ハ原料ヲ準備シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

以上ノ行爲ハ未遂罪ノ場合ヲ罰スルモノトス

## 第十七章 文書偽造ノ罪

【改正要點】 本章改正ノ要點ヲ舉レバ左ノ如シ

- 第一 舊法ハ文書ノ偽造ノミヲ罰シ圖書ノ偽造ニ關スル規定ナシト雖モ改正法ハ文書偽造ノ罪ナル章目ノ下ニ廣ク文書若クハ圖書ノ偽造罪ヲ規定シタリ其必要ナル理由トスルハ例ヘバ檢證圖書ニ添付スル圖書ノ如キハ刑ヲ科シテ以テ其偽造ヲ防止スベキモノトス
- 第二 舊法ハ文書ノ偽造罪ノ成立ニハ原則トシテ偽造ノ行爲ト行使ノ行爲トノ二要素ヲ必要トセリ從テ單ニ偽造シタルノミニテハ未ダ罪トナラズ改正法ハ通貨偽造罪ニ於ケルト同ジク此點ニ修正ヲ加ヘ文書偽造罪ハ行使ヲ待タズシテ既ニ偽造ノ時ニ成立スト爲シ行使ノ有無ハ問ハザルコト、爲シタリ
- 第三 舊法ハ第二百二條末段第二百三條第二項及ビ第二百五條第二項ニ於テ官文書毀棄罪ノ規定ヲ設クト雖モ本罪ハ少クモ文書ノ偽造ト關係ナキヲ以テ改正法ハ改メテ之ヲ本編第四十章毀棄及ビ隱匿ノ罪ノ中ニ規定シタリ
- 第四 舊法ハ其官文書偽造罪ニ於テ單ニ官吏ニ關スル規定ノミヲ設クルヲ以テ改正法ハ之ヲ補修シ官吏ノミナラズ廣ク其他ノ公務員ニモ共通スル規定ヲ加ヘタリ

第五 舊法ハ公務員ガ其職務上虚偽ノ文書ヲ作り又ハ不正ニ官ノ文書ヲ増減變換シタル場合ヲ以テ等シク官文書ノ偽造變造ト爲スト雖モ改正法ハ之ヲ改メ虚偽文書ノ作製又ハ文書ヲ不正ニ増減變換シタル罪ト爲シタリ

第六 舊法ニハ公務員ニ對シ虚偽ノ申立ヲ爲シ戸籍其他ノ公正證書ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタル場合ノ規定ナク唯近來實施セラレタル戸籍法等ニ之ニ關スル一部ノ規定アルノミナルヲ以テ改正法ハ新ニ之ニ關スル規定ヲ設ケタリ

第七 舊法ノ文書偽造罪ニ關スル規定殊ニ官文書ニ關シテハ刑ノ範圍狹キニ過ギ適用ノ際困難ヲ感ズルコトナシトセズ是ヲ以テ改正法ハ之ヲ改メ充分ニ刑ノ範圍ヲ擴張シ裁判所ヲシテ情狀ニ因リ適宜ニ刑ヲ科セシムルコト、爲シタリ

第五十四條 行使ノ目的ヲ以テ御璽、國璽若クハ御名ヲ使用シテ詔書其他ノ文書ヲ偽造シ又ハ偽造シタル御璽、國璽若クハ御名ヲ使用シテ詔書其他ノ文書ヲ偽造シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

御璽、國璽ヲ押捺シ又ハ御名ヲ署シタル詔書其他ノ文書ヲ變造シタ

ル者亦同シ

〔意義〕 刑法上文書トハ法律事實ヲ表明シ證據力アル文書ニ限リ其種類ヲ分クバ左ノ如シ

(一) 官文書ノ類ハ詔書公務所ノ文書、公證文書等ナリ

(二) 私文書トハ私人ノ作成スベキ文書ニシテ左ノ種類アリ

(イ) 有價證券

(ロ) 權利義務ニ關スル證書

(ハ) 其餘ノ私文書ナリ

本條ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ行爲ニ因リテ成ス

第一 行使ノ目的ヲ以テ御璽、國璽若クハ御名ヲ不正ニ使用シテ詔書其他ノ文書ヲ偽造スルコト

第二 偽造シタル御璽、國璽若クハ御名ヲ不正ニ使用シテ詔書其他ノ文書ヲ偽造シタル者

第三 御璽、國璽ヲ押捺シ又ハ御名ヲ署シタル詔書其他ノ文書ヲ變造シタル者

第一 ノ場合ハ詔書其他ノ文書ヲ偽造スルコトヲ要ス詔書トハ天皇ノ名ヲ以テ作製セラルル所ノ文書ヲ總稱ス即チ其中ニハ勅書、勅諭、宸翰ヲモ含ム而シテ其偽造スルニハ之ヲ行使スルノ目的ニ出ヅルニ在リ若シ偽造スルモ行使ノ目的ニアラザル場合ハ本罪ヲ成サ

ズ然ルニ現ニ行使スベキヲ云フニ在ラズ後チニ之ヲ使用シテ或事ヲ爲サントノ目的ノ意思アラバ足レリ

御璽トハ陛下ノ御印ヲ云フ國璽トハ帝國ノ印章ヲ云フ御名ハ天皇陛下陸仁ヲ稱シ奉ル本條ノ詔書ハ天皇陛下國家統治ノ作用ニヨリ作製セラレタル文書タルト單ニ天皇ヨリ外國ノ君主又ハ皇族其他貴顯等ニ發セラル、文書タルトハ問ハズ之ヲ包含スルモノトス

偽造スルニハ眞物ニ模擬スルヲ云フ即チ御璽、國璽等ヲ標準トシテ造リタルモノニシテ

**第二**ノ場合ハ既ニ偽造シタル御璽、國璽、御名ヲ使用シテ文書ヲ偽造スル場合ナリ故ニ此場合ニハ印章等ノ偽造ヲ主トスルニアラズシテ之ヲ使用シテ文書ヲ偽造スルニ在リ使用トハ之ヲ相當ノ場合ニ押捺スルヲ云フ之ヲ押捺セバ其物品書類ヲ使用セザルモ印章ノ使用ハ之ヲ遂ゲタルモノトス故ニ印章ヲ押捺セル書類ヲ行使スルハ即チ書類ノ行使ニシテ印章ノ行使ヲ兼ネタルモノトナルベシ

舊刑法ハ詔書ノ偽造又ハ増減變換ニ付テハ行使ヲ待タズ直ニ既遂トシテ之ヲ處罰スルコト、シテ其偽造又ハ變造シタル詔書ノ行使ニ付テハ其ノ制裁ナカリシヲ以テ偽造變造ニ關係セザル者ハ假令情ヲ知テ之ヲ行使スルモ之ヲ罰セザリシガ改正法ハ行使ノ場合ヲ設ケテ之ヲ處罰スルコト、シテ之ヲ補修シタルナリ

**第三**ノ場合ハ御璽、國璽ヲ押捺シ又ハ御名ヲ署シタル詔書其他ノ文書ヲ變造スル場合ナリ變造ハ眞物ヲ模擬スルニ在ラズ唯ダ其一部分ヲ變更シテ造ルモノナリ偽ト造變造トハ其行爲ニハ差異アレドモ目的即チ之ヲ使用セントスル意思ニ於テ異ナルコトナケレバ其罪ハ同一ナリトス

**第一百五十五條** 行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書若クハ圖畫ヲ偽造シ又ハ偽造シタル公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文章若クハ圖畫ヲ偽造シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス  
公務所又ハ公務員ノ捺印若クハ署名シタル文書若クハ圖畫ヲ變造シタル者亦同シ

前二項ノ外公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書若クハ圖畫ヲ偽造シ又ハ公務所又ハ公務員ノ作りタル文書若クハ圖畫ヲ變造シタル者

ハ三年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

【意義】 公務所トハ官廳及ビ市町村役場ニ至ルマデヲ總テ稱スル義ナリ公務員トハ國務大臣ヨリ市町村役場ノ吏員及ビ代議士又ハ議員ニ至ルマデヲ云フ此等ノ者ノ作ルベキ文書トハ舊法ニ所謂官ノ文書ニシテ即チ閣令、省令、府縣令、判決公判調書、豫審調書、官署ノ會計帳簿又ハ官署ヨリ發スル諸般ノ書面ニ至ル迄苟モ公務所ノ取扱フ事務ニ付テ作ルベク總テノ文書ヲ云フ而シテ公債證書、地券其他ノ權利義務ニ關スル文書ハ第十八章ニ規定シタレバ本章中ニハ之ヲ包含セズ

本條ハ舊法第二百三條及ビ第二百十三條ヲ合セ之ヲ修正シタルモノナリ同法第二百三條第二項ノ文書トハ官署ニ於テ證據トシテ保管スル所ノ文書ヲ謂フ其作製者ノ官吏タルト一私人タルトヲ問ハズ其他訴狀、登記願書ノ如キ假令一私人ニ於テ作製シタル文書ナリト雖モ一旦裁判所ニ於テ證據トシテ保管スル間ハ官ノ文書トナルモノナリ

公務所ノ印章トハ總テ公務所ノ證明ニ用ユルモノヲ謂ヒ公務員ノ印章トハ公務員ガ公務ニ從事シ自己ノ職務ヲ用ユルモノヲ云フ故ニ公務員ノ印章ト雖モ一私人ノ資格トシテ用ヒタルモノハ本罪ヲ構成セズ茲ニ謂フモノハ事務上ニ用ユルモノニシテ例ヘバ何々庶務掛何某ノ印トアルガ如キモノヲ云フ

本條第一項ハ公務所ノ印章若クハ公務員ノ印章、署名ヲ行使ノ目的ヲ以テ文書若クハ圖書ヲ偽造シ又ハ其偽造シタルモノヲ使用シテ公務所又ハ公務員ノ作ルベキ文書若クハ圖書ヲ偽造シタル場合ヲ規定シタルモノナリ

偽造ノ文書ハ作製者ノ名義ヲ詐ルコトノ出來得ベキモノナラザルベカラズ故ニ法律上當然其作製名義ノ偽リタルコトヲ覺知シ得ベキ場合ハ偽造ハ成立セズ例ヘバ現ニ存在セザル公務所ノ名義ヲ以テ文書ヲ偽造スルモ或ハ普通裁判所判決ノ正本ヲ偽造スルニ典獄ノ名ヲ以テスルガ如キ或ハ何レモ其作製名義ノ偽リタルコトヲ覺知シ得ベキヲ以テ此場合ニ於テハ官文書ノ偽造罪ハ成立セザルモノトス

然レドモ其作製名義ノ偽リナキ以上ハ假令其内容ニ虛偽ノ事實アリト雖モ文書ノ偽造ト云フコトヲ得ズ故ニ形式ハ眞實ナラザルベカラズ文書ノ形式ガ眞實ナルトキハ即チ其内容タル事實ノ如何ハ敢テ問フ所ニアラズ

本條第二項ハ公務員ノ捺印若クハ署名シタルモノヲ變造スル場合ノ規定ナリ故ニ總テノ部分ヲ變造セズトモ一部分ヲ眞物ト異ナル點ヲ作リタルモノナリ即チ眞正ナル作製名義ニ依テ作製セラレタル文書ノ内容ノ一部ヲ變更シ印章モ幾分ノ變更ヲ加ヘタルモノヲ云フ而シテ其變造ハ文書ガ證明セント欲スル所ノ事實ニ關スルコトヲ要ス

(判決例) 官文書ノ意義ニ關スル最近ノ判決例ヲ擧ゲテ官文書ノ性質ヲ明カニスベシ其判決例ニ曰ク

刑法第二百三條第二項ニ謂フ官ノ文書ナルヤ否ヤハ其作成者并ニ保有者ガ官廳ナルヤ否トノミニ因リ決定スベキモノニ非ズ尙ホ進シテ其文書ハ官廳ノ所管事務ニ直接關聯スルモノナルヤ否ヤヲ究メザルベカラズ何トナレバ其作製者ハ官廳ナリトスルモ其ノ所管ノ事務ニ直接關聯セザルモノハ之ヲ官文書ト謂フヲ得ザルト同時ニ一方ニ於テハ一人ノ作製シタルモノト雖モ官廳ガ其所管事務ニ直接關聯スル文書トシテ之ヲ保有スルトキハ其官文書タルニ妨ゲナレバナリ故ニ官ノ文書トシテ之ヲ保有スルトキハ其官文ガ官廳ニ依リ作製セラレタル事實又ハ其保管者ガ官廳ナル事務ノ外尙ホ其文書ハ官廳所管事務ニ直接關聯シテ作製シ又ハ保有セラレタル事實ヲ認メザルベカラズ

又一例アリ曰ク  
一 文書ノ偽造罪ハ正當ノ權限ナクシテ他人ノ名義ノ文書ヲ作製シ又ハ之ヲ増減變更スルニ因リテ成立ス從テ偽造變更ノ文書ガ眞實ニ合スルト否トハ犯罪ノ成否ニ何等ノ關係ナシ  
一 或文書ガ町村役場備付ノ公文書ナルカ否ヤハ法律上ノ問題ナリトス故ニ事實裁判所ガ

或文書ヲ以テ公文書ナリト認メタル場合ニハ其證據上ノ理由ヲ説示スルノ必要ナシ

第一百五十六條 公務員其職務ニ關シ行使ノ目的ヲ以テ虚偽ノ文書若クハ圖畫ヲ作り又ハ文書若クハ圖畫ヲ變造シタルトキハ印章、署名ノ有無ヲ區別シ前二條ノ例ニ依ル

【意義】 公務員其職務ニ關シ行使ノ目的ヲ以テ虚偽ノ文書若クハ圖畫ヲ作ルコトハ文書若クハ圖畫ヲ偽造スル者ニシテ其ノ手段方法ハ左ノ如シ

第一 公務員ガ其職務上作ルモノナリ舊法ハ官吏ガ其職務上虚偽ノ文書ヲ作ル場合ヲ以テ管掌ニ係ル文書ヲ偽造スル場合ト爲スト雖モ其文書タルヤ形式ニ於テハ官吏ノ職務上作リタル官文書ナルヲ以テ假令實質ニ於テ瑕瑾アリト雖モ之ヲ以テ文書ノ偽造ト爲スハ不當ノ規定ナリトシテ改正法ハ公務員ガ其職務ニ關シテ虚偽ノ文書ヲ作りタル場合ヲ規定シタルナリ即チ公務員ガ其權限内ニ於テ正當ノ形式ヲ以テ作製スル文書ヲ偽造シ其文書ニハ全ク事實ノナキコトヲ偽リテ作り之ヲ行使セントノ目的ニ在ルモノトス例ヘバ收入吏員ガ領收證ヲ偽造スルガ如シ而シテ其證書ハ不實虚構ノモノナリ然レドモ當該吏員ガ作りタルモノナレバ其文書ハ他人ガ之ヲ眞實ナリトスルヲ以テ行使スルコトヲ得ベキモノナリ

前ノ判決例ニ依ルモ文書偽造罪ニハ權利ナクシテ眞實ナラザル文書ヲ作製スルヲ云フ而シテ眞正ナラズトハ作製者ノ名義ガ眞實ナラザルヲ云フ語ヲ換テ云ハハ他人ノ名義ヲ僞ルヲ云フモノナレドモ本條ノ場合ハ其權利ナキ者ガ文書ヲ僞造シタルニ非ズシテ公務員ガ其職務ニ關シテ眞正ナラザル文書ヲ作りタルモノナリ然ラバ作製者ノ名義ヲ僞リタルニ非ズ作製者ハ公務員ニシテ其内容ヲ僞リタル場合ナルヘシ是レ普通ノ文書偽造罪ト異ナル場合ナリ故ニ眞正ナル文書アリテ之ニ模擬スルヲ要セズ唯ダ公務員ガ自己ノ名義ニ於テ作製スル文書ニ限り本罪ヲ構成スルモノトス要スルニ文書ニ依テ證明セントスル事實ニ付テ僞リタル場合ニシテ例ヘバ登記官吏ガ所有權登記ノ申請ナキニ之アリタル如ク其登記ヲ爲スガ如キ或ハ執達吏ガ強制執行ヲ行ハザルニモ拘ハラズ之ヲ行ヒタルガ如ク僞テ調書ヲ作りタルガ如キヲ云フ

第二 行使ノ目的ヲ以テ之ヲ作ルコトヲ要ス故ニ縱ヒ之ヲ作成スルモ行使ノ目的ニ出デザルトキハ本罪ヲ構成セズ

虚偽ノ文書若クハ圖書ヲ變造スルコト公務員ガ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ文書ヲ作製シ其記載スベキ事實ヲ變更シテ僞ル場合ナリ例ヘバ前例ノ登記官吏ガ土地所有權登記ノ申請アルニ當リ其土地ノ反別畝歩ヲ増減變更シテ登記簿ニ記載スルガ如ク又ハ執達吏ガ強制執行ヲ

行フニ當リ其差押物件ヲ増減シテ調書ヲ作製スルガ如シ

變造シタル文書ニシテ公務所ノ印章若クハ公務所ノ署名ノ有無ニ依リ其ノ刑ヲ輕重スルハ印章若クハ署名ノアルモノハ其文書ニ重キヲ置クヲ以テナリ

第五十七條 公務員ニ對シ虚偽ノ申立ヲ爲シ權利、義務ニ關スル公正證書ノ原本ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

公務員ニ對シ虚偽ノ申立ヲ爲シ免狀、鑑札又ハ旅券ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

前二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

【意義】 本條ハ公務員ニ對シ虚偽ノ申立ヲ爲シタルニ依リテ公務員ニ左ノ行爲ヲ爲サシメタル者ヲ罰スル規定ナリ

第一 權利義務ニ關スル公正證書ノ原本ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタルコト

第二 免狀鑑札又ハ旅券ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタルコト

權利義務ニ關スル公正證書ニ不實ノ記載ヲ爲サシムルトハ事實ナキ權利義務ノ公正證書

ヲ作ラシムルコトヲ云フ例ヘバ不實ノ債權者ヲシテ實際債權アルモノ、如クニ申立偽ルヲ云フ而シテ其目的ハ他ノ債權者ヲ害シ又ハ第三者ニ損害ヲ生ゼシムルニ在ルナリ  
免狀鑑札ニ不實ノ記載ヲ爲サシムルトハ族籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐偽ノ所爲ヲ以テ免狀鑑札ヲ受クルヲ云フモノナリ

第一百五十八條 前四條ニ記載シタル文書又ハ圖畫ヲ行使シタル者ハ其文書又ハ圖畫ヲ偽造若クハ變造シ又虛偽ノ文書若クハ圖畫ヲ作リ又ハ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ト同一ノ刑ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

【意義】 本條ハ前四條ニ記載シタル文書若クハ圖畫ヲ行使シタル者ノ罪責ヲ規定シタルモノナリ

文書ヲ行使スルトハ如何ナル場合ヲ云フカニ付テハ其ノ學說三種ニ分レタリ

第一發送主義 此主義ハ文書ヲ行使者ノ手ヨリ離レタルトキヲ行使シタルモノトスルナリ

例ヘバ郵便函ニ投ジタル場合ノ如シ

第二到着主義 此主義ハ文書ガ詐偽者ノ手中ニ入り之ヲ披見スルニ至リタルトキハ未ダ之

ヲ了知セザルモ行使ヲ遂ゲタルモノトス

第三了知主義 此主義ハ詐偽セラル、者ガ了知セルトキニ行使ヲ遂ゲタルモノトスルニ在リ

茲ニ偽造文書ノ行使ニ付テ今輒近ノ判決例ヲ見ルニ左ノ一例アリ其要旨ハ當事者ガ執達吏ニ對シテ手形償還請求ノ手續ヲ依頼スルニ當リ偽造文書ヲ真正ナル文書トシテ提示シタルモノナリ

(判決例) 執達吏ハ法律ニ依テ付與セラレタル職務權限ニ依リ當事者ヨリノ委託ヲ受ケテ手形償還請求ノ手續ヲ爲スモノニシテ當事者ノ爲メニ無意識ナル使丁ノ勞ニ服スルモノニアラザルヲ以テ當事者ガ手形償還ノ請求ヲ執達吏ニ依頼スルニ當リ偽造文書ヲ真正ノ文書ナリトシテ提示シタルトキハ執達吏ヲ相手方トシテ茲ニ偽造文書ノ行使アリタルモノトス何トナレバ執達吏ガ既ニ單純ナル使丁ニアラズシテ執達吏タルノ資格ニ於テ當事者ノ提示シタル手形ノ眞偽ヲ判斷シ因テ以テ其動作ノ方針ヲ定ムコトヲ得ルノ地位ニ在ルモノトセバ之ニ對シテ偽造手形ヲ提示シ眞正ノ手形ナリト誤信セシムル所爲ハ文書ノ信用ヲ毀損スベキ禍機ヲ包藏スルモノニシテ所謂偽造文書行使ノ區域ニ達シタルモノト謂ハザルベカラザルヲ以テナリ云々



舊法ハ文書偽造罪ノ成立ニハ原則トシテ偽造ノ行爲ト行使ノ行爲トノ二ヶノ要素ヲ必要トシ從テ單ニ偽造シタルノミニテハ未ダ罪トナラズト雖モ改正法ハ通貨偽造罪ト同ジク文書偽造罪ハ行使セズシテ既ニ偽造ノ時ニ成立スルモノトスレバ行使ハ偽造罪ト各別ニ罰セラレ、コト明カナリ是レ本條ヲ規定シテ行使シタル者ノ處分ヲ明示セザルベカラザル所以ナリ

前四條ニ記載シタル文書又ハ圖畫ヲ行使セントシテ之ヲ遂ゲザル者ハ處罰セラレ、モノトス是レ改正法ハ行使ノ目的ニ出デタル文書ノ偽造罪ヲ罰スルヲ以テ之ヲ行使セントシタル者ノ未遂罪ハ印章偽造罪ニ間別スベカラザルヲ以テ明文ヲ設ケテ其未遂ヲ罰スルモノトス

第五百五十九條 行使ノ目的ヲ以テ他人ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ權利、義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ偽造シ又ハ偽造シタル他人ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ權利、義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ偽造シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス  
他人ノ印章ヲ押捺シ若クハ他人ノ署名シタル權利、義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ變造シタル者亦同シ

明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ變造シタル者亦同シ  
前二項ノ外權利、義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ偽造シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

〔意義〕 前條マデハ公文書偽造變造ノ規定ナレドモ本條ハ行使ノ目的ヲ以テ私書ヲ偽造シ又ハ變造シ及ビ行使スル場合ヲ規定シタルモノナリ而シテ本罪ヲ構成スルニハ左ノ行爲アルヲ要ス

第一 行使ノ目的ヲ以テ他人ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用シテ權利義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ偽造シタルコト

第二 偽造シタル他人ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ權利義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ偽造シタル者

第三 他人ノ印章ヲ押捺シ若クハ他人ノ署名シタル權利義務又ハ事實證明ニ關スル文章若クハ圖畫ヲ變造シタル者

第一ノ要件本罪モ亦私書ヲ偽造シ又ハ變造シテ未ダ行使セザルモ其目的ガ行使スルニ在ルトキハ其罪ヲ成立スルモノトス私文書ノ偽造罪成立ノ要素ハ左ノ如シ

(一) 私文書偽造トハ權利ナクシテ真正ナラザル文章ヲ複製スルヲ云フ真正ナラズトハ

作製者ノ名義ガ眞實ナルモノニアラズシテ他人ノ名義ヲ僞ルヲ云フ故ニ其作製セラレタル文書ハ作製者ガ眞實之ヲ作製シタルニアラザルニ其人ガ作製シタルガ如ク見ユルモノヲ作り眞正ナル文書アリテ之ニ模擬スルヲ要セズ

(二) 作製者ノ名義ガ眞實ナラザルトキハ即チ僞造ナルヲ以テ其名義人ガ假想ノ人ナルモ死亡者ナルモ關セザルナリ然レドモ其死亡セル人ノ名義ナルトキハ其文書ノ日付ガ死亡後ナルモ妨ゲナシ

(三) 法律上證據トナルベキ文書ノ體裁アルヲ要ス故ニ法律上事實ノ證據トナスノ意思アリテ文書ヲ僞造セバ如何ナル私書モ本罪ヲ成スナリ若シ此ノ意思ナクシテ僞造スルモノハ行使ノ意ナキト等シク後日訟廷ニ於テ證據トナルコトアルモ本條ノ僞造罪ハ底立セズ

(判決例) 左ノ判決例ハ人ノ眞姓名ト一致セザル名義ヲ用ヒタル文書僞造罪構成ニ關スルモノナリ曰ク

他人ノ名義ヲ冒シテ文書ヲ作成スル場合ニハ人ヲシテ其文書ハ署名者ノ手ニ成リタルモノト信ゼシムベキ形式ヲ以テ作製セラル、ニ於テハ文書僞造罪ノ成立ニ要スル僞造ノ條件ヲ具備スルモノト謂フベシ文書ニ署名セラレタル姓名ガ其人ノ眞姓名ト全然一致スル

コト要セザルモノトス

其理由ニ曰ク凡ソ他人ノ名義ヲ冒シテ文書ヲ作製スル場合ニ人ヲシテ其文書ハ署名者ノ手ニ成リタルモノト信ゼシムベキ形式ヲ以テ作製セラル、ニ於テハ文書僞造罪ノ成立ニ要スル僞造ノ條件ヲ具備スルモノト謂フベシ文書ニ署名セラレタル姓名ガ其人ノ眞姓名ト全然一致スルコトハ必ズシモ之ヲ要セザルモノニシテ文書ノ署名ト眞ノ姓名トノ間ニ多少ノ差異アルモ文書ハ署名者ヨリ出デタルモノナリトノ感想ヲ惹起シ得ベキ限りハ僞造罪ノ成立ヲ妨グルコトナシ云々

文書僞造ノ爲メ他ニ害ヲ生ズルコトヲ要セズ假令ヒ其實害ナカリシモ本罪ヲ構成スルモノトス而シテ僞造文書ノ種類ヲ擧グレバ

第一 權利義務又ハ事實證明ニ關スル文書

權利義務ニ關ハル文書トハ權利義務ノ發生、移轉、消滅等ヲ證明スルコトヲ目的トシテ作製セラレタルモノヲ總稱ス即チ賣買、貸借、贈遺、交換ニ關スル契約書其他委任、寄託、雇傭、請負、組合ニ關スルガ如キモノヨリ其他株券、受取證書、商品切手等ヲモ包含ス而シテ此權利義務ハ單ニ財産ニ關スルモノ、ミナラズ其内容ハ民事ニ關スルト刑事ニ關スルトヲ問ハザルナリ

第二 事實證明ニ關スル文書トハ事實ニ關スル記入ヲ爲スモノニシテ此等ノ文書ハ或ル事實ノ存否ヲ證明スル文書ヲ總稱スルモノニシテ一通ノ手簡ヲモ之ニ屬ス其他願書、届書、宣言書ノ類モ亦事實ノ證明ニ關スルモノヲ謂フナリ身分又ハ戸籍ニ關スル届書若クハ申請書ノ偽造モ事實ノ證明ニ關スル偽造文書ノ中ニ包含ス

(甲) 偽造シタル私印ヲ使用シテ文書ヲ偽造シタル罪ノ構成條件ハ左ノ二項トス

第一 使用ノ目的物ハ他人ノ私印ヲ偽造シタルモノ

第二 偽造シテ行使シタルコト

(乙) 權利義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ偽造シタ罪ノ條件ヲ區別スレバ即チ左ノ如シ

(一) 他人ノ印章トハ自己以外ノ者ノ印章ヲ云フ其印章ハ一個人ヲ代表スルモノニシテ實印タルト檢印タルト將タ店印タルトヲ問ハザルナリ

(二) 之ヲ偽造スルトハ他人ノ印章タルコトヲ誤信セシムベキ影跡ヲ現ハスニ足ルモノヲ新ニ造ルヲ云フ此ノ程度ニ達シタルモノヲ用ヒタレバ其形ノ大小等ハ真物ニ類似スルコトヲ要セズ尙且ツ必ず真物ノ存在スルコトヲ要セズ又此印章ニ依リテ代表セラルル他人ガ現ニ存在スルト否トヲ問ハズ

(三) 偽造シテ行使シタルコトヲ要ス故ニ之ヲ偽造スルモノ之ヲ使用セザレバ本罪ヲ成サズ而シテ偽造ト行使トノ二者アルトキハ行使ハ偽造罪中ニ含ム

右ハ偽造ニ關スル文書ノ場合ニシテ偽造ノ條件ニアラズ偽造ノ要件ハ他人ノ印章ヲ押捺シ若クハ他人ノ署名シタル權利義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ偽造スルコト、偽造ハ真正ナル文書ノ存在スルヲ要ス而シテ其ノ文書ノ内容ヲ變更シテ本來ノ證據力ヲ消滅又ハ變更スルノ所爲ナリ

第一 其材料ハ真正ナル文書ニ因ルモノナリ真正ナル文書ノ存在スルヲ必要トス偽造ハ然ラズ

第二 其内容ヲ變更スルコト例ヘバ證書ノ金額ヲ變更シテ之ヲ増減シ又ハ日附ヲ變更シテ辨濟期限ヲ短クスルガ如シ而シテ其變更ガ大部分ナルモ全體ヲ變更セズ即チ別ノ書類トナラザル以上ハ偽造ナリ

第三 變更ガ有害ナルコトヲ要ス故ニ文書ノ證明セントスル事實ヲ害シテ事實ノ虚偽不實ナルモノトナリタルトキハ文書ノ偽造罪ヲ成立スルモノナリ  
文書ノ偽造ト變造トノ區別ヲ一言ニ盡セバ即チ左ノ如シ

第一 偽造罪ハ眞實ナラザル他人ノ名義ヲ使用シテ文書ヲ作成スルヲ云フモノニシテ其名

義ノ真正ニ在ラザルコトヲ要ス

第二 變造ニ在リテハ虚構ニ文書ノ内容ヲ變更シ其證據力ヲ變更シ消滅セシムルヲ要ス

第六十條 醫師公務所ニ提出ス可キ診斷書、檢案書又ハ死亡證書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

【意義】 本條ハ醫師ガ證書ノ作成名義ヲ僞ルニ非ズシテ疾病證書作成ノ囑託ヲ受ケタル醫師ガ其證書ヲ作成スルニ當リ虚偽ノ事實ヲ記入スルノ所爲ヲ云フモノナリ例ヘバ徵兵忌避者ノ依頼ヲ受ケテ故意ニ疾病ノ證書ヲ作成シテ之ヲ免レシメンコトヲ謀リタルガ如シ是レ本條ハ舊法第二百十五條ヲ修正シタルモノナレバ該條第二項ニ曰ク醫師囑託ヲ受ケテ其詐僞ノ證書ヲ作りタル者トアリシヲ見テ明了ナリ本條ハ其他檢案書又ハ死亡證書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル場合ヲ規定シタルモノナリ  
檢案トハ死體ヲ檢案スルコトニシテ變死又ハ殺人罪ヲ犯シタル者アルトキハ裁判所ガ醫師ニ命ジテ檢案書ヲ作成セシムル場合ニ故意ニ僞リノ檢案書ヲ作りタルガ如シ  
死亡證書ヲ作製スルニ當リ流行病ニテ死亡シタル者ヲ普通ノ病症ニテ死亡シタル者ノ如ク其事實ヲ隱蔽シテ届出デタルトキハ本罪ヲ構成スルナリ

(判決例) 召集不應並疾病證書偽造ノ件ニ付キ最近ノ判例アリ曰ク

一 陸軍刑法第二百四條ニ「疾病ヲ作爲」トアルハ故意ニ疾病ノ原因ヲ作りテ發病シタル場合ノ外疾病ナキニ之アルガ如ク詐ハリ以テ兵役若リハ召集ヲ免レントスル場合ヲモ包含スルモノトス

二 醫師ガ徵兵ヲ免レントスル人ノ囑託ヲ受ケテ詐僞ノ疾病證書ヲ造リタルトキハ刑法第二百十六條ノ犯罪ヲ構成ス而シテ其證書ヲ行使スルト否トハ犯罪ノ成否ニ關係ナシ

第六十一條 前二條ニ記載シタル文書又ハ圖畫ヲ行使シタル者ハ其文書又ハ圖畫ヲ偽造若クハ變造シ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者ト同一ノ刑ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

【意義】 偽造文書ノ行使ハ前ニ述ベタルガ如ク既ニ其文書ヲ眞實ノモノト誤信セシメントテ相手人ニ渡シタルトキヲ以テ行使罪ハ遂ゲタルモノトス故ニ例ヘバ情ヲ知ラザル者ニ對シテ偽造變造ノ文書ヲ示シ之ヲ介シテ他人ヨリ金錢ヲ詐取セントシタルモ他人ガ之ヲ信ゼズシテ其文書ヲ見ザルトキハ行使ノ未遂ナリトスベシ既ニ他人ノ手ニ入りタラバ未ダ實害

ヲ生ゼズ即チ目的ヲ達セザルモ行使ノ既遂トナス尙ホ之ヲ詳言スレバ文書ノ行使トハ欺罔ノ目的ヲ以テ不正文書ヲ行使スルコトヲ意味ス即チ其文書ハ眞實ニ作製セラレ偽造又ハ變造セラレタルモノニアラザルコトヲ主張シツ、其文書ガ證明セントスル目的ヲ以テ他人ニ提示スルコトヲ謂フナリ而シテ現實ニ他人ヲシテ其眞正ノ文書タルコトヲ誤信セシムルノ目的ヲ遂ゲタルト否トハ問ハズ又其行使ハ必ズシモ他人ノ錯誤ニ陥ラシムル以前ナルコトヲ要セザルナリ而シテ其不正文書ヲ提示スルトハ欺罔セラルベキ人ノ目ニ其不正文書ヲ現實ニ映ゼシムルヲ要ス其方法ニ於テハ必ズシモ犯人自カラ之ヲ相手ノ目前ニ提示スルコトヲ要セス或ハ他人ヲ以テスルモ其視覚ニ映ゼシムルガ如キハ總テ行使ト云フコトヲ得ベシ此ノ如ク相手方ニ見セタルトキヲ以テ行使ハ成立ス隨テ單ニ不正文書ヲ朗讀スルニ止マリ其文書ヲ提示セザルカ或ハ不正文書ノ寫ノミヲ提示シ不正文書其ノモノヲ提示セザルガ如キハ未ダ以テ文書ヲ行使シタルモノト謂フコトヲ得ザルナリ

(甲) 公文書

(一) 詔書 (天皇ノ名ヲ以テ作製セラル、文書ニシテ勅書、勅諭、宸翰等ヲ包含ス)  
 (二) 公務所又ハ公務員ノ省、廳、府、縣、市、町、村、役場ニ於テ作ルベキ文書ヲ作ルベキ文書及圖畫 (總稱ス)

(イ) 詔勅 (行使ノ目的ヲ以テ御璽、國璽若クハ御名ヲ使用シテ詔書其他ノ文書ヲ偽造シ又ハ偽造シタル御璽、國璽若クハ御名ヲ使用シテ詔書其他ノ文書ヲ偽造シタル者)

成立要素

(ロ) 公務所又ハ公務員ノ名ヲ使用シテ公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名シタル者

(ハ) 變造

公務所又ハ公務員ノ捺印若クハ署名シタル文書若クハ圖畫ヲ變造シタル者

管掌ノ職責アル者

公務員其職務ニ關シ行使ノ目的ヲ以テ虚偽ノ文書若クハ圖畫ヲ作リ又ハ文書若クハ圖畫ヲ變造シタル者

公務員ニ對シ虚偽ノ申立ヲ爲シタル者

(一) 公務員ニ對シ虚偽ノ申立ヲ爲シ權利義務ニ關スル公正ノ記載ヲ爲サシメタル者

(イ)

行使ノ目的ヲ以テ他人ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ權利義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ偽造シタル者

(ロ)

偽造シタル他人ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ權利義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ偽造シタル者

(ハ)

他人ノ印章ヲ捺捺シ若クハ他人ノ署名シタル權利義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ變造シタル者

(ニ)

右ノ外權利義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ偽造又ハ變造シタル者

(一) 詔書ヲ偽造又ハ變造シタル者

詔書ヲ偽造シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス之ヲ變造シタル者亦同シ

(甲) 管掌ノ職

公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ公務所又ハ公務員ノ作ルベキ文書若クハ圖畫ヲ偽造シタル者又ハ偽造シタル公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名

文書偽造ノ罪

(乙) 私文書成立要素

(一) 詔書ヲ偽造又ハ變造シタル者

詔書ヲ偽造シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス之ヲ變造シタル者亦同シ

(丙) 處分

(一) 詔書以外ノ公文書ノ場合

責ナキ者

〔使用シテ公務所又ハ公務員ノ作ルベキ文書若クハ圖畫ヲ偽造シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス。偽造シタル者亦同シ。〕

(乙) 職責アル者

〔公務員其職務ニ關シ行使ノ目的ヲ以テ文書圖畫ヲ偽造シタル時ハ印章署名ノ有無ニ區別シ前ノ例ニ依ル。〕

(一) 偽造シタル者

〔權利義務又ハ事實證明ニ關スル文書ヲ偽造シタル者三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス。〕

(二) 他人ノ偽造ニ係ル場合

〔他人カ偽造シタル印章若クハ署名ヲ使用シテ文書若クハ圖畫ヲ偽造シタル者ハ亦右ニ同シトス。〕

(三) 變造シタル者

〔他人ノ印章ヲ捺捺シ若クハ他人ノ署名シタル文書圖畫ヲ偽造シタル者亦同シ。〕

(イ) 公務員ニ對シ

〔公務員ニ對シ虛偽ノ中立ヲ爲シ權利義務ニ關スル公正證書ノ原本ニ不實ノ記載ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス。〕

(ロ) 免狀

〔免狀假札又ハ旅券ニ不實ノ記載ヲ爲シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金。〕

(ハ) 以上ニケル場合

〔未遂罪ヲ罰ス。〕

(ニ) 醫師

〔醫師ガ疾病證書ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金。〕

(四) 偽造變造ノ文書ヲ行使シタル者

〔第一百五十四條ヨリ第一百五十七條ニ至ル偽造變造ノ文書又ハ圖畫ヲ行使シタル者ハ其文書又ハ圖畫ヲ偽造若クハ變造シタル者ト同一ノ刑ニ處ス。〕

第十八章 有價證券偽造ノ罪

〔改正要旨〕 本章ノ規定ハ舊法ノ官文書偽造及ビ私文書偽造罪中ヨリ有價證券ニ關スル部分ヲ抽出シ之ヲ合シテ一章ト爲シ多少ノ修正ヲ加ヘタルモノナリ本章ノ罪ハ特別ノ性質ヲ有スル流通證券ニ關スルモノニシテ普通ノ文書ト異ナル所アリ且主トシテ直接ニ財産上ノ利益ヲ目的トスルモノナルヲ以テ之ヲ他ノ文書偽造罪ト區分スル必要アリ又偽造ノミヲ以テ本罪成立ノ要件ト爲シタル所以ハ文書偽造罪ニ就テノ理由ト同一ナリトス。又舊法ハ公債證書、地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ官文書トシ爲替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ證書ハ金額ト交換ス可キ約定手形ヲ私文書トシタルドモ改正法ハ之ヲ合セ公債證書會社ノ株券其他有價證券ニ關スル規定ヲ設ケタルナリ。舊法ハ爲替手形ニ虛偽ノ裏書ヲ爲シタル場合ノミヲ想像スト雖モ狹キニ失スルガ故ニ改正法ハ廣ク之ヲ虛偽ノ記入ヲ爲シタル場合ト爲シテ時急ニ應ゼシ。

第六十二條 行使ノ目的ヲ以テ公債證書、官府ノ證券會社ノ株券、其他ノ有價證券ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

行使ノ目的ヲ以テ有價證券ニ虛偽ノ記入ヲ爲シタル者亦同シ

〔意義〕 本條ハ有價證券偽造ノ罪ヲ規定シタルモノナリ

有價證券トハ公債證書爲替手形ノ類ヲ云フ亦之ヲ流通證券トモ謂フナリ官府ノ證券トハ主トシテ大藏省ノ證券ヲ指シタルモノナリ故ニ法人トシテノ國ノ證券、地方團體ノ發シタル證券ハ此中ニ包含セズ其他ノ有價證券トハ爲替手形又ハ商法上ノ運送狀、預證券、質入證券、船荷證券ノ如キモノヲ謂フ之ヲ流通スルニハ裏書ヲ以テ爲スコトヲ得ベキモノナリ而

シテ此等ノモノニ依リ本罪ヲ構成スルニハ左ノ要件ヲ以テ成ス

- 一 行使ノ目的ヲ以テ公債證書會社ノ株券其他ノ有價證券ヲ偽造又ハ變造シタル者
- 二 前項ノ有價證券ニ虛偽ノ記入ヲ爲シタル者

第一ノ要件 ハ偽造變造ノ所爲ヲ以テ本罪ト爲ス而シテ有價證券偽造ノ場合ハ普通文書ノ偽造トハ其趣ヲ異ニスル所アリ即チ左ノ如シ

(一) 公債證書會社ノ株券ノ如キハ之ヲ偽造スルニハ眞物ニ摸擬<sup>モギ</sup>シテ別ニ之ヲ造ルヲ偽造トスレドモ爲替手形ノ如キハ詐僞ノ裏書ヲ爲シタルトキハ即チ裏書ヲ偽造又ハ變造シタルモノトナル故ニ裏書名義ヲ詐ルカ又ハ變更即チ既ニ記載セラレタル裏書ノ要件ヲ變造スルト同ジキナリ是レ裏書ニ付テモ證書及ビ手形ト等シク之ヲ保護セラルベキモノナレバ裏書ノ偽造又ハ變造ニ付テモ其證書及ビ手形ノ偽造又ハ變造ト同一ニ視做サルベカラズ故ニ其裏書名義ニシテ正シキトキハ假令其内容ニ偽リアルモ裏書ノ偽造ト謂フコトヲ得ズ然レドモ一日記載セラレテ行使シタル後ニ其裏書氏名者ヲ變更スルガ如キ行爲ハ裏書ノ變造ナルベシ故ニ文書ヲ偽造スル意義ニ從ヒ解釋スルトキハ其發行者ノ名義ニシテ僞リナキ以上ハ手形ノ日付ヲ僞リタルガ如キハ未ダ以テ手形ノ偽造ト爲スコトヲ得ズ

其他爲替手形ノ引受保證等ヲ偽造變造スル場合ハ爲替手形ノ偽造變造ト謂フベキナリ

(一) 假想ノ人ノ名義即チ現ニ在ラザル人ノ氏名ヲ以テ手形ヲ振出シタルトキト雖モ手

形ノ偽造行使罪ヲ成スモノトス是レ手形ノ振出名義ヲ偽リタル以上ハ其振出名義人タ

ル者ノ現在スルト否トニ拘ハラズ既ニ手形ヲ偽造行使シタルモノト謂フコトヲ得ベシ

第二ノ要件 ハ有價證券ニ虚偽ノ記入ヲ爲シタルコトヲ要ス虚偽ノ記入トハ日付及ビ金額

ノ如キ手形ノ要件タル事項ニシテ眞實ノ記入ニアラザル場合ヲ謂フナリ然ルニ商法第二

百六十一條第二號第六號第八號第九號ニ記載スル不正ノ報告又ハ不正ノ記入及ビ同法第

五百三十六條第二號ニ規定スル小切手ノ日付ヲ偽ルガ如キハ何レモ其作製者ノ名義ニ於

テ偽リナキモノタルトキハ同條ニ依リ過料ニ處スルニ止マリ本罪ヲ構成セズ

(舊刑法) 舊法第二百四條ニ曰ク公債證書地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ偽造シ又ハ増

減交換シテ行使シタル者ハ云々若シ無記名ノ公債證書ニ係ルトキハ一等ヲ加フ云々ト官吏

ノ公證シタル文書トハ官吏ガ一人私人ニ屬スル事項ヲ公證シ官吏ノ職務上證明シテ特別ノ證

據力ヲ附シ以テ一人私人ニ付與スル文書ヲ謂フナリ公債證書地券ノ如キモノヲ謂フ又同法第

二百九條ニ曰ク 爲替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ證書若クハ金額ト交換スベキ約定手

形ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス其手形證書ニ詐僞ノ裏書ヲ爲シ

テ行使シタル者亦同ジト

第六十三條 偽造、變造ノ有價證券又ハ虚偽ノ記入ヲ爲シタル有價

證券ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シ若クハ輸入シ

タル者ハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

【意義】 本條ハ偽造變造ノ有價證券又ハ虚偽ノ記入ヲ爲シタル有價證券ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シタル場合ノ規定ナリ

改正法ハ文書ノ偽造罪ニハ偽造ト行使ト其刑ヲ同一ニシ單ニ偽造ノミノ場合ニ之ヲ罰スルヲ以テ行使ノ場合ニモ亦之ヲ罰スルコト、シタレバ有價證券ノ偽造變造モ亦同ジク單ニ偽造變造シタルトキモ之ヲ罰シ之ヲ行使シタル場合モ罰スルナリ而シテ其ノ罪責モ亦偽造變造ノ者ト同一ナルハ前ノ通貨偽造及ビ文書偽造變造ノ規定ニ從ヒタルモノナリ



有價證券偽造罪

第一 犯罪要素

第二處

分

- (甲) 行使ノ目的アルコト
- (イ) 偽造又ハ變造スルコト(公債證書、官府ノ證券、會社ノ株券其他ノ有價證券)
- (ロ) 虛偽ノ記入ヲ爲スコト(券)
- (乙) 行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シ若クハ輸入シタル者
- 偽造又ハ變造シタル者ハ三月以上十年以下ノ懲役虛偽ノ記入ヲ爲シタル者亦同シ
- 行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シ輸入シタル者亦同シ此場合ハ未遂罪ヲモ罰スルモノトス

第十九章 印章偽造ノ罪

〔改正要點〕 (一) 舊法ハ官印偽造罪ニ付テハ各其偽造又ハ使用ノ行爲ヲ罰シタリ改正法モ亦印章偽造罪ニハ偽造ナル一行爲ヲ以テ成立ノ要件ト爲スコトハ舊法ト同一ナリト雖モ其偽造印ヲ使用シテ文書ヲ偽造シタル場合ハ之ヲ文書偽造罪中ニ規定シ本章ニ於テハ單ニ印章ヲ偽造シ眞印ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造印ヲ使用スルモ文書ヲ偽造セザル場合ノミヲ規定シタリ又舊法ハ私印偽造罪ニ付テハ偽造及ビ使用ノ二行爲ヲ以テ犯罪成立ノ要素ト爲スト雖モ改正法ハ之ヲ改メ前ニ擧ゲタル如ク偽造ノミヲ以テ成立ノ要件トナシ使用ノ場合ハ官印ト等シク此ニ因テ文書ヲ偽造シタルトキハ之ヲ文書偽造罪ト爲シ單ニ眞印ヲ不正ニ使用

シ又ハ偽造印ヲ使用シテ文書ヲ偽造セザル場合ノミヲ本章ニ規定シタリ而シテ本章ニ於テ單ニ偽造ノ行爲ノミヲ以テ罪ノ成立要件ト爲シタルハ他ノ偽造罪ニ付キ改正ヲ爲シタルト同一ノ理由ニ出デタルモノナリ

- (一) 舊法第百九十八條及ビ第百九十九條ハ特別法ニ規定スベキモノトナシ之ヲ削除シタリ
- (二) 文書偽造罪ト同一ノ理由ニ因リ官印若クハ私印ノ規定ヲ擴張シ汎ク公務所公務員及ビ一私人ノ印章ニ關スル規定ヲ設ケタリ
- (三) 文書偽造罪ト同ジク舊法ハ印章偽造罪ノ刑ノ範圍狹キニ失スルヲ以テ改メテ之ヲ擴張シタリ又改正法ハ本章ノ罪ヲ單ニ印章偽造ノ場合ニ限リ從テ之ヲ使用スルモ文書使造ト爲ラザル場合ノミヲ規定スルヲ以テ其罪狀舊法ニ比シ稍輕キ所アルガ故ニ一般ニ刑ノ程度ヲ低クシタリ

第六十四條 行使ノ目的ヲ以テ御璽、國璽又ハ御名ヲ偽造シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

御璽、國璽又ハ御名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル御璽、國璽又ハ御

名ヲ使用シタル者亦同シ

【意義】 御璽トハ天皇ノ御印ニシテ其文ニ天皇御璽トアルモノ國璽トハ日本帝國ノ印ニシテ其文ニ大日本國璽トアルモノヲ謂フ本罪ヲ成スニハ行使ノ目的ヲ以テ此等ノ印ヲ偽造シ御名ヲ偽造シタルモノナリ而シテ印章ノ偽造ハ官印ノ場合ハ實在スル眞印ニ摸擬スルヲ要ス若シ實在ノ印章ヲ標準トセザレバ偽造ニ非ズ私印ハ然ラズ

偽造スルニ非ズシテ現ニ在ル御璽、國璽ヲ不正ニ即チ其權限ナクシテ使用スルハ盜用ノ所爲ナリ語ヲ換テ謂ハバ不正ニ使用ストハ眞ノ印願ヲ盜ミテ之ヲ押捺スベカラザル書類其他ノ物件ニ押用スルカ又ハ既ニ押用シアル白紙ニ記載スベカラザル事項ヲ記載シ又ハ既ニ正當ニ押用セラレタル影蹟ヲ切り抜キテ之ヲ押用スベカラザル書類又ハ其他ノ物件ニ貼付スル等ヲ云フ而シテ此等ノ所爲ハ他人ヲシテ爲サシムルト犯人自カラ爲ストヲ問ハズ然ルニ偽造者ト使用者ト其人ヲ異ニスルトキハ一人ハ偽造罪ヲ犯シ一人ハ使用罪ヲ犯スモノトス一人ニシテ二クノ行爲アルトキハ使用罪ハ偽造罪中ニ包含セラル、モノトス尙ホ詳カニ言ヘバ同一人ニシテ偽造ト使用トヲ兼タルトキハ行使ノ目的ヲ以テ偽造スルコトハ官印偽造罪ノ成立ニ付テノ必要條件ナレバ其偽印ヲ犯人ガ使用スルコトハ法律ガ官印偽造罪ニ付テ既ニ豫期シタル當然ノ結果ナレバ使用ヲ各別ニ處分スルノ必要ナク然レドモ單ニ偽造ノミ

ニシテ之ヲ行使セザルモ其偽造ガ行使ノ目的ニ在ルトキハ偽造ノミヲ罰スルコトハ前ニ述べタルガ如シ

終リニ印ノ意義ト官印ト私印トノ別ヲ説明スレバ左ノ如シ

第一 印ノ意義印トハ印願即チ木又ハ石材ニ文字ヲ彫刻シタル一個ノ形狀アルモノヲ云フ之ヲ他ノ物體ニ押捺シタルトキハ之ヲ印影又ハ影蹟トモ云フ而シテ永久的ニ現出セシメ以テ或ル事實ヲ證明スルノ用ニ供セラル、モノニシテ一私人ガ證明ニ用ユルモノヲ私印ト云ヒ官ノ證明ニ用ユルモノヲ官印ト云フ而シテ印願ハ之ヲ偽造スルニ當リテ其用ニル所ノ材料ハ何タルヲ問ハズ印ノ影蹟ヲ造ルヲ主トス即チ或ル標準ニ因リ之ニ類似シタルモノヲ造ルナリ然ラバ則チ印影ハ印願ニ依テ現出サル、所ノ影蹟ニシテ印願其ノモノニ非ズ然ルニ印願ヲ製セズシテ單ニ印影ノミヲ摸寫シタルモ未ダ以テ印ヲ偽造シタリト云フコトヲ得ズ而シテ印章盜用ニ付テハ印章ニ依ラザル影蹟ハ盜用罪ト爲スコトヲ得ズ又影蹟ニ關シテハ盜用罪アルモ偽造罪ト偽印使用罪トヲ構成スルコトナシ

第二 官印ト私印トノ別官印トハ御璽國璽各公務所ノ印ヲ云フ即チ公務所ニ於テ慣例上其職務執行ニ付使用スル印願ハ其公務所ノ印章タルベキモノトス私印トハ私人ノ捺用スル印ヲ云フ之ヲ偽造スルニハ二個ノ區別アリ

(一) 官印ヲ偽造スルニハ眞實ニ官署ノ印アルヲ要ス而シテ其影贋ガ眞印ニ類似スルヲ要ス語ヲ換テ言ハゞ眞物ト誤信セラル、程度マデ類似スルヲ要ス

(二) 私印ニ付テハ眞物ニ類似スルヲ要セズ唯ダ其人ノ印章ノ如ク造ルヲ云フ且ツ其人アルガ如ク信用セシムルニアリ故ニ假想ノ人ナルモ他人ヲシテ現實ニ在ル人トシテ信ゼシムルコトヲ得レバ偽造ト謂フヲ得ベシ然レドモ其標準ニ模倣スルコトヲ要ス例ヘバ源頼朝トカ或ハ織田信長ナドノ如ク虚無ノ人ニシテ全ク人ヲ信ゼシムルニ足ラザルモノハ偽造罪ヲ構成スベキモノニ非ズ唯ダ眞印ノ存在ト之ニ類似スルヲ要セザルノミ

第三 使用ト盗用トノ區別

(一) 使用トハ印章ヲ書類其他ノ物件ニ押用スルヲ云フ故ニ印章ノ使用ハ之ヲ押捺スレバ足レリ其書類等ヲ行使セザルモ印章行使ノ目的ハ既ニ遂ゲタルモノナリ而シテ官印偽造ノ場合ニハ左ノ結果ヲ生ズベシ

(イ) 使用ト偽造トハ各別ニ獨立シテ一罪ヲ構成ス

(ロ) 偽造者ト使用者ト人ヲ異ニスルトキハ偽造者ト使用者トノ二人ノ犯罪アルモノトナル

(ハ) 同一人ニシテ偽造ト使用トアルトキハ使用ハ偽造罪ニ包含セラレテ獨立セズ

私印ニ關シテハ偽造ト行使ト各別ニ其罪ヲ構成スルハ官印ト異ナル所ナシ而シテ偽造印ヲ行使スルニハ其用法ニ從ヒ使用セザルベカラズ故ニ例ヘバ市役所ノ偽印ヲ區役所ノ書類ニ押捺シテ行使スルモ其使印ヲ行使シタルト謂フコトヲ得ズ從テ其使印ヲ行使スルニハ其押捺セラレタル物件ヲ行使スルコトヲ要スレドモ必ずシモ其使印ヲ押捺シタル物件ヲ他人ニ提示又ハ交付スルコトヲ要セズ且ツ當然其押捺シタルノミニテ使印行使ヲ遂グルノ場合アルベシ例ヘバ議員選舉名簿ノ如キ一定ノ場所ニ備ヘ付ケタルモノニシテ公衆ノ一覽ニ供セラル、モノヲ變造シ之ニ偽印ヲ行使シタルトキハ同時ニ其行使ヲ遂ゲタルモノナリ

自カラ偽印ヲ押捺スルコトナク他人ガ押捺シタル情ヲ知テ其押捺シタル物件ヲ行使シタルトキハ偽印行使罪ヲ構成スルモノトス

(二) 盗用トハ他人ノ印影ヲ權利ナクシテ不正ニ使用スルヲ云フ官印私印共ニ同一ナリ盗用ノ既遂ト未遂トハ官印私印共ニ行使ヲ以テ既遂トナス

第六十五條 行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ偽造シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス  
公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタ

ル公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シタル者亦同シ

【意義】本條ハ公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ偽造シタル者ト公務所公務員ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ印用シタル者ヲ處罰スルノ規定ナリ

公務所ノ印章トハ公務所ニ備付ケアルモノニシテ公務ノ爲メニ押捺シテ其公務所ヲ表示證明スルモノナリ即チ何省、何局、何府縣、何役所等ト記シアル印章是ナリ

之ヲ偽造スルニハ前ニ述ベタルガ如ク眞實ノ印章ガ現在スルニ模擬スルヲ謂フ若シ眞印ヲ標準トシタルモノニアラザルトキハ官印偽造罪トナラズ且ツ其偽造ハ行使ノ目的ヲ以テ偽造スルコトヲ要ス

偽造シタルニ非ズシテ從來現在スル所ノ公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シタル者ハ其罪前項ニ同ジトス

公務所ノ印章ヲ監守スル職責アルモノト然ラザル者トニ付テハ罪責ノ區別アルモノト是レ改正法ニハ別ニ明文ナシト雖モ刑ノ適用ニ付テハ其ノ範圍内ニ於テ之ヲ區別シテ處分スベキハ言フ俟タザルナリ

公務員ノ印章トハ公務所ニ於テ職務上ニ用ユルモノニシテ何官何某ト記シアル印章ナリ例

ヘバ大阪府庶務掛何某之印ト記シタルガ如シ又何某ト云フ文字ハ之無キモ大阪府庶務掛印トアラバ當時ノ庶務掛何某ヲ代表スルモノナレバ公務員ノ印章ナリ公務員ノ署名モ亦公務ニ付テ用ユルモノナルトキハ其公務所ノ主務ヲ代表スル場合ニシテ例ヘバ内務大臣何某ト記スガ如キモノヲ云フ單ニ何某ト記シタルトキハ公務員ノ署名ト云フベカラズ

第六十六條 行使ノ目的ヲ以テ公務所ノ記號ヲ偽造シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

公務所ノ記號ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル公務所ノ記號ヲ使用シタル者亦同シ

【意義】公務所ノ記號トハ公務所ガ書籍其他產物商品ニ押捺シテ其ノ所屬又ハ出所商品ノ精粗眞贋等ヲ明ニスル爲メニ用ユルモノナリ例ヘバ公務所ノ藏品タルヲ證スルニハ大藏省藏版トシテ書籍ニ押捺シ物産ノ證明ニハ農商務省調査濟ノ書ヲ押スガ如シ而シテ商品產物等ニ用ユルモノハ多クハ烙印<sup>ラウイン</sup>ナリ此等ノ印ヲ記號ト云フ之ヲ盜用スルトハ此記號ヲ職權ナクシテ押用シテ官物ノ如ク裝<sup>ツク</sup>フノ所爲ナリ

本條ハ第一項ニハ此ノ記號ヲ模擬シテ偽造シタル場合ヲ規定シ第二項ニ於テ公務所ノ記號

ヲ不正ニ使用シ即チ盗用シ又ハ他人ノ偽造シタル公務所ノ記號ヲ使用シタル場合ヲ規定シタルモノナリ

(改正法ト舊法) 本條ハ舊法第九十六條ト同一ノ趣旨ノ規定ニシテ舊法ハ產物商品等ニ用ユル記載ト書籍什物等ニ用ユル記號トヲ區別スト雖モ其必要ナキノミナラズ却テ解釋上混雜ヲ來タス虞アルヲ以テ改正法ハ此區別ヲ廢シ一般ニ記號偽造ノ罪ト爲シタルモノナリ而シテ偽造記號使用ノ罪ハ前二條ト同一ノ理由ニ基ヅキ乙ヲ削除シタリ

第六十七條 行使ノ目的ヲ以テ他人ノ印章若クハ署名ヲ偽造シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

他人ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル印章若クハ署名ヲ使用シタル者亦同シ

〔意義〕 本條ヲ解釋スルニハ左ノ四個ニ區別スルコトヲ得ベシ

第一 他人ノ私印ヲ目的物トスルコト

第二 行使ノ目的ヲ以テ偽造シタルコト

第三 他人ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用シタルコト

第四 偽造シタル印章若クハ署名ヲ使用シタルコト

(一) 他人ノ私印トハ自己以外ノ者ノ私印即チ個人若クハ私法人ノ印章ニシテ之ヲ使用シテ私人ヲ代表スルモノナリ

(二) 私印ヲ偽造スルニハ眞印ニ依リ之ヲ摸擬スルヲ要セズ唯他人ノ眞印ト誤認セシムベキ影蹟ヲ現出スルニ足ルノ程度ニマデ達シタル私印ヲ新タニ偽造スルヲ云フ故ニ眞偽ニ類似スルヲ要セズ然ルニ苟モ偽造ト云フ以上ハ他人ノ人影ノ如クニ信ゼシムルニ至ルコトヲ要ス亦其大小形狀等モ必ズシモ眞印ト酷似スルヲ要セズ又眞物ノ存在スルコトヲ要セズ且ツ假想ノ人タルモ妨ゲナシ然レドモ全ク虛無ノ人ニシテ例ヘバ楠正成、足利尊氏等ノ氏名ノ印ノ如キハ人ヲシテ信ゼシムルニ足ラザレバ本罪ヲ成サズ而シテ私印偽造罪ハ偽造シタルノミニテ其行使セザルモ唯ダ其行使ノ目的アリテ偽造シタルバ偽造罪トシテ罰スルモノトス

(三) 他人ノ署名ヲ偽造スルトハ印章偽造ノ場合ト同ジク假想ノ人タリトモ眞實之アル人ナリト信ズルニ足ルモノナレバ本罪ヲ構成シ必ズシモ其眞實ノ人アルヲ要セザルナリ

(四) 他人ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用スルトハ眞實現在スル印章若クハ署名ヲ盗用

スルモノナレバ眞實ナルモノヲ使用スルヲ要ス而シテ之ヲ不正ニ使用スルニ在レバ若シ代理人ガ本人ノ名義ヲ使用シ又使用人ガ主人ノ名ヲ用ヒタルガ如キハ不正ニ使用シタルモノニアラズシテ正當ノ行使ナリ法益ノ侵害ヨリ觀タル私印盜用罪ニ關スル判決例アリ曰ク

(判決例) 或者ガ金圓借用證書ノ紙面ト之ニ貼用セル印紙トニカケ他人ノ承諾ヲ得ズシテ其者ノ實印ヲ押捺シタル場合ニ於テハ其印影ノ有無ハ證書ノ效用ニ影響ヲ及ボスベキモノナルヲ以テ押捺後其證書ヲ行使シタル以上ハ私印盜用罪ヲ構成スベキモノトス

其理由ニ曰ク金圓借用證書ニハ記載ノ金高ニ應ジ法定ノ印紙ヲ貼用シ債務者ニ於テ證書ノ紙面ト印紙ノ彩紋トニカケ消印ヲ爲シ又ハ署名ヲ以テ之ヲ消スベキモノナルコトハ明治三十二年法律第五十四號印紙税法ノ命ズル手續ナレバ金圓借用證書ハ如上ノ手續ヲ完了シテ始メテ法律上完備スルモノト謂フベシ(中略)右印影ノ有無ハ證書ノ效用ニ些ノ影響ナキモノト云フヲ得ズ從テ其押捺後同證書ヲ行使シタル以上ハ其ノ所爲ガ私印盜用罪ヲ構成スベキコト勿論ナルヲ以テ云々

第六十八條 第六十四條第二項、第六十五條第二項、第六十六條第二項及ヒ前條第二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

【意義】 本條ノ罪名ヲ區別スレバ左ノ如シ

第六十四條第二項ノ御璽、國璽又ハ御名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル御璽又ハ御名ヲ使用シタル者

第六十五條第一項公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シタル者

第六十六條第二項ノ公務所ノ記號ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル公務所ノ記號ヲ使用シタル者

第六十七條第二項ノ他人ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル印章若クハ署名ヲ使用シタル者ノ未遂罪ヲ罰スル規定ナリ

偽造ノ印章若クハ署名ヲ使用スルハ其押捺セラレタル物件ヲ行使スルヲ要ス而シテ必ズシモ其押捺シタル物件ヲ他人ニ提示又ハ交付スルコトヲ要セズ又其押捺シタルノミニテ行使ヲ遂グルノ場合アルハ前ニ例ヲ舉ゲタル議員選舉ノ名簿ノ如キモノニ偽印ヲ押捺シタル場合ノ如キ是ナリ然ラバ行使未遂罪ハ偽印若クハ署名ヲ使用シタル物件ヲ行使セントシテ之ヲ遂ゲザルトキニ在ルモノトス唯ダ一ノ例外トシテ議員選舉名簿ニ押捺シタル場合ノ如キヲ既遂ナリトス

### 印章偽造ノ罪

- (一) 成立條件
  - (甲) 種類 (一) 御璽、國璽、御名、(二) 公務所又ハ公務員ノ印章、(三) 公務所ガ產物、(四) 他人ノ印章若クハ署名
  - (乙) 偽造又ハ偽造シタルモノヲ使用スルコト [偽造者ハ偽造罪トシテ罰シ之ヲ行使シタル者ハ行使罪トシテ罰ス]
  - (丙) 目的 [偽造者ハ行使ノ目的ヲ以テ偽造スルヲ要ス若シ行使ノ目的ナキ者ハ本罪ヲ構成セズ]
- (二) 不正ニ使用スルコト
  - (一) [御璽、國璽、御名、公務所又ハ公務員ノ印章、公務所ノ記號、他人ノ印章若クハ署名]
  - (二) [不正ニ使用スルニハ現ニ在ル眞物ナルト又ハ偽造シタルモノヲ盗用シテ行使スルナリ]
- (三) 未遂 罪 [不正ニ行使セントシテ之ヲ遂ケザル者ハ未遂罪ヲ罰ス]
- (四) 本罪處分
  - (一) 御璽、國璽ニ關スル場合ハ二年以上ノ有期懲役、(二) 公務所又ハ公務員ノ印章署名ニ關スル場合ハ三月以上五年以下ノ懲役、(三) 公務所ノ記號ニ關スル場合ハ三年以下ノ懲役、(四) 他人ノ印章ニ關スル場合ハ三年以下ノ懲役

### 第二十章 偽證ノ罪

〔改正要點〕 舊法ハ刑事ニ關スル證人ト民事、商事又ハ行政裁判ニ關スル證人トヲ區別スト雖モ是畢竟偽證シタル刑事ノ證人ニ對シ科スベキ刑ニ付キ詳細ナル區別ヲ爲シタル結果ニ過ギズ改正法ハ刑事ニ關スル證人ノ偽證ニ科ス可キ刑ヲ變更シタルヲ以テ刑事ト他ノ民事商事又ハ行政事件トヲ區別スル必要消滅シタリ是ヲ以テ司法裁判所ニ於テスルト行政裁

判所ニ於テスルトヲ問ハズ證人トシテ偽證シタル場合ニ關シ同一ノ規定ヲ設ケタリ

第一 舊法ハ刑事ニ關スル偽證ヲ分チ被告人ヲ曲庇スル目的ニ出タルモノト之ヲ陷害スル目的ニ出タルモノトニ區別シ其刑ヲ異ニシ又偽證ニ因リ被告人正當ノ刑ヲ免レタル場合ハ曲庇ノ刑ニ一等ヲ加重シ或ハ偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セラレタル場合ニ在テハ反座ノ刑ヲ科スル等罪ノ情狀ニ因リ細密ナル規定ヲ設クト雖モ爲メニ却テ適用上ノ不便ヲ來タシ疑義ヲ生ズルコト少カラズ改正法ハ此弊ヲ避ケン爲メ總テ此等ノ情狀ハ之ヲ裁判所ノ認定ニ一任シテ適宜ノ刑ヲ科セシメント期シ此等ノ煩雜ナル規定ハ全ク之ヲ除キタリ

第六十九條 法律ニ依リ宣誓シタル證人虛偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

〔意義〕 本條ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ條件ヲ必要トス

第一 法令ニ依リ宣誓シテ證人ト爲リタル者

第二 虛偽ノ陳述ヲ爲シタルコト

法令ニ因リ宣誓ストハ法律命令ニ因リ裁判ニ關シ證人トシテ呼出サレタル者ハ其證言ヲ爲スニ付テハ眞實ノ事ヲ申立ツベキ旨ヲ誓ヒ而シテ後チ之ガ證言ヲ爲スモノトス舊刑法ニハ證人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者トアリ而シテ特ニ呼出ニ應ジ法廷ニ出頭シタルモノニ

限ラズ證人トシテ陳述ヲ命ゼラレタル者ヲ云フ故ニ豫審判事が現行犯豫審處分ノ爲メ犯所ニ臨檢シ證人ヲ訊問スルトキ又ハ證人が疾病其他事故ノ爲メ出頭スルコト能ハザル場合ニ於テ豫審判事が證人ノ所在ニ就テ之ヲ訊問スルトキ僞證ヲ爲シタル者モ本罪ヲ爲スベキナリ

裁判所ニ出頭スルモ宣誓スルコトヲ得ザル者アリ彼ノ事實參考人トナリタル者ノ如キハ宣誓スル者ニ非ズ宣誓セザレバ本罪ノ主體トナルコトヲ得ズ其他ノ者ニシテ鑑定人通事等ノ者モ亦宣誓スベキモノナリ

本條ガ廣ク法令ニ依リト爲シタルハ司法裁判所、行政裁判所又ハ其他ノ裁判所ノ命ニ因リ宣誓シテ證人ト爲ル場合ヲ云フ然ルニ裁判手續ニ關セザルモノ例ヘバ檢事及ビ司法警察官ガ非現行犯罪ノ搜查處分トシテ關係者ヨリ證據トナルベキ陳述ヲ聽取り又ハ現行犯罪ノ搜查處分トシテ證人ヲ訊問スルガ如キ場合ハ本條ノ規定ニ從フベキモノニアラズ

(疑問) 證人ト爲ル資格ナキ者ニ誤テ宣誓ヲ爲サシメ其證人が僞證シタル場合ニ之ヲ罰スルヤ否ヤニ付テ二説アリ一ハ一旦法律ニ依リ宣誓シタル以上ハ證人タル資格ノ有無ニ拘ハラズ僞證罪ガ成立スト云フ一ハ其宣誓ハ元來誤リアル者ナレバ縱令形式上宣誓ナシタルモ證人ニ非ザレバ之ヲ僞證罪トシテ罰スルコトヲ得ズト云フ此ノ二説ニ付テハ本法ハ之ヲ罰

スルヲ得ズトスル趣旨ヲ探リタリ

第二 虚偽ノ陳述トハ僞證ヲ爲スコトヲ云フ證人トシテ宣誓ノ上不實ノ陳述ヲ爲スモノナリ而シテ證人トシテ宣誓ヲ爲シタルコト其宣誓ハ職權ヲ以テ判事ノ命令ニ出デタルコトヲ要ス故ニ現行犯ノ場合ニ於テ檢事又ハ司法警察官ノ違法ノ命令ニ因リ宣誓ノ上不實ノ陳述ヲ爲スモノ本罪ヲ構成セズ然レドモ裁判所ニ於テ宣誓ヲ命ゼラレ證人タル資格アル者トシテ宣誓ノ上不實ノ陳述ヲ爲シタル以上ハ宣誓ト云フ刑罰ニ依リタル場合ト雖モ本罪ヲ構成スル者トセザルハ前ニ述ベタルガ如シ

虚偽ノ陳述トハ全ク事實ニ反スルコト又ハ事實ノナキコトヲ證言スルモノトス故ニ法廷ニ於テ何等ノ陳述ヲ爲サルモ本罪ヲ成サズ又知ラズ存ゼズノ一點張ノモノハ陳述ナキモノナリ故ニ本罪ヲ成スニハ證人ニ於テ事實相違ナルコトヲ知リ事實ト相違スル陳述ヲ爲スニアラザレバ本罪ヲ成サズ然ルニ知ラズ存ゼズノ一點張モ其陳述ガ虚偽ニシテ他人ノ犯罪ヲ曲庇又ハ陷害スルノ意ニ出デタルトキハ本罪ヲ爲ス而シテ事實ノ陳述ヲ爲シタルノ罪責ハ一問アル毎ニ答ヲ爲シタル證言ニ依リ之ヲ決スベキモノニアラズ全部ノ陳述ヲ綜合シテ之ヲ決スベキモノトス是レ證人ハ豫審ニ於テハ其調書ニ署名スル迄又公判ニ於テハ一回ノ訊問ヲ終ルマデ其陳述ヲ變更増減スルコトヲ得ベキモノナルガ故ニ同一被告事件ニ付テハ同



一ノ宣誓ノ下ニ數回ノ訊問ヲ爲スコトアルヲ以テ豫審公判共ニ同一宣誓ノ下ニ於テスル總テノ陳述ヲ以テ虛偽ナルヤ否ヤヲ決スベキナリ

刑事ノ證言ニハ被告ヲ曲庇陷害スル爲メ虛偽ノ陳述ヲ爲スモノナリ曲庇トハ被告人ヲシテ不正ニ刑ヲ與レ又ハ刑ヲ減輕セシメンガ爲メニスルヲ云フ陷害トハ被告人ヲシテ罪ナキ者ニ無實ノ刑ヲ受ケシメ又ハ不當ニ重キ刑ヲ受ケシメントスルニ出タル所爲ヲ云フ此等ノ目的ニ出デタルトキハ其ノ偽證ノ結果其目的ヲ遂ゲタルト否トヲ問ハズ罪ヲ構成シ又曲庇ノ場合ニ於テモ本案ノ被告人ガ果シテ有罪タルベキ者ナリヤ否ヤヲ問ハザルナリ

**第七十條 前條ノ罪ヲ犯シタル者證言シタル事件ノ裁判確定前又ハ懲戒處分前自白シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得**

【意義】 前條ノ罪ヲ犯シタル即チ證人ガ虛偽ノ陳述ヲ爲シタルト雖モ證言シタル事件ノ裁判ガ確定前又ハ懲戒處分前ニ自白シテ陳述ガ虛偽ナリシコトヲ申立ツルトキハ或ハ其刑ヲ減輕シ又ハ免除スルコトヲ得ルモノトス

本條ハ總則自白ニ關スル例外ノ規定ニシテ其例外トスベキ所ハ第一自由ノ時期ニ付テハ其事件ノ裁判確定前又ハ懲戒處分前ナルコト第二自白ノ效力ハ其刑ヲ免除スルコトヲ得ルコト是ナリ然レドモ總則自白ノ規定ニ該當スルトキハ其刑ヲ減輕スルニ止マルモノトス

【改正要點】 舊法ニ於テハ其事件ノ裁判宣告前自白スルトキハ本刑ヲ免ズルコトヲ得ルモノト規定スト雖モ改正法ハ其事件ノ裁判確定前又ハ懲戒處分前ニ被告人ガ偽證シタルコトヲ自白スレバ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得ト改メタルナリ是一方ニ於テハ自首ヲ自白ニ改メタルヲ以テ刑ヲ減輕スベキ場合ノ道ヲ開キ他方ニ於テハ自首以外ノ自白ニモ刑ヲ減輕スルヲ以テ其減輕ノ程度ヲ減却シタルモノナリ

自首トハ犯罪ノ發覺前ニ自カラ官ニ告グルヲ云ヒ自白ハ決廷ニ於テ裁判ノ訊問ニ應ジテ事實ヲ申立ツルヲ云フナリ

【改正要點】 舊法第二百二十五條ニ人ニ囑託シテ偽證又ハ詐偽ノ鑑定通事ヲ爲サシメタル場合ノ罪責ヲ規定スト雖モ改正法ニハ此規定ヲ刪除シタル蓋シ是等ノ場合ハ之無キモノトシタルモノナラン是舊法ノ下ニ於テモ特別ノ身分ヲ構成要件トスル犯罪ト雖モ教唆ノ方法ニ依ルトキハ其身分ナキ者モ亦之ヲ犯スコトヲ得ベシト解釋スベキヲ以テ畢竟無用ノ條文トナシタル所以ナリ

**第七十一條 法律ニ依リ宣誓シタル鑑定人又ハ通事虛偽ノ鑑定又ハ通譯ヲ爲シタルトキハ前二條ノ例ニ同シ**

【意義】 鑑定人トハ或ル營業ニ専門ノ者ニ命ジテ事實ノ證明ヲ爲サシムルモノヲ云フ例ヘ

ハ死體檢案ハ醫師ノ鑑定ヲ要シ書畫ノ鑑定ハ書畫家又ハ骨董家ニ鑑定セシムルガ如シ是裁判官タル者萬能ニ非ザレバ皆一々鑑定スルコト能ハズ鑑定人ヲシテ鑑定ヲ爲サシムルノ必要アル所以ナリ

通事トハ法廷ニ於テ外國人ノ陳述ヲ聽取ラシメ之ヲ日本語ニ譯スル所謂通辯人ナル者ナリ

本罪ヲ構成スル要件ハ之ヲ三個ニ分ツコトヲ得ベシ即チ左ノ如シ

第一 裁判事件ニ關シテ申立ツルコト

第二 法令ニ依リ宣誓シテ鑑定人又ハ通事ト爲リ虚偽ノ申立ヲ爲スコト

第三 當事者ヲ不正ニ利シ又ハ害スルノ目的ニ出ヅルコトヲ要ス是レ曲庇陷害ノ二個ノ有意犯ナリ

意犯ナリ

(甲)本罪ヲ犯ス(一)證人(二)鑑定人 [法律ニ依リ宣誓シタルコトヲ要ス若シ宣誓セザル者ハ罪トナラズ事實參考人ノ如シ]

(乙)犯罪要素 [虚偽ノ陳述ヲ爲スコト其陳述ハ被告人ヲ曲庇陷害スル目的ニ出ヅルコト]

偽證ノ罪

(丙)事項場所 [刑事又ハ民事商事、行政事件ニ關スルコト公判及ビ豫審判事犯所ニ隨檢シタル場合ナルコト]

處 分 [証人が虚偽ノ陳述ヲ爲シタル場合ハ三月以上十年以下ノ懲役、鑑定人又ハ通事モ亦同ノ罪ニ處ス]

減輕 免除 [偽證シタル事件ノ裁判確定前又ハ懲戒處分前自由スルコト]

### 第二十一章 誣告ノ罪

【改正要點】 本章修正ノ要旨ハ舊法ニ於テハ人ヲシテ行政上ノ懲戒處分ヲ受ケシムル爲メノ誣告ニ關スル規定ヲ缺クヲ以テ改正法ハ其必要ヲ認メテ之ヲ補修シタリ又本章位置ヲ變更シタルハ誣告ノ罪ハ主トシテ信用ニ關スルモノニシテ身體ニ對スルハ寧ロ本罪ノ結果ニ過ギザレバナリ

又偽證罪ノ場合ニ被告人刑ニ處セラレタルト否トヲ分タズ處罰ノ程度ハ一ニ裁判所ノ認定ニ任ズルコト、シ之ガ爲メ刑ノ範圍ヲ廣クシタルト同一ノ理由ニ基キタリ

第七十二條 人ヲシテ刑事又ハ懲戒ノ處分ヲ受ケシムル目的ヲ以テ虚偽ノ申告ヲ爲シタル者ハ第六十九條ノ例ニ同シ

【意義】 誣告罪ノ要素ハ左ノ如シ

第一 不實ノコトヲ告グルコト 犯罪事實ノナキニ犯罪ノ行爲アリト告グルヲ云フ故ニ犯罪ガ實際アリタルヤ否ヤハ本罪ノ成立スルト否トニ關スル所ナリ而シテ之ヲ申告スルニハ不實ノ事タルヲ知りテ不實ノ事ヲ告グルヲ云フ故ニ不實ナリト信ジテ眞實ノ犯罪事實ヲ告ゲ又ハ眞實ナリト信シテ不實ノ事ヲ告グルハ本罪ヲ成サズ

本罪ハ客體ナカルベカラズ其ノ客體タルベキモノトスルノ說三個ニ分レタリ即チ左ノ如シ

第一 本罪ハ誹毀ノ一種ニシテ其客體ハ誣告セラレタル個人ナリ

第二 本罪ハ司法ヲ侵害スルノ所爲ニシテ其客體ハ國家ナリ

第三 本罪ハ個人ノ利益ト國家ノ司法トニ對スル侵害行爲ニシテ其客體ハ誣告セラレタル個人ト國家ナリ

右三說中第三說ヲ採ルベキモノトス然ラバ則チ本罪ノ客體ハ被誣告者ト國家ナリ故ニ左ノ結果ヲ生ズルナリ

第一 誣告ハ人ヲ特定スルヲ要ス已ニ死亡シタル人又ハ假令ノ人ヲ誣告スルモ本罪ヲ成サズ然レドモ氏名ヲ指スヲ要セズ其風采年齢等ヲ以テ其何人タルコトヲ知ルコトヲ得ベケレバ足レリトス

申告者自カラ進ンデ告グルヲ要ス裁判官ノ訊問ニ對シテ應答スルコトヲ云フニ非ズ而シテ其申告ハ被告人ト爲リ審問ヲ受クルノ際自カラ其罪ヲ免カレンガ爲メニ他ハヲ陷害スルコトヲ告グルヲ云フ又人ハ一人ニ限ラズ數人ヲ一時ニ申告スルモ本罪ヲ爲サズ

第二 申告ノ形式ハ法律ニ限定セラレザルヲ以テ告訴告發ノ式ニ依ルコトヲ要セズ申告ハ自カラ發意シテ告グルモノナルガ故ニ證人參考人ガ官吏ノ訊問ヲ受クルニ當リ他人ニ關

スル不實ノ陳述ヲ爲スモ誣告ト云フコトヲ得ズ然レドモ例ヘバ司法警察官又ハ檢事ノ取調ヲ受クルニ當リ其取調ヲ受クル事項ト全ク關係ナキ事件ニ付テ不實ノ陳述ヲ爲ストキハ誣告タルモノトス

第三 相當官吏ニ告グルコトヲ要ス例ヘバ檢事、司法警察官地方長官ノ如キハ相當官吏ナリ而シテ其直接ナルト間接ナルトヲ問ハズ例ヘバ巡查憲兵兵卒ノ如キ之ヲ受クベキ職責ナキ官吏ニ申告スルモ此等ノ官吏ヲシテ審事又ハ司法警察官ニ申告ノ事件ヲ了知セシメタルトキハ誣告ト云フコトヲ得ベク而シテ相當官吏ニ於テ誣告ヲ受理シタルトキハ本罪ノ既遂トナル

第四 申告ノ内容ハ判事又ハ懲戒ノ處分ヲ受ケシムル目的ナルコトヲ要ス舊法ニハ單ニ犯罪事件即チ重罪輕罪違警罪ノ事項ニ限ラル、ト雖モ改正法ハ懲戒處分ヲ受ケシムル爲メニモ誣告スルコトヲ罰スルモノトシタリ而シテ其申告事項ハ特定ノ事項タルコトニシテ漠然ト要領ヲ得ザル申告ハ誣告ト云フコトヲ得ズ又申告ノ内容ニ於テ犯罪ノ構成要件ヲ欠缺セルトキハ本罪ヲ構成セズ例ヘバ被誣告者ガ無能力者タルコト犯罪ガ公訴時効ニ罹ルコト或ハ親族間ノ相盜タルガ如キコトヲ申告スル場合其他親告罪ニ付キ被害者又ハ告訴權者ノ名義ヲ以テ申告セザリシガ如キ是ナリ

第五 申告ノ事項ハ處罰セラルベキモノタルコトヲ知リタルコト然レドモ處罰セラルベキ所爲タルコトヲ知リタル以上ハ其刑ノ適用ノ如何ヲ知ルヲ要セズ

第六 申告者ガ自己ニ對スル犯罪ノ訴追ヲ防グ爲メ又ハ刑ノ執行ヲ免カル、目的ヲ以テ他人ヲ誣告シタル場合ニ於テモ本罪ヲ構成ス而シテ本罪ハ申告ノ事項ガ官吏ニ受理セラレタルトキニ既遂トナルガ故ニ初メハ善意ヲ以テ申告シ後ニ其不實タルコトヲ知リタルニ拘ハラズ猶ホ申告ノ事實ヲ眞實ナリト主張スルモ本罪ヲ構成セズ

第七十三條 前條ノ罪ヲ犯シタル者申告シタル事件ノ裁判確定前又ハ懲戒處分前自白シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

〔意義〕 裁判確定前トハ公訴ノ提起ニ因リ訴ヲ審理スル爲メニ豫審又ハ公判ニ於テ被誣告者タル被告人ヲ尋問スル等ノ場合ヲ云フ若シ被告ガ缺席シタルトキハ被告ヲ訊問シタルトキト同一ノ訴訟手續ヲ爲シタルトキ即チ缺席判決言渡前ニ自白スルコトヲ要ス

虚偽ノ申告

(イ) 刑事ニハ懲戒ノ處分ヲ受ケシムル目的ニ出ヅルコトヲ要ス

(ロ) 不實ノ事ヲ告グルコトヲ要ス (犯罪事實ノナキニ犯罪アリト告グルヲ云フ)

誣告罪

處

分 (誣人ガ虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキト同シク三月以上十年以下ノ懲役)

刑ノ減免 (申告人ガ申告シタル事件ノ裁判確定前又ハ懲戒處分前自白シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス)

第二十二章 猥褻、姦淫及ヒ重婚ノ罪

第七十四條 公然猥褻ノ行爲ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス

〔意義〕 本條ノ罪ハ左ノ行爲アルニ因リテ成立ス

第一 公然ナルコト 公然トハ人目ニ觸レ殊ニ白晝ノ意義ヲ含ム即チ白晝衆人ノ往來スベキ途上通行ノ人ガ目撃スル所又ハ公ノ場所即チ公園等ノ如キ衆人ノ頻繁ニ逍遙スル所ヲ云フ又ハ往來ヨリ見ルベキ家屋ノ窓戸ヲ開キタル所ヲ云フナリ是レ本條ノ罪ハ衆人ガ觀テ以テ惡感情ヲ催スベクシテ風俗ヲ害スル行爲ナレバナリ

第二 猥褻ノ行爲アルコト 猥褻トハ姦淫ニアラズ陰部ニ觸スル醜體ヲ爲スコトニシテ色情ヲ喚發シ淫事ニ屬スル行爲ナリ故ニ必ズシモ相手方アルヲ要セズ又相手方ニ對スルヲ要

セズ一人ニテ陰部ヲ顯ハシタル如キモ或ハ夫婦間ノ適法ノ所爲モ公然ナルトキハ本罪ヲ爲スモノトス

猥褻ノ行爲ナルガ故ニ假令ヒ他人ニ對シ甚シク羞耻<sup>シウヂ</sup>ノ感情ヲ喚起スベキ醜體ナリト雖モ猥褻ノ行爲ト云フコトヲ得ズ例ヘバ必要アリテ裸體ト爲ルガ如キ水中ニ入ル場合ノ如キ是ナリ要スルニ男女ノ異性ニ對シ即チ男ガ女ニ對シ女ガ男ニ對シテ淫事ニ屬スルコトヲ行フニ在リ而シテ其行爲ガ果シテ風儀上ノ感情ヲ害スル猥褻ノ行爲ナルヤ否ヤハ現時ノ社會ニ於テ一般ニ寫シ出サレタル風俗上ノ感情ヲ標準トシテ定ムルコト、セザルベカラズ然ラバ此ノ標準ハ一ニ裁判所ノ認定ニ任ズベキモノトス

**第七十五條** 猥褻ノ文書、圖畫其他ノ物ヲ頒布若クハ販賣シ又ハ公然之ヲ陳列シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者亦同シ

【意義】 猥褻ノ文書圖畫トハ色情ヲ喚發シ又ハ獎勵スルニ寫シタルモノニシテ即チ色情ニ關スルコトヲ露骨<sup>ロコク</sup>ニ文書ニ寫シ之ヲ讀メバ忽チ色慾ヲ挑發<sup>テウハツ</sup>スベキ文書ヲ云フ例ヘバ男女交合秘訣ト云フ如キ書ハ是ナリ圖畫ハ春畫ノ如キ男女交接シタル現狀ヲ描キタルモノナリ其他ノ物品トハ同ジク春情ヲ催スベキ物體ニシテ陰部ヲ形作りタルモノヲ云フ而シテ其文書

モノノ圖畫等ニシテ必ズシテ色情ヲ挑發スル狀態ヲ有スルト其性質アルト又ハ之ニ伴ヒ他ノ狀態ニ依テ獎勵スル所ノ具トナルヤ否ヤヲ問ハザルナリ

之ヲ頒布ストハ廣ク公衆ニ分ツコトヲ云フ是ハ販賣スルニ非ズシテ無代價ニテ他人ニ與ヘルコトニシテ一人二人ニ頒<sup>ツ</sup>ツモ罪トナラズ舊法ニ公然販賣シタル者トアルノ外ニ廣ク公衆ニ分ツコトヲ禁ズル爲メ頒布スルコトヲ得ズト爲シタルナリ

公然陳列スルコト公然トハ衆人ノ目ニ觸ル、場所ヲ云フ陳列トハ並べ置クコトナレドモ必ズシモ數個ヲ並べ置クヲ云フニ非ズ只衆人ノ見ルベキ所ニ置クト云フ意義ニシテ僅カニ一二個ヲ置クモ同一ナリ而シテ此ノ文書圖畫ヲ陳列スルニハ猥褻ナル文書圖畫ヲ露出スルヲ要ス即チ醜體ナル部分ヲ一見知ルコトヲ得ベキニ陳列スルヲ云フ故ニ單ニ其文書圖畫ノ題目ノミヲ露出シテ其題目ガ如何ニ猥褻ナル名稱ナルモ本罪ヲ構成セズ物品ニ於テモ亦然リ公然顯ハシタルヲ云フモノニシテ箱ニ入レ何物ナルカヲ知ラザル如クニシテ置キタルモ本罪ヲ構成セズ

販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタルコトヲ要ス單ニ販賣スルノミナラズ之ヲ販賣スル目的ヲ以テ所持シタル者ハ本罪ヲ構成ス而シテ所持トハ人知レズ窺<sup>ヒ</sup>カニ秘シ置ク場合ノミヲ云フニ非ズ現ニ手裏ニ携<sup>カ</sup>ヘ居リタル場合ヲモ云フ所持ハ販賣ノ目的アルヲ要スルガ故ニ其ノ目

的ナクシテ娛樂ノ爲メニ所持シ居ル者ハ問フ所ニアラズ之ニ反シ假令ヒ秘シテ所持スルモ販賣ノ目的アルトキハ之ヲ罰スルモノトス販賣ノ目的アル場合ト娛樂ノ爲メニ所持スルトハ一見知リ分クルコトヲ得ベシ何トナレバ娛樂ノ場合ハ一二個ニ限ルモノニシテ多クモ三四種ニ過ギズト雖モ販賣ノ場合ハ多數ヲ所持シ居レバナリ

第七十六條 十三歳以上ノ男女ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ以テ猥褻ノ

行爲ヲ爲シタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス十三歳ニ滿タ

サル男女ニ對シ猥褻ノ行爲ヲ爲シタル者亦同シ

【意義】 本條ハ十三歳以上ノ男女ト十三歳以下ノ男女ニ對シテ猥褻ノ行爲ヲ爲シタル場合ヲ規定セリ

法律ハ十三歳以上ノ男女ニ對シテ猥褻ノ行爲ヲ爲スニハ必ず暴行脅迫ヲ以テ爲スコトヲ豫想シテ規定シタリ是レ十三歳以上ノ男女ニ於テハ既ニ猥褻ノ何タルコトヲ知リテ自己ノ貞操ヲ守リ身體ノ自由ヲ保ツコトヲ重ンズレバナリ又十三歳以上ノ者ハ之ヲ承諾スルトキハ法律ガ罪トセザルモノハ以上述べタル猥褻ノ何タルコトヲ知リテ任意ニ承諾スルガ故ナリ然ラバ則チ承諾ニ依ル猥褻ノ行爲ハ公然ノ場合ノ外ハ本條ノ罪ヲ成サズ畢竟暴行脅迫ノ行爲ハ相手方ガ承諾セザルニ依リ勢ヒ其ノ行爲ニ及ブベキモノナリ

茲ニ謂フ暴行脅迫ハ腕力其他ノ行爲ヲ以テ相手方ノ抗拒力ヲ排除シ或ハ自己ノ行爲ヲ承諾セザレバ汝ヲ毆打セントカ又ハ殺傷スベシトカ十分相手方ガ畏怖シテ身心ノ自由ヲ失フ迄ノ程度ニ脅迫スルヲ云フ何レノ場合モ其實害ナキトキハ暴行脅迫ニ依リテ猥褻ノ行爲アリタリト云フコトヲ得ズ故ニ果シテ抗拒力ヲ失ヒシカ否ヤハ事實ニ徴セザレバ知ルコトヲ得ザルヲ以テ裁判所ノ認定ニ任スモノトス

十三歳ニ滿タザル男女ニ對シテ猥褻ノ行爲アリタルコト十三歳未滿ノ者ハ未ダ色情發達セズ猥褻ノ行爲ノ何タルコトヲ知ラザレバ假令承諾シタリトテ其承諾ハ眞實ノ承諾ト見做スベカラズ故ニ其ノ承諾ノ有無ヲ以テ之ヲ論ズベカラズ是レ法律ハ被害者ヲ保護スベキモノニシテ自カラ貞操ヲ守リ自由ヲ保護スルコトヲ得ザル者ニ對シテ之ヲ保護スル爲メニ本條ノ規定ヲ設ケタル所以ナリ

舊法ニハ十二歳以上トアルヲ改正法ガ十三歳以上ト改メタルハ成ルベク淫猥ノ行爲ニ習染セシメザル希望ニ出デタルト一ハ生理上十三歳以上ト云フヲ適當ナリトシタルモノナリ

第七十七條 暴行又ハ脅迫ヲ以テ十三歳以上ノ婦女ヲ姦淫シタル

者ハ強姦ノ罪ト爲シ二年以上ノ有期懲役ニ處ス十三歳ニ滿タサル

婦女ヲ姦淫シタル者亦同シ

【意義】 本條ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ條件ヲ要ス

第一 暴行又ハ脅迫ヲ以テ十三歳以上ノ婦女ヲ姦淫シタルコト

第二 十三歳ニ滿タザル幼女ヲ姦淫シタル者

姦淫トハ生殖器ヲ交接スルヲ云フ故ニ交接スルニ至ラザレバ姦淫ノ未遂トスルナリ本條ハ姦淫スルニ暴行脅迫ヲ以テ爲ス場合ナレバ強姦罪ト爲スナリ暴行又ハ脅迫ハ被害者ノ抵抗カニ打勝チ自由ヲ失ハシメタルヲ云フ而シテ本罪ノ暴行脅迫ハ被害者ニ於テ暴行トシテ果シテ抵抗力ヲ失ヒ又身心ノ自由ヲ失フマデニ脅迫ノ實アリシヤハ問題ニシテ若シ其ノ實害ナキトキハ強姦罪ヲ以テ論ズベカラズ獨リ婦女ニ於テ暴行脅迫ニ感ジタルコトヲ要スルノミナラズ亦暴行脅迫者ニ於テモ其行爲ヲ爲シタルコトヲ認ムルコトヲ要ス而シテ直接ニ被姦淫者ノ身體ニ對スルコトヲ要シ間接ナル場合ヲ包含セズ

本罪ハ十三歳以上トアルヲ以テ既ニ十三歳トナリタル者ハ暴行脅迫ヲ以テ姦淫セザルトキハ強姦罪ヲ以テ論ズベカラザルコトハ前ニ述べタル理由ニ依リテ明カナリ

暴行者ト淫行者トハ同一ナラザルコトアリ即チ他人ノ力ヲ藉リテ暴行ヲ加ヘ自カラハ單ニ姦淫シタルノミニテモ本罪ヲ爲ス故ニ婦女モ共犯者タルコトヲ得ルナリ然シテ法律ハ婦女ニ對スルコトヲ要スルガ故ニ若シ婦女ガ男子ニ對シテ暴行脅迫ヲ用ヒ交接シタルハ本罪ノ

強姦ト爲スベキモノニアラズ本罪ハ婦女タルニハ其婦女ガ未ダ男子ニ接セザルト否トチ問ハズ

十三歳ニ滿タザル婦女ヲ姦淫シタル者ニ在テハ假令其婦女ガ承諾アルモ強姦ヲ以テ論ズルモノトス是レ幼女ノ如キハ淫事ノ自己ノ貞操ヲ破ルモノナル等ノコトヲ了解セザル者ナレバ其ノ承諾ノ有無ニ關スルモノニ非ズ其他承諾スルモ強姦トスルコトアリ是レ承諾ナキ者ニ對シテ姦淫スルヲ強姦トスレバ睡眠中姦淫セラル、ニ當リ之ヲ知リテ假眠ヲ裝ヒ暗ニ承諾シ事後ニ至リテ其強姦ヲ訴フルガ如キ弊害ヲ生ズルコトアレバナリ

第七十八條 人ノ心神ヲ喪失若クハ抗拒不能ニ乘シ又ハ之ヲシテ

心神ヲ喪失セシメ若クハ抗拒不能ナラシメテ猥褻ノ行爲ヲ爲シ又

ハ姦淫シタル者ハ前二條ノ例ニ同シ

【意義】 本條モ亦強姦ヲ以テ論ズベキ場合ノ規定ナリ

第一 ノ人ノ心神喪失若クハ抗拒不能ニ乘ジ姦淫スルコト

第二 心神ヲ喪失セシメ若クハ抗拒不能ナラシメ猥褻ノ行爲ヲ爲シ又ハ姦淫シタル者

(一) ノ場合ハ婦女ガ自カラ心神喪失若クハ抗拒スルコト能ハザルニ乘ジテ姦淫スルニ在リ心神喪失トハ生來ノ痴愚又ハ精神錯亂シテ事理ノ辨別心ナキ者ヲ云フ又此等ノ病

狀ノ原因ナキモ或ハ酒ニ酔ヒ或ハ睡眠セシ場合ノ如キハ抗拒スルコト能ハザルモノナ  
リ此場合ヲ利用シテ姦淫スルヲ云フ

(二) ノ場合ハ生來心神ノ喪失シタルニ非ズシテ姦淫者ガ婦女ニ藥酒又ハ催眠術ヲ用ヒ  
テ昏睡セシメ或ハ精神ヲ錯亂セシメ其事實ヲ辨別セズ若クハ抗拒スルコト能ハザルニ  
乘ジテ姦淫スルヲ云フ是レ皆何レノ場合モ事理ノ辨別心ヲ失ヒ身體ノ自由ヲ失ヒタル  
場合ナレバ承諾セザル者ニ對スルト同一ナリ

第七十九條 前三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

【意義】 猥褻ニ關スル未遂罪ト既遂罪トノ區別ハ判別シ難キモノトス舊法ハ強姦ノ場合ノ  
ミニ未遂罪ヲ認メタリト雖モ改正法ハ猥褻ノ場合ニモ必要ナリトシテ之ヲ設ケタルナリ  
猥褻ノ未遂トハ例ヘバ婦女ニ對シテ淫事ニ關スル行為ヲ爲サントシテ婦女ノ抗拒スルニ因  
リテ遂ゲズ或ハ人目ニ觸レテ遂ゲザル場合ノ如キハ是其ノ未遂罪ナリト爲スベシ  
姦淫ハ男女ノ生殖器ガ互ニ交接シタルトキヲ以テ既遂ナリトス精液ノ流出ヲ必要トセザル  
ハ一般刑法學者ノ說一致スル所ナリ然ラバ強姦ノ既遂未遂ハ交接ノ有無ヲ以テ區別スベシ  
唯ダ難事トスル所ハ被姦淫者ニ於テハ既遂ナリト感ズル程度マデニ至ルコトアリ此場合ノ  
如キハ被害者ノ感シタル程度ヲ以テ既遂未遂ヲ區別スルニ在ルコト是ナリ

強姦未既遂ト認メ得ベキ古來學者ノ說ニ依レバ左ノ要件ナリ

第一 其姦セラル、婦人ハ始終抵抗スルヲ要ス若シ初メハ抵抗セシモ終ニ之ヲ默スルガ如  
キハ強姦ニアラズ

第二 男女ノ力量不同等ナルヲ要ス故ニ若シ女子ニシテ其力量男子ト同等ナルカ若クハ男  
ニ勝ルコトアラバ強姦ニアラズ

第三 人ノ助ケヲ乞ヒ得ベキ場合例ヘバ人家ノ近傍ニ於テ爲シタル場合ノ如キハ他人ノ救  
援ヲ乞フコトヲ得ベキモノナレバ若シ聲ヲ發シテ救援ヲ求メザルトキハ強姦ニアラズ

第四 暴行脅迫ニ遭ヒテ抵抗力ヲ失ヒタルコトヲ要ス

又茲ニ夫ハ妻ニ對スル強姦罪ノ主體トナルコトヲ主張スル論者アリ曰ク夫モ本罪ノ責任者  
トナルコトアリ何トナレバ夫ガ婚姻ニ因テ取得スル權利ハ敢テ絕對無限ニアラズ野蠻ナル  
交接ニ付テハ妻ハ夫ニ對シテ之ヲ拒ムコトヲ得ベク從テ一定ノ範圍ヲ脱シテ其權力ヲ濫用  
シタル夫ノ行為ハ不法行為タルベク且ツ法文ニハ夫婦外ノ交接ト限定セザルガ故ニ若シ其  
交接ガ暴行脅迫ノ手段ニ依リタルトキハ強姦罪ヲ以テ論ズルコトヲ得ベシ云々ト此論其當  
ヲ得タルモノニアラズ何トナレバ夫ガ強テ姦スルハ妻ノ意ニ反スルモノナレドモ然レドモ  
妻ハ之ヲ以テ夫ニ反抗スルコトヲ得ル者トスレバ夫婦間ノ愛情ハ常ニ疎クナリ夫ハ妻ノ歡



心ヲ買フコトヲ勉メザルベカラザルニ至リ若シ妻ガ常ニ夫ヲ嫌忌スルノ情アル者ナルニ於テハ故意ニ夫ニ對シ反抗スルニ至リ夫タル者其情慾ヲ制セラレテ不快ニ感ズルコトアルモ奈何トモスル能ハズ是レ余ハ夫ガ妻ニ對スル強姦罪ナシトスル所以ナリ

第百八十條 前四條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

【意義】 犯罪ハ公訴ニ依リテ其罪ヲ論ズル者ナレドモ如何ナル犯罪ニモ公訴ヲ起スベキモノトスレバ被害者ニ於テ之ヲ宥恕スルニモ拘ハラズ之ヲ法廷ニ出サレテ却テ耻辱ヲ蒙ルコトアレバ被害者ハ迷惑ニ感ズルガ故ニ犯罪ノ性質ニ由リテハ被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ズルモノトス本章中前四條ノ罪ノ如キハ其ノ性質ノモノナリ是レ本條ノ規定アル所以ナリ

前四條ノ罪トハ猥褻ノ汚辱ヲ受ケタル者及ビ強姦罪ノ如キヲ云フ此等ハ被害者ニ於テ名譽ヲ毀損スルヲ以テ告訴權アル者ガ之ヲ秘シテ告訴セザレバ其罪ヲ論ズルコトヲ得ザルモノトス然シテ此等ノ告訴權アル者ハ其被害者若クハ法定代理人ナリ舊法ハ被害者又ハ親族ノ告訴ヲ待ツコト、シタレドモ改正法ハ之ヲ改メテ單ニ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ズト規定シ其告訴權利者ヲ別ニ明示セズ是レ告訴權利者ハ刑事訴訟法及ビ民法ノ規定ニ依テ定マルモノトノ趣旨ヲ採リタルモノナリ

第百八十一條 第百七十六條乃至第百七十九條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

【意義】 第百七十六條乃至第百七十九條ノ罪ヲ犯シタル場合ハ前條ニ從ヒ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ズベキモノトスレドモ本條ニハ何等ノ規定ナキヲ以テ被害者ノ告訴ヲ待タズ訴追シテ之ヲ處罰スルコトヲ得ルモノナリ此場合ニ於テモ被害者ノ名譽ヲ毀損スルノ恐アリト雖モ被害者ヲ死傷セシメタル行爲ハ國家ノ秩序ヲ害スルコト大ニシテ國家ノ危害ノ上ヨリシテ被害者ノ名譽ヲ毀損スルヲ慮ルノ違<sup>イ</sup>アラザルヲ以テ國家ガ公訴ヲ起スベキモノト規定シタル所以ナリ即チ特ニ刑ヲ設ケテ告訴ノ有無ニ拘ハラズ之ヲ處罰スルモノトス

【改正要旨】 舊法ハ本章ノ罪ヲ犯シ強姦以外ノ行爲ニヨリ人ヲ死傷ニ致シタルトキハ毆打創傷罪ニ比シ重キニ從テ處斷シ強姦ニ因リ人ヲ死傷ニ致シタルトキハ特ニ刑ヲ設ケタリト雖モ改正法ハ強姦ニ依ルト否トヲ區別セズ猥褻及ビ強姦ノ罪ヲ犯シ因テ之ヲ死傷ニ致シタルトキハ特ニ刑ヲ設ケタリ

第百八十二條 營利ノ目的ヲ以テ淫行ノ常習ナキ婦女ヲ勸誘シテ姦淫セシメタル者ハ三年以上ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

【意義】 舊法ハ十六歳未滿ノ男女ノ淫行ノ勸誘媒合ヲ處罰スト雖モ其趣旨稍廣キニ失スルヲ以テ改正法ハ之ヲ改メ第一ニ營利ノ目的ニ出デタルモノナルコトヲ要件トシ第二ニ淫行ノ常習ナキ婦女ノミヲ保護スルコト、爲セリ其趣旨ハ營利ノ目的ニ出デタルモノニ非ザレバ之ヲ罪トスルノ必要ナク又男子ハ婦女ニ比シテ之ヲ保護ス可キ必要少ナシトスルニ在リ

第一 營利ノ目的トハ金儲ヲ爲ス爲メニ營業ノ如ク婦女ニ勸メテ淫行セシムルヲ云フ彼ノ淫賣屋ノ如キモノ是ナリ故ニ若シ其行爲目的ガ營利ニ在ラザレバ本罪ヲ爲サズ且ツ其目的ガ營利ニ出ツルモ第二ノ要件即チ淫行ノ常習ナキ婦女ヲ勸誘シテ姦淫セシムルニ非ザレバ本罪ヲ成サズ

淫行ノ常習ナキ者トハ品行ノ善良ナル者ニシテ未ダ淫行ヲ爲シタルコトナキノミナラズ淫賣ノ如キ不良ナル行爲ノアラザル者ヲ云フ淫行トハ男女間ノ交接ヲ爲スヲ云フ之ヲ勸誘ストハ婦女ニ淫行ノ決意ヲ爲サシムルコトヲ云フ故テ教唆スルニ非ズ教唆ハ強制スベキ者ニアラス又被教唆者ニ於テモ能力者タルコトヲ要スト雖モ勸誘ハ婦女ノ意ヲ動かスベキ言行ヲ以テ自然ニ其情ヲ起サシムルニ在リ然レドモ時ニハ強制的ニ爲サシムルコトアリト雖モ他人ニ淫行ノ決意ヲ爲サシメタルコトヲ要スルガ故ニ本人ニ於テ勸誘ヲ待タズシテ淫行ノ決意アリタル者ハ本罪ヲ爲サズ

法律ニハ明文ナキモ本條ノ場合ハ單ニ淫行ヲ勸誘シタルノミナラズ媒合シテ房屋ヲ給與シ又ハ男女ノ一方ヲ他ノ場所ヘ誘引シ交接ノ實行ニ便宜ヲ與ヘタル者ヲモ包含スルモノトス故ニ本罪ノ既遂ハ被勸誘者ト第三者トノ交接ヲ以テ成ルモノトス

第百八十三條 有夫ノ婦姦通シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス其相姦シタル者亦同シ

前項ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス但本夫姦通ヲ縱容シタルトキハ告訴ノ効ナシ

【意義】 本罪ヲ構成スルニハ左ノ條件アルヲ要ス

- 第一 有夫ノ婦ガ姦通シタルコト
- 第二 其相姦シタル者タルコト

第一ノ要件 ハ有效ニ成立シタル夫婦ノ關係ヲ破ル行爲ニシテ一夫一婦ノ婚姻ガ成立シタル後ハ第三者ト姦スルヲ許サズ故ニ一旦成立シタル婚姻ハ假令法律上取消シ得ベキモノナリト雖モ其取消ノ判決確定スル迄ハ其婚姻ハ有效ナルガ故ニ本罪ノ構成要件トナルベキナリ姦通罪タルニハ左ノ行爲アルヲ要ス

(一) 有夫ノ婦本夫以外ノ男子ト通ズルヲ云フ  
 (二) 相手方タル男子ハ有婦ナルト否トヲ問ハズ  
 此ノ破婚ノ所爲ハ夫婦ノ一方ト夫婦外ノ第三者トニ依テ爲スモノニシテ而シテ法律ハ有夫ノ婦ト夫婦外ノ第三者ト交接シタル場合ニ限り之ヲ罰スルモノトシテ夫タル者ガ夫婦外ノ第三者ト交接シタル場合ニハ之ヲ處罰セザルモノトス茲ニ衆議院ニ於テ有夫ノ婦ノ姦通罪ヲ認ムベシトノ修正説提出サレタルモ否決サレタリ其ノ提出ノ論旨ヲ掲ゲテ參考トセン  
 有婦姦ノ罪ヲ罰セントスルハ此法律ノ趣意ヲ貫徹セシメ論理ヲ一貫セシメテ男女ノ間ヲ對等ノ位置ニ置カント欲スルニ在リ全體此姦通ノ罪ヲ罰スベキヤ否ヤト云フコトハ一ノ問題ナリト思フ併シナガラ此條ノ規定ニ依ルト有夫ノ婦ガ姦通シタル場合ニハ二年以下ノ懲役ニ處セラル而シテ此ノ立法ノ趣意ヨリ思考スレバ此刑法ノ趣意ハ姦通ナルモノハ單ニ婚姻ト云フ民事上ノ契約ガ破壞セラレテ民事上離婚及損害賠償ノ原因トナルノミナラズ夫婦ノ關係ヲ破ルト云フコトハ社會ノ公安ヲ害スルニ在ルガ故ニ之ヲ罰セザルベカラズト云フ趣意ナリトス其趣意ヲ貫カントスルニハ有夫ノ婦ガ姦通シタル場合ニハ之ヲ罰シテ有婦ノ夫ガ姦通シタル場合ニハ之ヲ罰セズト云フコトハ立法ノ趣意ガ貫徹セザルモノトス故ニ此ノ如キ簡單ナル理由ニ依テ之ヲ同等ノ位置ニ置カント欲スルナリ

反對者ハ女ガ姦通シタル場合ニハ婚姻中ニ女ノ生ミタル子ハ夫ノ子ト推定セラル、ガ故ニ女ノ姦通ハ畢竟血統ノ紊亂ヲ來スガ故ニ夫ノ姦通ハ罰セザルモ女ノ姦通ハ罰セザルベカラズト云フニ在リ

然リ此結果ノ上ニ相違アルト云フコトハ認メザルニアラザレドモ然ルニ是ハ絶對ニ一方ヲ罰シテ一方ヲ無罪ニスルト云フ理由ニナラズトス或ハ佛國等ニ行ハル、如ク女ヲ自由刑ニ處シ夫ヲ罰金ニ處スルト云フ如キ理由ニシテ刑ニ輕重ノ等級ヲ分ツノ標準ニナルヤモ知ル可カラザレドモ絶對ニ一方ノミヲ罰スルノ理由ニハナラズトス又斯ノ如キ理由アルモ知ラズ全體此姦通罪ト云フモノハ親告罪ナルガ故ニ多クハ姦通其モノニ依テ事件ガ發生スルニアラズシテ姦通ヲ種ニシテ種々惡事ヲ働クガ故ニ爲ス者多クシテ斯ノ如キ者ニ向テハ其範圍ヲ廣クセント欲スト云フ議論モ起ルヤモ知レズ事實上斯ノ如キ現象アルコトヲ認ムルナリ然ルニ是ニ依テ男女間ヲ不平等ニセザルベカラズト云フ理由トナラズ畢竟スルニ姦通ナルモノハ現ニ英國ノ如ク民事上離婚ノ原因トナリ或ハ損害賠償ノ原因トナシ之ヲ犯罪ト認メテ刑罰ヲ科スベキモノニアラズ此矯風問題道德問題ノ如キハ法律ヲ以テ規定スベキモノニアラズ或ハ其規定ノ範圍ヲ狭クセザルベカラズト云フ反對モアルト雖モ是レ男女共ニ姦通罪ハ無罪ニスルト云フ議論ナレバ其ニ贊同スルモ知ルベカ

ラズト雖モ兎ニ角此法律ノ精神ヲ貫カント欲セバ男女同等ノ位置ニ置カザルベカラズト  
スト

第二ノ要件 ハ相姦スル罪ニシテ有夫ノ婦ガ第三者ト姦通シタルト同ジク夫タル者ガ有夫  
ノ婦ト姦通シタル者ニシテ何レモ破婚ノ所爲ニ關スルモノナリ然レドモ夫タル者ハ夫婦  
外ノ第三者ト交接シタルトキハ法律之ヲ處罰スルノ規定ナシ且ツ其ノ之無キ理由ハ前ニ  
述ベタルガ如シ而シテ本罪ノ成立ニハ必ズシモ姦通ノ双方ガ責任ヲ負フコトヲ要セズ故  
ニ姦通ノ相手方ガ刑罰ニ處セラルト否トハ附フ所ニアラズ即チ本夫ニ於テ其婦ガ姦通  
シタルモ其婦ハ之ヲ恕シテ告訴セズ姦夫ノ一人ノミヲ告訴シタルトキハ姦夫獨リ其責任  
ヲ負フベキモノトス之ニ反シテ本夫ガ姦婦ヲ告訴シタルトキハ姦夫モ共ニ其責任ヲ負フ  
ベキモノトス是法文ニ相姦スル者亦同ジトスルハ是ナリ

然レドモ告訴ハ不可分ヲ原則トスルガ故ニ姦通罪ニ付テハ其犯者ノ一人ニ對シテ告訴ヲ  
提起スルモ他ノ共犯者ニ對スル訴訟條件トナルベシ又共犯者ノ一人ニ對シテ告訴ノ取下  
アルトキハ全部ノ共犯者ニ對スル取下ノ效力ヲ生ズベキナリ故ニ例ヘバ姦夫ニ對シテノ  
ミ告訴ヲ提起シタルトキハ告訴ノ權利者ニ於テ姦婦ノ姦通罪ノ處罰ヲ犧牲トシテモ猶ホ  
姦夫ノ處罰ヲ請求スルノ意思アリヤ否ヤヲ糾シ若シ此意思アリトスルトキハ其告訴ハ有

效ニシテ而シテ若シ此ノ意思ナキモノト認ムベキトキハ其告訴ハ無効ナリト言フヲ至當  
トス

茲ニ注意スベキハ本罪ニハ犯人自身ガ有夫ノ婦タルコト若クハ有夫ノ婦ニ對スルノ事實  
タルコトヲ知ルノ意アルヲ要ス故ニ縱ヒ有夫ノ婦ト姦通スルモ其有夫ノ婦タリシコトヲ  
眞實ニ知ラザリシ事實明カナルトキハ本罪ヲ構成セズ

姦通罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ズル者トス是レ姦通ノ罪ヲ公ニスルハ却テ夫タル者  
ノ名譽ヲ毀損スル恐アルヲ以テナリ

告訴スルモ本夫先ニ姦通ヲ縱容シタルトキハ告訴ノ效ナキモノトス世上夫タル者其婦ト  
合意シテ姦通セシメテ姦夫ニ對シ金錢ヲ要求スルガ如キ利慾心ヨリ之ヲ爲サシムル者ア  
レバナリ而シテ姦通ノ告訴ヲ許スハ管ニ社會ノ矯風上ヨリ起リタル者ニアラズ夫タル者  
ノ意恨ヲ慰メルノ必要ヨリ本罪ヲ設ケタルモノナリ故ニ本夫ニ於テ之ヲ縱容シタル場合  
ノ如キハ之ヲ罰スルノ必要ナキナリ舊法ニハ姦通ノ現場ニ於テ姦夫ヲ殺傷シタルハ宥恕  
及不論罪ノ規定アリシモ改正法ハ之ヲ删除シタリ而シテ一般不論罪中ニモ包含スベキ場  
合ヲ見ザザレハ全ク之ヲ廢シタルナリ

第百八十四條 配偶者アル者重ネテ婚姻ヲ爲シタルトキハ一年以下

第二十二章 親姦姦淫及ヒ重婚ノ罪

ノ懲役ニ處ス其相婚シタル者亦同シ

【意義】 本條ハ重婚罪ヲ罰スル規定ナリ

重婚トハ既ニ成立シタル婚姻ニ依リテ成ル者ナレバ第一ノ婚姻ノ成立スルコトヲ要ス故ニ第一ノ婚姻ガ成立セザルモノナルトキハ配偶者アリト雖モ私通ニシテ第二ノ婚姻即チ重婚ヲ爲スモ犯罪トナラズ

又第一ノ婚姻ガ成立シタルモ婚姻ガ解消セラルトキ即チ例ヘバ一方ガ死亡スルカ離婚トナリシトキハ第二ノ婚姻モ犯罪トナラズ

第二ノ婚姻ノ成立シタルヲ要ス是レ重婚ハ第二ノ婚姻ガ成立セザルトキハ第一ノ婚姻ニ對スル重婚ト云フコトヲ得ズ故ニ第一ノ婚姻ガ成立シテ第二ノ婚姻モ成立セザレバ重婚トシテ本罪ヲ構成セズ而シテ第一ノ婚姻ハ婚姻ノ解消即チ一方ガ死亡又ハ離婚シタルトキニ其效力ヲ失フモノナリ

第二ノ婚姻ノ成立ハ婚姻ノ届出ニヨリテ成立ス然ルニ後日取消シ得ベキ婚姻ナルコトアリ取消シ得ベキ者ハ取消スマデハ效力アルモノトス

第一ノ婚姻ノ有無ハ第二婚姻ノ當時ヲ標準トス而シテ本罪ハ第二ノ婚姻ノ届出ノ受理アリタルヲ以テ既遂トス是レ婚姻ハ届出ノ受理不受理ニ由リテ成立ノ定マルモノナレバナリ

犯罪ノ主體トナルベキ人ハ前ノ婚姻ニ因ル夫婦ノ一方タルコトヲ要ス重婚ハ配偶者アルモノト配偶者外ノ第三者トニ依リテ成立スルモ法律ハ配偶者以外ノ第三者ニ付テ處罰スルノ明文ナキガ故ニ前ノ婚姻ニ因リ夫婦ト云フ身分ヲ取得シタル者ニアラザレバ本罪ノ主體タルコトヲ得ズトスルヲ至當トスベキナリ

(甲) 猥褻ノ犯罪  
要素

- (一) 公然タルコト (イ) 猥褻ノ行為ヲ爲シタル者  
(ロ) 猥褻ノ文書圖畫其他ノ物ヲ頒布若ハ販賣シ陳列シタル者
- (二) 秘密ノ場合 (イ) 公然ニアラズト雖モ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者
- (三) 暴行又ハ脅迫ヲ以テ猥褻ノ行為ヲ爲ス場合 (イ) 十三歳以上ノ男女ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ以テ猥褻ノ行為ヲ爲シタル者  
(ロ) 十三歳ニ滿タザル男女ニ對シ猥褻ノ行為ヲ爲シタル者

(乙) 處分

- (一) 公然猥褻行為ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス(二) 猥褻ノ文書圖畫其他ノ物ヲ頒布販賣シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料(三) 販賣ノ目的ヲ以テ所持シタル者同シ(四) 暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ行為ヲ爲シタル者六月以上七年以下ノ懲役

(丙) 姦淫ノ犯罪

- (一) 暴行又ハ脅迫ヲ以テ姦淫シタル場合 (イ) 十三歳以上ノ婦女ニ對スル場合ハ強姦罪トス
- (二) 然ラザル場合 (イ) 十三歳ニ滿タザル婦女ヲ姦淫スル者亦強姦罪トス
- (三) 暴行脅迫ノ行為ニ準スル場合 (イ) 人ノ心神若クハ抗拒不能ニ乘シ又ハ心神喪失セシメテ抗拒不能ナラシメテ猥褻ノ行為又ハ姦淫シタル者

猥褻及淫重罪

處分 (一)暴行又ハ脅迫ヲ以テ爲シタル場合ハ總テ未遂罪ヲ罰ス (二)強姦罪ノ場合ハ年齢ニ關セズ二年以上ノ有期徒刑

第一 婦女ニ淫行ヲ勸誘スル罪 (一)目的 營利ノ目的ヲ以テ勸誘スルコトヲ要ス營利ノ目的ナキ者ハ無罪 (二)淫行ノ常習ナキ婦女ナルコトヲ要ス故ニ品行不良ナル者ニ付テハ無罪 (三)處分三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金

第二 姦通罪 (イ)有夫ノ婦ト姦通スルコトヲ要ス故ニ有夫ノ婦タルコトヲ知ラザル者ハ無罪 (ロ)處分 二年以下ノ懲役其相姦シタル者亦同ジ

第三 重婚ノ罪 (イ)第一ノ婚姻ガ成立シタルコトヲ要ス (ロ)第二ノ婚姻ガ成立シタルコトヲ要ス (ハ)處分 二年以下ノ懲役其相婚シタル者亦同ジ

第二十三章 賭博及ヒ富籤ニ關スル罪

【改正要點】 改正法ハ賭博ニ關スル規定ヲ改メ常習トシラ之ヲ爲スト否ラザル者トヲ分チ常習ト爲サル者ニ付テハ情狀ニ因リ罰金ヲ科スルコトヲ得ルモノト爲シタリ是常習ト爲サル博戯又ハ賭事ハ其犯情ノ稍憐察ス可キモノアレバナリ

第二 舊法第二百六十一條本文ノ後段ハ總則從犯ノ規定ヲ適用スルコト、爲シ之ヲ刪除シ同條第二項モ亦必要ナキヲ以テ之ヲ刪除シタリ

第三 舊法ノ富籤ニ付キ唯其興行者ニ關スル規定ノミヲ設ケ其他ハ之ヲ特別法ノ規定ニ讓リタルヲ以テ不便少ナカラズ故ニ改正法ハ富籤ノ取次又ハ購買ニ關スル規定ヲ新設シタリ

第四 舊法第二百六十一條ハ單ニ博奕ヲ爲シタル者ハ云々ト規定スルヲ以テ解釋上疑義ヲ生ズルコトナキニアラズ之ヲ以テ改正法ハ詳カニ之ヲ規定シ偶然ノ輸贏ニ關シテ博戯又ハ賭事ヲ爲シタル者ト改メ疑義ヲ避ケタリ次ニ舊法ハ現ニ博奕ヲ爲シ云々ト規定スルヲ以テ發覺ノ當時現ニ博奕ヲ爲スニ非ザレバ罪ト爲ラズトノ解釋行ハレ極テ不便ヲ感ズルヲ以テ改正法ハ「現ニ」ノ二字ヲ削リ此弊ヲ濟ヘリ又舊法ハ其但書ニ於テ飲食食物ヲ賭ス

ル者ハ此限ニ在ラズト規定シタル爲メ遂ニハ飲食物ヲ以テ金錢ニ代用スルコト行ハル、ニ至レリ是ヲ以テ改正法ハ此點ヲ改メ「一時ノ娛樂ニ供スル物ヲ賭シタル者ハ此限ニ在ラズ」ト規定シ飲食物ト雖モ金錢ニ代用シタル場合ノ如キハ之ヲ罰シ飲食物ニ非ズト雖モ單ニ娛樂ニ供スルモノナルトキハ之ヲ罰セザルコト、爲シ其認定ハ全ク之ヲ裁判所ニ一任シタリ

第百八十五條 偶然ノ輸贏ニ關シ財物ヲ以テ博戲又ハ賭事ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス但一時ノ娛樂ニ供スル物ヲ賭シタル者ハ此限ニ在ラス

【意義】 賭博トハ博戲ト賭事トヲ謂フ此二者ノ性質ハ偶然ノ輸贏ニ關スル行爲ナリ

博戲トハ自身ニ爲ス者ニシテ偶然ナル事實ニ依リテ輸贏ヲ爭フニ在リ而シテ偶然トハ僥倖ニシテ俗ニ思ヒ掛ナシト云フ義ニシテ之ヲ爲ス者ニ於テ豫メ結果ヲ知り難キヲ云フ固ヨリ勝ツコトヲ期スト雖モ單ニ希望ニ止マリテ豫期シタル如ク結果ヲ得ルコト能ハザルコトアレバナリ是レ此ノ勝敗ハ行爲者ノ手段ノ巧拙ニ因ルコトアルモノナリ  
賭事モ亦偶然ノ輸贏ニ由ルモノト雖モ專ラ自己ノ信ズル意思ヲ強硬ニシテ勝敗ヲ爭フヲ云フ彼ノ競馬ニ賭ケルトカ角力ニ賭ケルガ如キ必ズ其ノ自己ガ勝ツトスル意思ガニツニ分レ

各其自信ヲ主張スルヲ云フ

財物トハ金錢ヲモ包含スベク而シテ單ニ物ト云フト雖モ絶對ニ金錢ヲ除キタルニハアラズ動産ト不動トナ問ハズ物權ノ目的タル物ヲ云フ故ニ其物ト云フトキハ範圍廣キヲ以テ之ヲ制限スルニハ娛樂ニ供スル物トシテ勝敗ノ目的ガ利ヲ得ントスルニ非ズシテ假令ハ些少ノ金錢ヲ持チ寄ツテ一時ノ娛樂ノ爲ニ鰻飯ヲ奢ルトカ菓子ヲ奢ルトカ云フ如キ場合ナレバ此些少ノ金錢ハ物ノ中ニ包含スルモノトス

改正法ハ現ニ二字ヲ削除シタルコトハ前ニ述ベタルガ如シ現ニトハ犯罪檢舉ノ職務アル官吏ニ博奕ノ現行ヲ發見セラレタルトキヲ云フ而シテ現ニト云フヲ削除シタル理由ハ賭博ハ法律禁制シタル事ナレバ多クノ場合ハ秘密ニ行フモノナリ然ルニ舊法ハ現ニナル條件ヲ附シテ後之ヲ檢舉スルコト、シタルガ爲メ檢舉上非常ニ困難ナル場合アリテ時ニハ檢舉ノ手續ニモ適當ナラザル等ノコト往々アルガ如シ之ヲ罰セザレバ兎モ角モ之ヲ罰スル以上ハ敢テ實際ニ困難ナル條件ヲ附シ置カズトモ通常ノ犯罪ト同ジクスル方穩當ナリトスル趣旨ニ出デタルモノナリ

第百八十六條 常習トシテ博戲又ハ賭事ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

賭博場ヲ開張シ又ハ博徒ヲ結合シテ利ヲ圖リタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

【意義】 常習トハ常ニ職業ノ如ク爲スヲ云フ時々他人ノ誘導ニ從ヒテ博奕ヲ爲ス者ノ如キハ常習ト云フベキ者ニアラズ常習トシテ爲スベキ者ハ所謂博徒ト稱スル者ナリ此ノ者アレバ惡漢ノ徒ト爲リ良民ヲ苦メ而シテ自己ハ遊惰ニ流レ正業ノアル者ナシ尙ホ此等ノ者アルガ爲メニ常習ニアラザル者モ誘導サレテ遂ニ博徒ノ群ニ入ル者アルニ至ルナリ改正法ガ常習ノ者ト否ラザル者トヲ區別シタルハ此ニ見ル所アリテ之ニ對シテハ刑罰モ亦重クシタルモノナリ

博戲場ヲ開張シトハ博戲ヲ爲ス場所ヲ開キテ博戲ヲ爲サシムルヲ云フ舊法ニ所謂房屋ヲ給與スル者トハ異ナリ親分ト稱スル者ノ如キ此ノ博戲場ヲ開張シ博戲ヲ爲ス者ニ寺錢ト稱スル者ヲ徵收スルガ如キヲ云フ博戲ヲ爲スベキ情ヲ知り房屋ヲ給與スル者ト異ナル所ハ本罪ハ博戲ノ興行主ニシテ博戲ヲ爲ス者ヲ誘引獎勵スル者ナリ而シテ此等ハ利ヲ圖ルヲ目的トスルコトヲ要ス賭博場ヲ開張シタルモ若シ利ヲ圖ルニアラザルトキハ本罪ヲ構成セズ舊法ニ規定スル其情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者ト本條ノ博戲場ヲ開張シトハ彼ハ博戲者ノ依頼ニ應ジテ之ヲ幫助スルニ過ギズ本條ノ場合ハ開張者ガ主人ニシテ博戲者ハ客ナリ是レ

本條ハ單ニ開張シタルノミニテハ本罪ヲ構成セズト云フ所以ナリ

博徒ヲ結合シトハ博徒ヲ多ク集メ自分ノ首班ト爲ル者ヲ云フ所謂親分ト稱スル者是ナリ親分ト爲リタル者ハ其集合シタル者ノ頭目ニ幾分ツノ利ヲ徵收スルニ在リ

第百八十七條 富籤ヲ發賣シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

下ノ罰金ニ處ス

富籤發賣ノ取次ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

前二項ノ外富籤ヲ授受シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

【意義】 富籤ニ關スル事ヲ罰スル所以ハ此等ノ行爲モ畢竟僥倖心ヲ增長セシメ遊惰ニ流ルル者ヲ生ズルノ弊害アルヲ以テナリ然レドモ賭博ト異ニシテ其地方ノ經濟ヲ利スルコトアルニ因リ官ニ於テモ地方ノ狀況ニ依リ其方宜シキヲ得バ之ヲ許可スルコトヲ得セシメタルコトアルガ如シ臺灣ノ彩票ノ如キ是ナリ前ノ改正案ニハ免許ヲ得ズシテ云々ト規定シタルドモ改正法ハ之ヲ削除シタルナリ其所以ハ豫メ之ヲ許ス場合ノアルコトヲ定メ置カザルモ



若シ其必要アルトキハ特別ノ法律ヲ以テ行フコトヲ得ベシト云フニ在リ

富籤發賣トハ籤當リノ票ヲ賣出スコトニテ此發賣ヲ以テ富籤ハ成立スルモノトス

富籤發賣ノ取次ヲ爲シタル者トハ富籤ノ票ヲ周旋シテ賣ル者ヲ云フ舊法ニハ牙保トシタルヲ改メテ取次ト爲シタリ牙保ノ文字ハ贓物ノ周旋ヲ爲ス者ニ用ヒタレバ本罪ニハ不適當ナルモノトスルニ在リ此取次ノ者ノ罪ヲ比較的輕クシタルハ共同者トモ云フベク其發賣ヲ助ケテ擴大ニスルヲ以テナリ尙ホ富籤ニ關シテハ明治十五年布告第二十五號ヲ以テ富籤發賣ノ牙保又ハ幫助ヲ爲シ及ビ富籤ヲ購買シタル者ヲ處罰スルノ規定アリ

近來臺灣ニ於テ發行スル彩票ヲ内地ニ於テ發賣取次授受シタル場合ノ犯罪ノ有無ハ一時世論ニ上リシガ臺灣ナル一定ノ區域内ニ於テ許シタル富籤ノ興行ナルニモ拘ラズ其區域外ナル内地ニ於テ之ヲ行フタルトキハ第百八十七條ニ依リ處罰セラル、モノトノ解釋ニ歸シタリ

- (甲) 賭博罪
- (一) 意義 (賭博トハ二人以上ノ者ガ偶然ノ勝負ヲ以テ財産上ノ利益ヲ得喪スルヲ云フ)
  - (二) 成立條件
    - (イ) 財物ヲ賭スルコトヲ要ス些細ノ財物ニシテ娛樂ニ供スル物ハ如トナラズ
    - (ロ) 博奕ノ財物トハ現ニ博奕ニ賭セラレタル物既ニ授受セラレタルモノ及ビ賭スル爲メノ財物ヲ云フ
  - (三) 處分 一千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

賭博及ニ關スル罪

- (乙) 常習トシテ爲ス者 (常習トハ平日職業ノ如クニ之ヲ爲ス者ヲ云フ所謂賭徒ト稱スル者是ナリ本罪處分ハ三年以下ノ懲役)
- (丙) 賭博場ヲ開張シ博徒ヲ結合スル罪 (賭博場ヲ開設シテ盛ニ博奕ヲ爲サシメ利ヲ圖リタル者博徒ヲ結合シ即チ博徒ヲ多ク集メテ寺錢ヲ取リ利ヲ圖ル者此等ハ三月以上五年以下ノ懲役)
- (丁) 富籤罪
  - (一) 條件
    - (イ) 富籤ヲ發賣シタル者票ヲ賣リテ財物ヲ集メスルコト
    - (ロ) 富籤發賣ノ取次ヲ爲シタル者票ヲ賣ク他ニ賣ル取次ヲ爲ス者ニシテ周旋人ナリ
    - (ハ) 右ノ外富籤ヲ授受シタル者
  - (二) 處分
    - (イ) ノ行爲ハ二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金(ロ)ノ犯罪者ハ一年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金(ハ)ノ場合ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料

第二十四章 禮拜所及ヒ墳墓ニ關スル罪

第百八十八條 神祠、佛堂、墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ行爲アリタル者ハ六月以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

說教、禮拜又ハ葬式ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

【意義】 神祠佛堂トハ神ヲ祀リアル社佛ヲ祭ル堂ト云フ意味ニシテ禮拜所ハ一般人ガ禮拜スル場所トシテ公ニ認メラレテ居ルモノヲ云フ例ヘバ道傍ノ地藏堂ニテモ衆人ガ禮拜所ト認メタル所ハ此中ニ包含スルモノトス故ニ單ニ一個人又ハ一家ノ内ニ禮拜ニ充テラレタル者ハ包含セザルナリ其他耶蘇教會蓮門教會ノ如キモノモ亦禮拜所ト認ムルナリ要スルニ禮拜所トハ神祀佛堂墓所ニ類似ノモノタルヲ云フニハ非ズ又宗教上ノ信仰タル者ト道德上ニ關係スルモノト區別ヲモ要セザルナリ

墓所トハ普通一般ノ者ノ墓所ヲ謂フニ非ズ然レドモ皇祖皇宗ノ廟ニ係ルモノハ第七十四條ノ規定ニ從ヒ皇陵ニ對スルハ不敬罪トシテ罰スルガ故ニ本條ノ中ニ包含セズ故ニ第七十四條ノ外ノ墓所ニシテ相當敬拜スベキモノヲ謂フ意ナリ

公然不敬ノ行爲アルコトヲ要ス不敬トハ尊祟ヲ缺クベキ行爲ヲ云フ如何ナル行爲ガ不敬ニ屬スルヤ否ヤハ事實問題ナレドモ要スルニ衆人ガ見テ以テ惡感情ヲ起スベキ行爲ハ不敬ニ屬スルモノト謂フベシ例ヘバ罵詈訕笑シ又ハ汚穢物ヲ以テ汚シ或ハ不敬ノ容體ヲ爲スガ如キヲ云フ然ルニ其犯人ニシテ行爲ガ不敬ノ結果ヲ出スベキヲ豫想シタル場合ニ非ザレバ本罪ヲ構成セズ

而シテ不敬ハ公然タルヲ要ス故ニ衆人ノ目前ニ於テ爲サル行爲ハ之ヲ罰スルモノトセズ

説教禮拜又ハ葬式ヲ妨害シタル者説教ヲ妨害スルトハ説教者ニ對シ罵詈訕笑其他暴行ヲ加ヘテ説教スルコト能ハザルニ至ラシムルハ勿論其場所ヲ騷擾スルガ如キモ亦妨害ト謂フベシ禮拜ヲ妨害スルトハ是亦禮拜スルコト能ハザル行爲ヲ爲スヲ云フ而シテ一人ニ對スルト衆人ニ對スル場合ト問ハザルナリ葬式ヲ妨害スルトハ送葬ノ際途中ニテ爲スト其家ニ棺ノアル時ト問ハズ葬式ヲ執行スルコトヲ得ザラシムルヲ云フ

**第八十九條 墳墓ヲ發掘シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス**

【意義】 墳墓トハ死屍ヲ埋葬シタル場所ニシテ棺ヲ埋メタル所ナリ之ヲ發掘スルトハ此ノ所ヲ掘リテ棺ナドヲ露出スルニ至ラシムル行爲ヲ云フ而シテ其ノ目的ノ如何ナルヲ問ハザルナリ

本條ハ舊法第二百六十五條ヲ修正シタル條文ニシテ舊法ニハ墳墓ヲ發掘スル外棺廓又ハ死屍ヲ見ハシタル場合ヲモ規定シタルドモ改正法ハ單ニ墳墓ヲ發掘スル者ヲ罰スルコト、シテ其他ノ事項ハ別ニ條項ヲ規定シタルナリ

**第九十條 死體 遺骨 遺髮 又ハ棺内ニ藏置シタル物ヲ損壞、遺棄又ハ領得シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス**

【意義】 死體ハ人ノ死骸ヲ云ヒ遺骨ハ死體ノ骨ヲ云フ遺髮ハ頭髮ナリ棺内ニ藏置シタル物

トハ死者ノ體ニ著ケアル物等ヲ指シテ一個ノ財物ト爲ルベキモノナク云フ損壞トハ死體ヲ損傷スルヲ云フ遺棄トハ道路又ハ山野ニ棄テルヲ云フ領得スルトハ棺内ヨリ取出シテ自己ノ物トスルヲ云フ而シテ本條ノ趣旨ハ埋葬ノ前後ヲ問ハズ埋葬前ト雖モ火葬場ニ運ビタルモノヲ隱坊オシボウナドガ棺ヲ開ケテ取ル場合ヲ想像シテ規定シタルモノナリ而シテ之ヲ領得スルニアラズシテ損壞又ハ途上ニ遺棄シタル者モ亦本罪ヲ成スモノトス

〔改正要點〕 本條ハ舊法第二百六十四條ヲ修正シタルモノナリ舊法ハ唯死屍ニ付テノミ規定ヲ設クト雖モ改正法ハ之ヲ遺骨遺髮其他棺内ニ在ル物ヲ加ヘ毀棄ヲ改メテ損壞遺棄又ハ領得ト爲シタルナリ

舊法ニハ埋葬スベキ死屍トアルモ本條ハ死體若クハ遺骨ハ埋葬ス可キ物タルト否トヲ區別スルノ必要ナシトシタルハ埋葬スベキ死體若クハ遺骨ニ限ラズ本條ノ行爲アリタル者ハ本罪ヲ構成スルモノトス本條ニ列記スル者ガ何處ニ在ル場合ヲ問ハズ又埋葬スベキモノト否トヲ問ハズ損壞遺棄又ハ領得シタルノ行爲アリタルトキハ本罪ヲ成ス

〔問題〕 茲ニ一ノ問題アリ死體ト云フ意義ハ胎兒クイニモ適用スベキヤ妊娠後既ニ四月以上ニ達シ人類ノ形體ヲ具ヘタル胎兒ノ遺骸ハ死體ト云フコトヲ得ベキヤト云フニ在リ或論者ハ胎兒ハ未ダ人類ト云フコトヲ得ズ出生ノ後ニ於テ始メテ人類ト云フコトヲ得ベク從テ胎内

ニ於テ既ニ死亡シタル者ハ本條ニ所謂死體中ニ包含セシムルコトヲ得ズ然レドモ苟クモ人類ノ形體ヲ具ヘテ出産シタル後ニ於テ死亡シタル以上ハ妊娠後日數ノ長短ヲ問ハズ人類ノ遺骸即チ死屍ト謂フコトヲ得ベシト信ズ法文ニ埋葬スベキ死屍トアルモ死屍ハ總テ埋葬ヲ要ス而シテ法律ニ之ヲ特記スルハ既ニ埋葬シタル死屍ニ對シテハ別ニ次條ノ規定アルガ故ニ之ト區別スル爲メニ過ギズシテ法律ハ埋葬ヲ要セザル死屍アルコトヲ豫想シタルニアラズト

論者ハ胎兒ト分娩兒トヲ區別シテ胎兒ノ死體ハ本條ノ云フ所ノモノニアラズトシ分娩シタル後ノモノヲ以テ茲ニ云フ死體ト爲スニ在リ然レドモ多クノ論者ハ人體ヲ爲シタル胎兒ノ遺骸ヲ包含スルモノトス是レ余ノ贊成スル所ナリ

第九十一條 第九十九條ノ罪ヲ犯シ死體、遺骨、遺髮又ハ棺内ニ藏置シタル物ヲ損壞、遺棄又ハ領得シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

〔意義〕 第九十九條ノ罪ハ單ニ墳墓ヲ發掘スルニ止マルモ此ノ罪ヲ犯スト同時ニ本條ノ罪ヲ犯シタル者ヲ罰スル規定ナリ

墳墓ヲ發掘スルノ目的ガ本條ノ罪ヲ犯シタルト本條ノ罪ヲ犯サントシテ墳墓ヲ發掘スルト

ハ相関連スルモノニシテ何レヲ目的トスルモ此方法ニ因ル罪ハ本條ノ規定ニ從テ處斷スルモノトス是レ本條ハ前條ノ場合ノ如ク未ダ墳墓ニ埋葬セザル前ニ爲スモノニアラズシテ既ニ墳墓ニ埋葬シタル後ニ犯ス罪ナレバナリ

第百九十一條 檢視ヲ經スシテ變死者ヲ葬リタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

【意義】 變死者アルトキハ檢視ヲ經ザレバ葬ルコトヲ得ザルハ變死者ニハ犯罪者ノアルアリテ其死體ヲ檢視スルハ罪狀ヲ發見スルガ爲メナリ本條ノ規定ナケレバ兎角犯罪行爲ヲ隠蔽スル爲メノ手段トシテ行ハレ其間ニハ情狀ノ差違ガアルヲ以テナリ

禮 拜 所 及 墳 墓 關 係 罪

- (一) 不 敬 罪 (イ) 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對スルコト (ロ) 公然爲シタルコト 衆人ノ面前ニ於テ爲スチ要ス否ヲサレハ罪トナラス
- (二) 信教ノ妨害罪 (イ) 敬禮拜又ハ葬式ヲ妨害スルコト 卽チ信教ノ自由ヲ妨害スルモノナリ
- (三) 處 分 (イ) 不敬罪ノ行爲ハ六月以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五十圓以下ノ罰金 (ロ) 説ハ禮拜ノ妨害罪ハ一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金
- (四) 墳墓死體棺内藏置ノ物 (イ) 墳墓ヲ發掘シタル者、死屍ヲ埋葬シタル場所ヲ發掘スルコト二年以下ノ懲役 (ロ) 死體、遺骨、遺髮又ハ棺内ニ藏置シタル物ヲ損壞遺棄又ハ領得シタル者ハ三年以下ノ懲役 (三) 墳墓ヲ發掘シ死體遺骨、遺髮、又ハ棺内ニ藏置シタル物ヲ損壞遺棄又ハ領得シタル者三月以上五年以下ノ懲役
- (五) 檢視ヲ經ズシテ變死者ヲ葬リタル者 (變死者ハ其死亡ノ原因ヲ明ニスルノ必要アリ本罪ヲ犯シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料)

第 二 十 五 章 瀆 職 ノ 罪

【改正要點】 舊法ハ唯官吏ノ職務ニ關シテノミ規定ヲ設ケタルヲ以テ其範圍極メテ狭ク實際上不便少ナカラズ故ニ改正法ハ之ヲ改メ廣ク公務員ノ瀆職ニ關スル規定ヲ設ケ以テ本章適用ノ範圍ヲ廣ク爲シタリ

第一 舊法第二百七十七條第二百七十九條第二百八十三條ハ共ニ他ノ特別ノ法令ニ規定ス可キモノト爲シ之ヲ删除シタリ

第二 舊法ニハ賄賂ヲ贈與シタル罪及ビ公務員ノ職務上ノ秘事ヲ漏泄スル罪ノ規定ナシト雖モ實際上其必要ヲ感ズルヲ以テ之ニ關スル規定ヲ設ケタリ

舊法ニハ本章ノ規定ヲ官吏公益ヲ害スル罪トシタルナリ公益トハ私益ニ對スル語ニシテ一個人又ハ一部人民ニ對スルコトニ非ズ一般ニ對シテ云フ者ナリ故ニ其害ノ及ボスコトモ亦タ廣キモノニシテ單ニ一個人ニ對スルコト甚少ク是レ舊法ニ於テ公益ヲ害スル罪ト爲シタル所以ナリ

第百九十三條 公務員其職權ヲ濫用シ人ヲシテ義務ナキ事ヲ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ禁錮

二 處ス

〔意義〕 公務員トハ官吏公吏及ビ議員タル者ナリ是等ハ皆國家ガ目的ヲ達スル爲メニ行動スル機關ニシテ其行動ハ官制ノ定ムル所ニ從ヒ各其職務ヲ執ル者ナリ而シテ其職務ヲ行フニハ權限アリテ其權限ノ範圍内ニ於テ其職務ヲ行ハザルトキハ之ヲ越權トス即チ職權ノ濫用トナル

本條ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ行爲アルヲ要ス

- 一 公務員其職權ヲ濫用スルコト
- 二 人ヲシテ義務ナキコトヲ行ハシムルコト
- 三 行フベキ權利ヲ妨害シタルコト

第一ノ要件 ヲ解釋スレハ公務員ガ其職權ニ伴フ權利ヲ濫用スルコトヲ要スルガ故ニ縱令ヒ人ヲシテ第二ノ要件ヲ行ハシムルモ其ノ職權ト何等ノ關係モナキ權利ヲ濫用スルモ職權濫用ト謂フコトヲ得ザレバ本罪ヲ構成セズ且ツ本罪ノ構成ニハ公務員タル者ニ於テ職權濫用事實タルコトヲ知リテ濫用スルニ在ラザレバ罪トナラズ  
人ヲシテ義務ナキコトヲ行ハシムルトハ職權ヲ濫用シテ餘計ナ義務ヲ行ハシムルヲ謂フ例ヘバ租稅其他諸般ノ收入額ヲ徵收スル公務員ガ正數外ノ金穀ヲ取立ツルガ如シ舊法第二百

九十條ノ場合ト同一ノ趣旨ナリ同條ノ規定ハ公務員ガ法令ノ規定ニ基キ即チ職權ニヨリ私人ヨリ取立ツル所ノ收入額ヲ謂ヒ其他執達吏又ハ公證人市町村役場ノ公吏ガ徵收スル手数料ノ如キモ之ヲ包含ス而シテ正數外トハ既ニ徵收済ノ分ヲ更ニ再ビ徵收シ又ハ徵收ヲ要スル時ニ際シ法令ノ定メタル額ヲ超過シテ徵收スルガ如キ或ハ其時期ニ違ヒテ之ヲ徵收スルモ同一ノ結果ヲ生ズ然レドモ此場合ハ公務員ガ職權濫用シタルモノニアラズシテ職權ニ依リ徵收スル場合ナルヲ以テ之ヲ不正ニ利用シテ徵收シ義務ナキ事ヲ行ハシメタルコトヲ要ス而シテ亦其不正ニ利用セラル、徵收名義モ公務員ガ職務上徵收ヲ命ゼラレタル取立名義ノ範圍内ニアルモノナラザルベカラズ從テ收稅吏ガ租稅ヲ徵收スル外ニ公證人執達吏ニ屬スル手数料ヲ徵收スルモ其徵收名義ガ收稅吏ノ職務外ニ屬スルヲ以テ本罪ヲ構成セズ  
人民ノ行フベキ權利ヲ妨害スルトハ單純ニ權利ヲ妨害スト云フニ非ズ權利ヲ執行スルニ當リ妨害スルノ意ナリ言換ユレバ當然爲スコトヲ得ベキ權利ヲ妨グルヲ云フ而シテ其場合ハ例ヘバ訴訟ヲ爲スコトヲ得ベキ權利アルモノヲ妨害シテ訴訟ヲ爲サシメザルガ如キ又ハ選延シテ審理セザルガ如キモ包含ス此ノ例示ノ如キハ改正法ハ特別法ノ規定ニ讓リテ舊法ノ規定ヲ删除シタリ然レドモ特別法ニシテ其規定ナキトキハ本條ノ規定ニ從ハザルベカラズ  
第九十四條 裁判、檢察、警察ノ職務ヲ行ヒ又ハ之ヲ補助スル者其

職權ヲ濫用シ人ヲ逮捕又ハ監禁シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

〔意義〕 本罪ノ主體ハ裁判、檢察、警察ノ職務ヲ行フ者又ハ之ヲ補助スル者此等ノ者ガ職權ヲ濫用シ人ヲ逮捕又ハ監禁シタルコトヲ要ス舊法第二百七十八條ニハ逮捕官吏ガ不法ニ人ヲ逮捕又ハ監禁シタル場合ヲ規定スルモノナルヲ以テ改正法ハ其趣旨ヲ擴張シ廣ク其主體タル者ヲ本條ノ如ク規定シタリ此等ノ主體タルベキ官吏ハ人ヲ逮捕スベキ職掌アル者ニシテ職權上人ヲ逮捕スベキハ其職務ヲ行フベキモノナレドモ其職權アル場合ニ限り本罪ヲ構成スベキモノトス故ニ其職掌アル者ト雖モ一私人ノ資格ニ於テ職務執行以外ニ於テ之ヲ行ヒタルトキハ本罪ヲ構成セズ

逮捕スベキ職權アル者ト雖モ法令ニ定メタル條件ニ從ハザレバ人ヲ逮捕スルコトヲ得ズ其條件ニハ二個ノ場合アリ即チ實質ノ條件ト形式ノ條件トナリ實質的條件トハ被告人定リタル住所アラザル時被告人罪證ヲ湮滅シ又ハ逃走スル恐アルトキ又ハ被告人未遂罪ヲ犯シ又ハ脅迫罪ヲ犯シ仍ホ其目的ヲ遂ゲントスル恐アルニアラザレバ直チニ拘引狀ヲ發スルコトヲ得ザルガ如キ而シテ拘留狀ハ被告人ヲ訊問シタル後禁錮以上ノ刑ニ該ルベキモノト思料スルニアラザレバ發スルコトヲ得ザル場合ヲ云フ形式的條件トハ現行犯ニアラザレバ合狀

ナクシテ逮捕スルコトヲ得ズ拘引狀ヲ以テ引致シタル被告人ハ四十八時間ヲ經過シタル後ハ拘引狀ヲ以テスルニ非ザレバ之ヲ拘留スルコトヲ得ザルガ如シ

第九十五條 裁判、檢察、警察ノ職務ヲ行ヒ又ハ之ヲ補助スル者其職務ヲ行フニ當リ刑事被告人其他ノ者ニ對シ暴行又ハ陵虐ノ行爲ヲ爲シタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

法令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ看守又ハ護送スル者被拘禁者ニ對シ暴行又ハ陵虐ノ行爲ヲ爲シタルトキ亦同シ

〔意義〕 本罪モ其主體タルベキ人即チ犯罪者ハ裁判、檢察、警察ノ職務ヲ行ヒ又ハ之ヲ補助スル者ナリ此等ノ者ハ左ノ人ニ對シテ爲スベキ犯罪行爲ハ

第一 犯罪ノ目的タルベキ人

(一) 刑事被告人囚人、監置人、留置人又ハ懲治人ナリ

第二 犯罪行爲

(二) 暴行又ハ凌虐ノ行爲タルコト

刑事被告人トハ未決囚ニシテ未ダ裁判確定セザル者ナリ囚人トハ既決囚人ニシテ執行中ノ

者監置人トハ精神障礙ニ因リ罪ヲ犯シタル者ガ情狀ニ因リテ此處分ヲ命ゼラレタル者ナリ  
 留置人トハ罰金ヲ完納スルコト能ハザル者ヲ刑ニ換ヘテ留置場ニ於テ勞役ニ服セシムルヲ  
 云フ懲治人トハ瘡癩者ノ如キ其罪ヲ罰セザル者ヲ監獄内ニ置クヲ云フ此等ノ者ハ常ニ裁判  
 檢察、警察官ノ取扱ヲ受クル者ナリ其間ニ非道ノ取扱ヲ爲シタル時ハ本罪ヲ構成スルモノ  
 トス  
 暴行又ハ凌虐ノ行爲トハ一ハ腕力ヲ以テ毆打シ或ハ拷問シ足ニテ蹴リナドスル如キ手暴キ  
 所爲ヲ云ヒ一ハ飲食衣服ヲ給セズ或ハ暗室ニ入ル、ガ如キ之ヲ凌虐ノ行爲ト云フ要スルニ  
 獸類ノ如キ非道ノ取扱ヲ爲シ其苦痛ニ堪ヘ難キヲ云フナリ  
 法令ニ因リ拘禁セラレタル者トハ法律命令ヲ適用シ監獄内ニ入レラレタル者ヲ云フ即チ既  
 決ノ囚ガ裁判執行中ニ在ル者ナリ此等ノ者ガ獄内ニ在ルトキ又ハ服役中ニ看守スル者又ハ  
 他ノ監獄ヘ護送スル時暴行又ハ凌虐ノ行爲ヲ爲ス者モ亦其罪前項ニ同ジトス  
 前改正案ニハ第二百二十七條ニ法令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ看守又ハ護送スル者水火風  
 震其他非常ノ事變ニ際シ必要ノ處分ヲ爲スコトヲ怠リ因テ被拘禁者ヲ死傷ニ致シタルトキ  
 ハ傷害ノ罪ニ照シテ處斷スト規定シタルモ此ノ必要ノ處分ヲ爲スコトヲ怠リシハ一ノ懈怠  
 ニ外ナラズ懈怠ノ結果死傷ヲ生ゼシメタル場合ヲ故意ヲ以テ犯シタル傷害ノ罪ニ照シテ處

斷スルト云フハ法理ニ適合シタル規定ニアラズ普通ノ場合ニハ職務上ノ過失ト云フニ過ギ  
 ザレドモ人命ニモ關スル場合ナルガ故ニ取締ノ必要上傷害ノ罪ニ照スト云フハ不可ナリト  
 云フ趣意ニテ之ヲ削除シタルナリ

改正法ハ斯ノ如キ場合ニハ一般ノ過失傷害ノ罪ニ該當シ第二百一十一條ノ業務上特別ナル注  
 意ヲ爲スコトノ必要ナル者ガ注意ヲ怠リシ場合トシテ規定シタルナリ

**第九十六條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害**

**ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス**

〔意義〕 前二條ノ罪ヲ犯シタル者ガ其結果人ヲ死傷ニ致シタル者ナレバ普通ノ者ガ故意ニ  
 傷害ノ罪ヲ犯シタルニ比較シ重キニ從テ處斷スルコト、ス

**第九十七條 公務員又ハ仲裁人其職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之**

ヲ要求若クハ約束シタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ  
 行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ一年以上十年以下ノ  
 懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其一部又ハ全

部ヲ没收スルコト能ハサルトキハ其價額ヲ追徴ス

【改正要點】本條ハ舊法第二百八十四條ノ趣旨ヲ擴張シタル規定ニシテ舊法ハ唯官吏ノ收賄ノ場合ノミヲ擧ゲタレドモ改正法ハ廣ク公務員又ハ仲裁人ニ關スル規定ト爲シ又舊法ニハ賄賂ヲ聽許シトアルヲ之ヲ約束シト改メタルハ其文字妥當ナラザルニ因ル而シテ汎ク總テノ場合ヲ包含セシメタリ又本條第二項ハ舊法第二百八十八條ト類似シタル規定ニシテ既ニ收受シタル賄賂ノ全部又ハ一部ハ之ヲ没收スルモ若シ没收シ得ザルトキハ其價額ヲ徵收シ以テ犯人ヲシテ不當ノ利得ヲ爲サシムルコトヲ目的ト爲シタリ  
本條ヲ説明スルニハ之ヲ三項ニ分チテ爲スヲ便宜トス

第一 收賄罪ノ主體即チ犯人ハ公務員又ハ仲裁人ナリ本條ノ仲裁人トハ民事訴訟法ノ規定ニ依テ仲裁ノ職務ヲ行フ者ヲ指シタルナリ

第二 ハ其職務ニ關シテ爲スコトヲ要ス是本罪ハ濫職ノ一種ナルヲ以テ公務員又ハ仲裁人ガ其資格ニ於テ即チ職務ノ範圍内ニ屬スル事項ニ付キ本罪ヲ犯スコトヲ要ス故ニ其職務外ニ於テ賄賂ヲ收受シタリトテ本罪ヲ構成セズ而シテ賄賂ヲ收受スルニハ職務ニ關シテ或ル事件ノ囑託ヲ受ケタル報酬トシテ受クベキヲ云フモノナレバ左ノ場合ニハ本罪ヲ構成セズ

(一) 公務員ト雖モ單ニ一私人ノ資格ニ於テ他人ヨリ賄賂ヲ收受スルモ本罪ヲ成サズ  
(二) 自己權限外ニ屬スル事件ヲ自己ノ權限内ニ屬スル如ク他人ヲ欺キテ事件ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シタルトキハ本罪ヲ構成セズ

(三) 自カラ權限外ナルコトヲ知ラズシテ職務外ノ事項ニ付キ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受又ハ要求シ若クハ約束シタルモ本罪ヲ構成セズ

第三 ハ因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サルコトヲ要ス語ヲ換テ言ヘバ賄賂ハ人ノ囑託ヲ受ケタル報酬トシタルコト其囑託ヲ受クルハ一定ノ行爲ニ關係シタル事件ナラザルベカラズ故ニ一定ノ事件ノ囑託ノ爲ナラズ唯ダ公務員ノ御氣嫌ヲ伺フ爲メニ贈與シタル者ハ本罪ヲ爲サズ又其囑託ノ目的タル行爲ハ職務行爲ナルコトヲ要ス即チ公務員ノ職務權限内ニ在ル行爲ニシテ其公務員ガ行フベキ職務ニ對シテ爲スコトヲ得ベキ權限内ナルコトヲ要ス

此囑託ヲ受ケ承諾シタルニ因リ不正ノ行爲ヲ爲シタルコト、ハ例ヘバ裁判官ガ自己ノ裁決ヲ與フベキ被告事件ニ付キ或ハ無罪トシ或ハ有罪トシテ其依頼者ニ利益ナル裁判ヲ與ヘタルガ如キヲ云フ又例ヘバ土木工事ヲ擔當スル公務員ガ工事請負者ト一致シテ工事費用ノ計算上ニ利ヲ得セシメ又自己ニ利ヲ得ルニ付テ工事請負者ヨリ賄賂ヲ收受スルガ如



キ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サルコト例ヘバ執達吏ガ差押ノ執行ヲ爲スニ當リ賄賂ヲ收受シテ其執行ヲ爲シタルガ如クシテ實際之ヲ爲サルガ如キ是ナリ

抑モ賄賂トハ利益ナリ公務員等ノ職務ニ關シ囑託セラレタル事件ヲ受諾スル報酬トシテ提供スル所ノ利益ヲ謂ヒ金錢又ハ金錢ニ見積リ得ベキモノタルト否ラザルト又有形ノモノタルト無形ノ利益タルトヲ問ハズ利益トナルモノハ凡テ之ヲ含ム即チ例ヘバ酒樓ノ馳走ヲ振舞フモ囑託ニ對スル報酬トスルトキハ賄賂ト謂フコトヲ得ベキガ如シ

賄賂ハ收受、要求若クハ約束ノ三ニ分ツナリ收受ハ現ニ受取リタルコトヲ謂フ而シテ其ノ直接ニ受クルト第三者ニ依リテ間接ニ收受スル場合ヲモ包含ス例ヘバ公務員ガ不在中家人ノ受取リタル場合ノ如シ要求トハ公務員自身ヨリ進ンデ賄賂ヲ受クルコトヲ發意シタルヲ謂フ約束トハ双方ノ意思ガ合致シタル場合ニシテ此ノ合意アリタレバ之ニ因テ双方ノ合意ハ實行サル、モノナレバ約束ノ時ニ既途トナル假令ヒ之ニ對シテ公務員ガ事實不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サルトニ關セズ唯ダ實行ニ因リテ罪責ノ加重ノ原因トナルノミ又之ガ爲メニ不正ノ行爲ヲ爲サズ正當ニ職務ヲ行フニ關シテ收受スルモ本罪ヲ構成スルナリ是本條第一項前段ノ規定ニ明カナリ

本條第二項ノ規定ニ依レバ賄賂ヲ收受シタルトキハ其賄賂ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルモ

ノトス若シ之ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其價額ヲ追徴スルコト、ス即チ賄賂ヲ收受シタル者ニ於テ之ヲ所持シ居ルトキハ其全部又ハ一部ヲ沒收スルコト、スレドモ若シ消費シテ之ヲ所持シ居ラザルトキハ沒收スルコトヲ得ザルヲ以テ此ノ場合ニハ其物品ノ價額ニ相當スル金額ヲ取立テルモノトス例ヘバ其物件ガ原狀ヲ變ズルカ即チ金錢ヲ以テ物品ヲ買ヒ又ハ收受シタル反物ヲ以テ衣服ヲ仕立ツルガ如キ或ハ原狀ヲ存スルモ既ニ他人ニ贈與シテ犯人ノ手ニ在ラザルガ如キ場合ニハ其收受シタル當時ノ物件ノ價額ヲ取立ツルモノトス

**第九十八條** 公務員又ハ仲裁人ニ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

【意義】 本條ハ新ニ設ケタル法文ニシテ舊法ニ賄賂ヲ贈與又ハ約束シタル者ヲ處罰スル規定ナキヲ以テ改正法ハ之ヲ規定シ此等ノ者ヲ罰シ收賄ノ弊ヲ矯正セント爲シタルモノナリ舊法ハ官吏ノミ收賄罪ノ主體ト爲シ之ヲ官吏ニ交付スル一私人ハ本罪ノ主體タルコトヲ得

ザル者トス故ニ官吏ニ賄賂ヲ贈與スルノ一人ハ無罪責ナリシガ本條ハ交付、提供又ハ約束シタル者ヲモ共犯人トシテ處罰スルコト、シタレバ其一人モ本罪ヲ構成スルコト、ナル

交付トハ直接ト間接トヲ問ハズ既ニ公務員又ハ仲裁人ノ手裡ニ渡シタルヲ云フ提供トハ公務員又ハ仲裁人ノ面前ニ持參シ差出シタルコトヲ云フ約束トハ前ニ述べタルガ如ク之ヲ交付スルコトヲ承諾シタル場合ニシテ單ニ約束シタルニ止マリ其引渡ハ後日ニ爲スコトニ取極メタルニ在リ此場合ハ公務員等ヨリ自カラ求メタルト贈賄者ヨリ自カラ進ンデ申出デタルトヲ問ハズ單ニ合意ノ成レルコトニシテ合意ノ成ルト同時ニ本罪ハ既遂トナル

元來賄賂ノ行爲タル單獨行爲ニアラズシテ二人相待テ成ルモノナリ即チ公務員ガ贈與ヲ受ケント欲スルモ之ヲ贈與スル者ナケレバ能ハズ即チ一人ガ贈與ヲ爲サント提供スルモ公務員ニ於テ之ヲ諾セザレバ成立セズ是レ改正法ガ此規定ヲ設ケテ其弊ヲ矯正スル所以ナリ尙ホ一言スベキハ賄賂ヲ收受シ約束スルニハ一定ノ行爲ニ關シテ即チ囑託ヲ受ケシ爲メニ物ヲ收受スル場合ニ爲シタルコトヲ要ス故ニ囑託ヲ受ケタルコトアルニ當リテ之ヲ收受スルモ其事ニ關シタル場合ニアラザレバ本罪ヲ構成セズ双方ニ於テ共ニ囑託シタル事件ニ關スル意思アルコトヲ必要トス

公務員又ハ仲裁人ニ賄賂ヲ贈與シタル者ガ其事ノ未ダ發覺セザル前ニ自首シテ官ニ告ゲタルトキハ其刑ヲ免除セラル、モノトス是レ普通ノ場合ト異ニシテ普通ノ他ノ罪ハ自首ハ減輕ニ止マルモ本罪ノ場合ハ其行爲ガ社會ヲ害スル性質ノモノニ非ズシテ濫職ノ惡弊ヲ生ズルヲ矯正スルノ趣旨ナレバナリ又裁判確定前ニ即チ本案ノ言渡アル前ニ自首シ其罪狀ヲ申立テタルトキハ其刑ヲ減輕スルニ止マラズ或ハ免除スルコトヲ得ベシ

第一 職權濫用

第二 不法ニ逮捕又ハ監禁シタル罪

第三 暴行凌虐ノ行爲

第四 賄賂收受ノ罪

- (一) 公務員タル身分アルコト
- (二) 職權ヲ濫用シテ人ヲシテ義務ナキコトヲ行ハシメ又ハ行フヘキ權利ヲ妨害シタルコト
- (三) 公務員ニ於テ職權濫用ノ事實ヲ知ルコトヲ要ス
- (四) 處分六月以下ノ懲役又ハ禁錮
- (一) 裁判、檢察、警察ノ職務ヲ行ヒ又ハ之ヲ補助スル者
- (二) 職務ヲ行フニ當リ刑事被告人其他ノ者ニ對シ毆打創傷シ衣服飲食ヲ給セザル等ノ暴行又ハ凌虐ヲ爲シタルコト
- (三) 法律命令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ看守又ハ護送スル者タルコト
- (四) 拘禁セラレタル者ニ對シ暴行又ハ凌虐ノ行爲ヲ爲シタルコト
- (五) 處分 三年以下ノ懲役又ハ禁錮

成立條件

- (一) 公務員又ハ仲裁人タル職務アル者
- (二) 其職務ニ關スルコト
- (三) 賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若クハ約束シタルコト
- (四) 因テ不正ノ行爲ニ當リ行爲ヲ爲サハルトキ
- (五) 處分 收賄額ハ三年以上ノ懲役不正ノ行爲ヲ爲シタルトキハ相當ノ行爲ヲ爲サハルトキハ一年以上十年以下ノ懲役

第五賄賂ヲ贈リタル者ノ罪

(一)私人ナルコト  
(二)公務員又ハ仲裁人ニ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者  
(三)處分三年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金但自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十六章 殺人ノ罪

【改正要點】 舊法第二百九十三條ハ毒殺罪ヲ以テ常ニ謀殺ト爲スト雖モ是一ノ情狀ニ關スル場合ナルヲ以テ改正法ハ之ヲ裁判所ノ認定ニ任ジ本條ヲ削除セリ舊法第二百九十八條ハ誤殺ノ規定ナリト雖モ學說上當然ノ法理タルヲ以テ敢テ之ヲ規定スル必要ナキノミナラズ之ガ爲メ却テ疑義ノ基因ト爲ル處アルヲ以テ改正法ハ之ヲ削除シタリ

殺人行爲ニ付キ謀殺及ビ故殺ノ區別ヲ爲ス法制ノ可否ハ現時刑法界ノ一大問題ナリト雖モ理論上殺人行爲ニ付キ豫謀ノ有無ヲ區別シ能ハザルヲ以テ之ヲ實際ニ鑑ミレバ謀殺必ズシモ重シト謂フベカラズ故殺必ズシモ輕シト謂フベカラズ而シテ改正法ハ刑ノ範圍ヲ擴張スルニ在レバ何等ノ實益ナキ謀殺故殺ノ區別ヲ全廢シテ廣ク殺人行爲ニ對シテ範圍廣濶ナル刑ヲ科シ其情狀ニ應ジ裁判官ヲシテ相當ナル刑ヲ科セシメザルコトヲ得ズトノ趣旨ナリ  
舊法第二百九十七條モ亦規定ヲ要セズシテ明カナルヲ以テ之ヲ削除シタリ

第百九十九條 人ヲ殺シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ三年以上ノ懲役ニ處ス

【意義】 殺人罪ニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一 殺人罪ノ客體タルハ生命アル人間タルコト

刑法上人ト謂フトキハ未ダ出生セザル胎兒モ之ヲ包含スルヤ否ヤニ付テハ學者間ニ諸説アリ左ニ二三ヲ擧グレバ

第一説 分娩作用ノ間即チ産氣付キタルトキ以後ニ於テハ假令胎兒ガ全ク母體ヲ離レザルモ尙ホ人間ト稱スベシト

第二説 胎内ノ兒ガ苟クモ其肉體ノ一部分ヲ母ノ體外ニ出タルトキ以後ニ於テハ假令全然母體ヨリ分離セズトモ人間ト稱スベシト

第三説 胎兒ガ自己ノ肺ヲ以テ母體ヨリ獨立シテ呼吸作用ヲ爲シ得ル状態ニ達シタルトキヲ以テ人ト稱スベシト

以上ノ諸説中第二説マデハ何レモ其當ヲ得ズ第三説ハ予輩ト其説ヲ同フスル者ナリ予輩ハ既ニ胎兒ト云ヘバ未ダ母體ヲ離レザル間ノモノヲ云フモノナレバ人ト謂フコトヲ得ズ人ト稱スルニハ全ク母體ヲ分離シタル以後ヲ謂フモノトス而シテ分娩シタルトキハ假令其嬰兒

ガ如何ナル畸形兒ナリトモ人間ノ母體ヨリ出デタルモノナレバ刑法上ノ人ト謂フテ可ナリ  
從テ之ヲ殺シタルトキハ普通ノ人ヲ殺シタルト同一ニ殺人罪ヲ犯スモノト謂ハザルヲ得ズ  
而シテ其産兒ハ將來ニ生存シ得ベキモノト否トヲ問ハザルナリ

第二 殺人ノ所爲アルコトヲ要ス

殺人ノ行爲ハ必ズシモ被害者ノ身體ニ對スル有形的動作タル手段ニ依ルコトヲ要セズ其  
ノ精神上ニ對スル無形的ノ所爲ニ依テモ亦之ヲ行フコトヲ得ルモノナリ例ヘバ人ヲシテ  
非常ニ恐怖セシメタル結果其人ノ死ヲ致スガ如キモ殺人ノ所爲ト謂フコトヲ得ベシ

第三 殺人ノ意思アルコトヲ要ス

殺人ノ意思トハ人ヲ殺害スルト謂フ結果ヲ生ズル豫見アルヲ謂フ而シテ此手段ニ二様ア  
リ作爲ノ手段ニ依ル場合ト不作爲ノ手段ニ依ル場合トニ依ルコト是ナリ

(一) 殺人罪ヲ行フ場合ニ於テ犯人ノ作爲ガ殺人ト謂フ結果ヲ發生スルコトヲ豫見シ得  
ル意味ヲ作爲ノ手段ニ依ル殺人行爲ト謂フ

(二) 殺人行爲ノ場合ニ於テ犯人ノ作意ガ殺人ト謂フ結果ノ來ルコトヲ防止スルコトヲ  
得ルヲ豫見スルコトヲ意味スルヲ不作爲ノ手段ニ依ル殺人行爲ト謂フ  
今ヨリ殺人罪ノ要素ニ付テ述ブレバ左ノ如シ

本罪ノ主體タル人ハ胎兒ニモアラズ死亡者ニモアラズ出産後ヨリ死亡ニ至ルマデ現ニ生存

シタル人ヲ指ス而シテ之ヲ殺ストハ生命ヲ斷ツニ在ルナリ尙ホ詳細ニ區別スレバ左ノ如シ

第一 殺人トハ他人ノ生命ヲ不正ニ斷ツコトナリ故ニ斷タレタル人ノ生命ガ豫メ存在シタ  
ルコトヲ要ス若シ存在セザルトキハ其目的ヲ達スルコトヲ得ズ

第二 他人ノ死ヲ惹起シタル原因タルベキ所爲ナルヲ要ス即チ死ト云フ結果ト犯人ノ行爲

トガ原因結果ノ關係ヲ有スルコトヲ要ス

第三 犯人ニ於テ死ト云フ結果ヲ惹起セシメントノ意思アルコトヲ要ス殺人ノ行爲ニハ其

意思ナカルベカラズ其レ意思ナキ場合ハ何等ノ行爲ト雖モ罪ヲ成ササルヲ原則トス故ニ

本罪モ意思アリテ其目的ガ殺人ニアルトキハ假令ヒ其人ハ犯人ノ殺サント欲セシ所ノ人

ニ非ザルモ苟モ其ノ意思アルニ於テハ甲ヲ殺サント欲シ誤テ乙ヲ殺シタルガ如キ場合ニ

於テモ人ヲ殺スノ行爲ニ付テハ錯誤ナキヲ以テ其目的ノ人タルト否トニ關セズ

殺人罪ニ犯人ガ手ヲ下サズシテ之ヲ犯スコトアリ即チ死亡ノ結果ヲ防止スベキ法律上ノ

義務アル者ガ之ヲ防止セザルニ依リ殺人罪ヲ犯スコト是ナリ例ヘバ醫師ガ診察ノ依頼ヲ

受ケ其ノ治療ヲ引受ケタル患者ノ死亡ヲ傍觀シ居リシ時ノ如キハ殺人罪ナリ又巡查ガ水

中ニ投身スル者ヲ見ツ、之ヲ救ハザルトキハ殺人罪ナリト謂フヲ得ベシ然レドモ此等ハ

法律上殺人罪トシテ罰セズ職務ノ怠慢ト爲スベキモノナリ

殺人罪ノ所爲ト死亡トノ結果ノ間ニ付テハ時間ノ長短ヲ問ハズ例ヘバ殺傷シタルトキ即死シタル者モ傷害セラレタルヨリ數時間ヲ經過シテ死シタル場合モ之ヲ區別セズ

殺人罪ニ謀殺故殺ノアルコトハ殺人罪ヲ犯スノ體様ナリ舊法ハ之ヲ區別シテ其罪責ニ輕重ヲ分チタルモ改正法ハ之ヲ全廢シタレバ其ノ名稱ハ之無キモ實際ニ於テハ其體様ニ因リ同一ノ刑罰ニ處スルコトヲ得ザル場合アルベキナリ刑ノ輕重ヲ定ムル標準ハ犯罪當時ノ其意思ノ猛惡ナルト犯罪ノ度數トニ因ルコト多クレバ裁判所ハ其ノ情狀ニ應ジ相當ナル刑ヲ科セザルベカラズ唯ダ謀殺必ズ重ク故殺必ズ輕シトシテ法律ガ刑ノ輕重ヲ豫メ定ムルノ必要ナシトシテ廢止シタルノミ今其ノ謀殺故殺ノ體様ノ異ナル所ヲ擧グレバ左ノ如シ

(一) 謀殺トハ豫謀ニ出デタルモノナリ即チ犯人ニ於テ殺人ヲ行ハントノ念ガ即時ニ決定セラレタルニ非ズ故ニ豫謀ノ場合ニハ犯罪行爲ヲ行ハントノ觀念ガ發生セシヨリ決定ニ至ルマデ其間ニ多少ノ時間ヲ存スルコトヲ要スルモノナリ且ツ豫謀ハ實行ノ時ニ當リ之アルコトヲ要ス故ニ豫謀シテ殺人犯ヲ行ハントセルモ之ヲ實行シタルトキ豫謀ノ事實ナキモノハ謀殺ニアラズ決心シタル時ト實行セルトキトノ間ノ時間ノ長短ハ謀

殺ノ證據トシテ有力ナルモノトス

(二) 犯罪實行ノ當時ニ於テ此豫謀ノ決意ニ基カズ突然殺人ノ實行アリタルトキハ謀殺罪ヲ成立セズシテ故殺罪ヲ以テ論ゼザルベカラズ例ヘバ憤激ノ餘リ前後ノ思慮熟考ナクシテ直チニ殺シタルガ如キハ故殺ナリ然レドモ豫謀ハ犯罪決意ノ狀況タルノミニシテ犯罪ノ手段日時場所ニ關スルモノニアラザルヲ以テ豫謀ノ決意ニ因ル犯罪ノ實行タル以上ハ假令初メニ豫謀シタル手段ニ依ルト否ト又其日時場所ヲ異ニスルトハ謀殺罪ノ成立ニハ關係ナキモノトス

舊法第二百九十三條ニハ毒物ヲ用ヒテ人ヲ殺シタルハ其刑ヲ故殺罪ノ重キニ處シ謀殺ヲ以テ論ズルモノトス故ニ舊法其他ニ於テ單ニ謀殺ト規定シタル場合ニ於テハ常ニ毒殺ノ罪ヲ包含スルモノトス

又舊法第二百九十五條ニハ慘刻ノ手段ニ依ル故殺罪ヲ死刑ノ重キニ處スルモノトシタリ慘刻ノ所爲トアルハ身體ヲ裂キ四肢ヲ折ル等ノ殘忍ナル所爲ヲ云フ而シテ其ノ慘刻ノ所爲ハ殺人ノ手段ニ出ヅルコトヲ要スルガ故ニ一旦殺人ノ結果ヲ生ジタル後ニ於テ其死屍ニ對シ殘忍ノ所爲アルモ本罪ヲ構成セズ普通故殺罪ヲ以テ論ズベキナリ

舊法第二百九十六條ニハ重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ己ニ犯シテ其罪ヲ免ル、

爲メ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處スト其重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メトハ例ヘバ強盜ヲ犯スニ當リ妨害スル者アルヲ殺スガ如シ其ノ犯罪ノ實行ヲ容易ナラシムルニ基クトキハ殺人行爲ガ犯人ニ因テ企テタル重罪輕罪ノ着手中ニ行ハル、ト豫備ノ手段トシテ行ハル、トハ問フ所ニアラズ

又ハ己ニ犯シテ其罪ヲ免ル、爲メトハ例ヘバ放火及ビ竊盜ヲ犯シタル者逃亡ノ爲メ若クハ罪ノ發覺ヲ防グ爲メニ人ヲ殺スガ如キ場合ヲ云フ又第二百九十七條ニハ人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘導シテ危害ニ陷レ死ニ致シタル者ハ故殺ヲ以テ論ズトアリ該條ハ豫謀又ハ故意ニ出タル殺人ノ手段ガ被害者ヲ詐稱誘導シテ危害ニ陷レ以テ死ニ致シタル場合ノ規定ナリ而シテ其殺人行爲ガ殺人ノ犯意ヲ以テ行ハレタルトキハ故殺罪トナリ豫防ニ出デタルトキハ謀殺罪トナルモノトス

以上ハ殺人罪ヲ犯ス體様ヲ述ベタルモノナリ改正法ハ此等ノ區別ヲ立ツルノ必要ナク殺人罪ハ身分ニ因リテ其罪責ヲ區別シタルヲ見ルノミ  
本條ノ殺人ハ自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ノ外總テノ人ヲ殺シタル場合ノ規定ナレドモ皇族ニ關スル殺人犯罪ハ本條ノ規定ニ從フベキモノニアラズ皇室ニ對スル罪ノ規定ニ從フベキモノトス

### 第二百條、自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ヲ殺シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

【意義】 本條ハ舊法祖父母父母ニ對スル罪トシテ第三百六十二條ノ規定ヲ補ヒタルモノナリ同條ニ曰ク「子孫其父母祖父母ヲ謀殺故殺シタル者ハ死刑ニ處ス其自殺ニ關スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シニ等ヲ加フ」ト茲ニ所謂祖父母ト稱スルハ高曾祖父母、外祖父母、父母ト稱スルハ繼父母、嫡母、子孫ト稱スルハ庶子曾玄孫、外孫ヲ指シタルナリ本條ニ直系尊屬ト稱スルハ舊法ニ所謂高曾祖父母及ビ父母ヲ謂フ配偶者ノ直系尊屬トハ妻ノ直系尊屬妻ヨリハ夫ノ直系尊屬ヲ指ス

民法ニ於テモ配偶者ノ直系尊屬ハ自己ノ直系尊屬ト同様ニ規定シタリ又現ニ其家ノ妻トシテ夫ノ尊屬ニ對シテ罪ヲ犯スト云フ如キ場合ハ子孫ガ父母或ハ祖父母ニ對シテ犯シタ場合ト同様ノ刑罰ヲ科スル必要ハ極メテ多シ猶ホ配偶者相互ノ直系尊屬モ自己ノ直系尊屬ト同ジク認ムベキ特例ヲ設クルノ必要ガ實際ニアラント思料シテ改正法ガ之ヲ規定シタル立法者ノ精神ナリ

本條ハ我國ニ於テ最モ重ンズベキ罪ニシテ國體ニモ關スル底ノ犯罪ナリトス是我國ハ祖先ヲ尊崇シ父母ニ孝ヲ盡スベキヲ以テ國體トスルモノニシテ皇祖皇宗ノ民ニ教ヘテ垂レ賜ヒ

シヨリ我國ノ存在ト共ニ永久易ハルコトナキ道ナリ是ヲ以テ直系尊屬ヲ殺シタル者ハ其罪最モ重キ死刑又ハ無期懲役ニ處スルモノトスル所以ナリ

第二百一條 前二條ノ罪ヲ犯ス目的ヲ以テ其豫備ヲ爲シタル者ハ二

年以下ノ懲役ニ處ス但情狀ニ因リ其刑ヲ免除スルコトヲ得

〔意義〕 犯罪ノ豫備トハ先ヅ犯罪ノ意思ガ定マリテ之ヲ事實ト爲サンガ爲メニ行フ所ノ用意ヲ謂フ而シテ此ノ刑法ハ豫備ノ場合ヲ罰スルト罰セザルトアリ豫備ノ所爲ヲ罰スルニハ各本條ニ於テ其規定ヲ設ケタル場合ニ非ザレバ刑罰ヲ科スルコトヲ得ズ本罪ノ如キハ國家ノ危害中甚大ナルモノナルヲ以テ其豫備ヲモ罰スルモノトシタルナリ

舊法ニハ謀殺罪ヲ認メタリ此豫備ノ所爲ハ謀殺ニ該當スル行爲ニシテ精思熟慮シテ其方法手段ヲ施シタルニ進行シタル者ニシテ其情狀重キモノナレバ之ヲ處罰シ以テ危害ヲ決行スルヲ防止スルノ必要アリトシタル所以ナリ

殺人ノ豫備ト強盜ノ豫備トハ舊法ニハ之ヲ罰スルノ規定ナシト雖モ實際此等ノ豫備ノ中ニハ程度ノ進ミタルモノアルヲ以テ且之ヲ取締ル必要アリトシテ改正法ハ之ヲ罰スルモノトシタルナリ而シテ殺人ノ豫備ト強盜ノ豫備ト刑ノ輕重アルモノトシタルハ實際ニ於テ殺人ノ豫備ハ強盜ノ豫備ニ比スレバ場合モ少ク立法ノ沿革ヨリ見ルモ多少其間ニ差異アリト思

料シタルニ依ル

本條但書ヲ設ケタル理由ハ第一百十四條ニ於テ放火罪ノ豫備ハ二年以下ノ懲役ニ處シ情狀アルトキハ其刑ヲ免除スルコト、ス改正法ノ殺人ノ豫備ハ一年以下ノ懲役ニ處ストアツテ全ク刑ヲ免除スルノ規定ナシ改正法ガ此ノ如ク本條ヲ規定シタル理由ヲ見出スニ苦ムナリ若シ之ヲ放火罪ノ豫備ト比較スレバ寧ろ殺人ノ罪ハ却テ情狀ノ有無ヲ斟酌セザルベカラザルモノナリ刑ノ處斷ニ就テモ放火ノ豫備ハ第一百三條ノ但書ノナキモ最短期一ヶ月マデ下シ更ニ酌量減輕ヲ適用スレバ一ヶ月ノ半數即チ十五日ニ下スコトヲ得ベシ從テ放火ノ豫備ハ同條ノ但書ナキモ實際ノ適用ニ妨ゲナシトス勿論痴情等ノ結果放火スル如キ場合ナドハ其情狀ガ輕シト雖モ十五日位ノ刑ヲ科スルモ不相當ニハアラズ之ニ反シテ殺人罪ノ豫備ハ全ク一日ノ刑ニ處スルコトヲモ欲セザル場合アリ假令バ同ジク痴情ヨリシテ合意ノ上情夫ガ先ヅ情婦ヲ殺シ自ラモ直チニ自殺セントシテ準備中逮捕セラレタリトセヨ一方ニ對シテハ謀殺ノ豫備ニ相違ナキモ此ノ如キ場合ハ其情甚ダ輕シト謂ハザルベカラズ又貧困ニ迫リテ親子諸共汽車ニ轢死スルカ或ハ川ニ投身シテ自殺セントシ親タル者子ヲ伴フテ死所ニ到ル途中發見セラレタル場合ニ尙ホ必ズ本條ノ刑ヲ適用セントスルハ情ニ於テ忍ビザル所ナリ之等ノ事例ニ依ルモ第一百三條ニ但書ヲ置ク以上ハ殺人罪ノ豫備ニハ尙ホ且ツ但書ノ必要

アリト認メタルモノナリト謂フニ在リ

第二百二條 人ヲ教唆若クハ幫助シテ自殺セシメ又ハ被殺者ノ囑託ヲ受ケ若クハ其承諾ヲ得テ之ヲ殺シタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

【改正要旨】 舊法ニハ自殺ノ補助ヲ爲スノ規定アレドモ改正法ハ此ノ規定ヲ幫助ノ文字ト改メタリ自殺ノ幫助トハ自殺者ノ爲メニ殺人ノ實行ヲ容易ナラシメタル場合ヲ謂フモノナレバ自殺ノ教唆ト同ジク自殺罪ノ從犯トシテ處罰スルコトヲ得ズ其他本罪ノ成立ニハ自殺ノ補助ヲ爲スノ事實ヲ知りタルコトヲ要スルガ故ニ過失ニ因テ自殺ヲ補助スルモノ本罪ヲ構成セズ

舊法ハ自己ノ利益ノ爲メニスルト否ト區別スト雖モ改正法ハ此ノ區別ノ必要ナキヲ以テ之ヲ廢シタリ故ニ自己ノ利ヲ圖ラザル場合ト雖モ本罪ノ減輕ヲ爲ス可キ情狀ハ之無キ者トシタルナリ而シテ自己ノ利益ノ爲メニスルトハ例ヘバ保險金受取人ガ保險金ヲ收得センガ爲メニ被保險者ニ對シテ自殺ヲ教唆スルガ如キヲ云フ是レ財産上ノ利益ヲ目的トシタルモノナリ其他家督相續ノ順位ヲ變更センガ爲メニ前順位ニ在ル者ニ對シテ自殺ヲ教唆スルガ如キ是ナリ

【意義】 自殺トハ他人ノ爲メニ殺サル、ニ非ズシテ自己ノ意思ニ依テ自己ノ生命ヲ絶ツコトヲ謂フ而シテ其自殺ガ他人ノ教唆ニ依ル場合ト又被殺者ノ囑託ヲ受ケ若クハ其ノ承諾ヲ得テ之ヲ殺ス場合トアリ

第一 自殺ヲ教唆スルトハ強制シタルニアラズシテ他人ニ自殺ノ決意ヲ爲サシムル行爲ヲ云フ換言セバ自殺ノ教唆ハ他人ニ自殺ヲ勸誘シテ之ニ依テ自殺ノ決意ヲ催スヲ云フ而シテ自殺ハ刑法ニ之ヲ罰セザルガ故ニ他人ヲ教唆シテ自殺セシムルモ自殺罪ノ教唆ト爲スコトヲ得ズ故ニ自殺ノ教唆者ハ間接ノ手段ニ依ル他殺罪ヲ以テ論ズベカラズ是ヲ以テ自殺ノ教唆ハ獨立ノ一罪トシテ罰スル所以ナリ而シテ自殺ヲ教唆スルニハ犯人ニ於テ他人ヲ教唆シテ自殺セシムルト謂フ事實ヲ知ルコトヲ要ス故ニ若シ其事實ヲ知ラザルトキハ犯意アルニ非ズシテ本罪ヲ構成セズ

第二 被殺者ノ囑託ヲ受ケテ人ヲ殺ストハ自殺者ガ既ニ決意シテ自カラ生命ヲ絶ツ能ハズシテ他人ニ之ヲ依頼スルニ依リ其生命ヲ絶ツベキ行爲ヲ謂フ而シテ其自殺者ノ決意ハ強制ヲ受ケタルニ非ズ任意ニ明示又ハ默示ノ依頼ニ基クコトヲ要ス故ニ此場合ニハ左ノ條件アルヲ要ス

(一) 自殺者ノ依頼ト依頼ヲ受ケタル者ノ殺害行爲ト其主要ナル點ニ於テ互ニ相一致ス



ルヲ要ス例ヘバ自殺者ガ定メタル方法手段日時場所ノ變ラザルヲ要スルガ如シ

(二) 自殺者ノ囑託アルモ殺人者ニ於テ此囑託アルコトヲ知ラズシテ自殺者ヲ殺害シタル場合ノ如キハ本罪ヲ構成セズ語ヲ換テ言ハハ囑託ヲ受ケテ自殺人ノ爲メニ手フ下セル場合ニ囑託ニ依ラズシテ自カラ進ンデ殺セントキハ假令ヒ自殺セントスル者ヲ殺スモ殺人罪ナリ

(三) 責任能力ナキ自殺者ヨリ又ハ他人ノ強制ニヨリ決意シタル自殺者ノ依頼ニ基キ自殺者ヲ殺害スル場合ヲモ包含セズ

第三 自殺者ノ承諾ヲ受ケテ之ヲ殺シタル場合トハ自殺者ガ自カラ進ンデ第三者ニ囑託スルトト異ニシテ單ニ承諾ヲ與ヘタルノミナレバ其承諾ハ第三者ニ依テ行ハル、殺人行爲ヲ堪ヘ忍ブモノナリ換言セバ他人ガ自殺ヲ迫リタルニ依リテ承諾ヲ與ヘタル者ナリ例ヘバ一男アリ女ニ情死ヲ迫リテ其承諾ヲ得テ之ヲ殺スガ如シ自殺者ノ發意ニ基クモノニアラザルナリ是レ人ハ妄リニ自己ノ生命ヲ絶チ又ハ身體ヲ傷害スル權限ナキモノナレバ此權限ナキ者ガ與ヘタル身體生命傷害ノ承諾ハ違法ナリ此違法ナル承諾ニ因リ殺人ノ行爲ハ普通ノ殺人罪ナリト謂フベシ

第二百三條 第九十九條、第二百條及ヒ前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

【意義】 未遂犯モ罰スル場合ト罰セザル場合トアルハ前ニ已ニ述べタルガ如キ理由ノアルヲ以テナリ殺人罪ノ未遂ハ國家ニ危害ヲ與フルコトノ大ナル犯罪ナレバ之ヲ罰スルモノトシタリ而シテ殺人罪ノ未遂ノ場合トハ之ヲ殺スノ意思アリテ其手段方法ヲ施シタル所謂ル着手ノ場合ニ意外ノ障礙若クハ舛錯ニ因リ其目的ヲ遂ゲルコト能ハズ例ヘバ刀ヲ揮フテ目的ノ人ニ迫リタルニ當リ他人又ハ對手ノ爲メニ其刀ヲ奪ハレテ之ヲ遂ゲルコト能ハズ又ハ其殺害ノ目的タル人ニ對シ發銃シタルモ銃丸命中セズシテ之ヲ遂ゲザルガ如シ又其殺害ノ目的タル人ヲ斬リ已ニ生命ヲ絶チタリト信ジタルニ其人未ダ全ク死セズ蘇生シタルガ如キ場合ナリ如何ナル場合モ其手段ト結果トガ齟齬シテ目的ノ結果ヲ生ゼザルハ未遂犯ナリトス

茲ニ一言スベキハ殺人ノ行爲ト死亡ノ結果トノ時間ノ長短ヲ問ハズ例ヘバ殺害シタル當時ニハ死亡セズシテ數日ヲ經テ死亡スルモ傷害ノ爲メニ死亡シタルハ未遂罪トナラズ然レドモ一旦殺人未遂罪ノ判決確定シタルトキハ其後ニ死亡スルモ之ヲ未遂罪トス是一時不再理ノ原則ナレバナリ

殺人ノ罪

- (一) 成立要素
  - (一) 生命アル人 〔本罪ノ目的タル主體ハ人ナリ人ハ胎兒ニアラズ死亡者ニアルヲ類タルヲ要ス〕
  - (二) 死ノ原因ト結果 〔他人ノ死ヲ惹起シタル原因タルベキ所爲アルト共ニ死ト云フ結果アルコトヲ要ス其手段ノ如何チ間ハズ原因結果ノ關係ヲ有スル行爲ナレバ足レリトス〕
  - (三) 意 思 〔犯人ニ於テ死ト云フ結果ヲ惹起セシメントノ意思アルコトヲ要ス意思アリテ目的ガ殺人ニアルトキハ其人ニ醋謀アリタルモ本罪ヲ構成ス〕
  - (四) 殺人行爲 〔殺人トハ他人ノ生命ヲ不法ニ破壊スルコトナリ若シ正當ノ防衛ニ依リ人ヲ殺スモ適法ナレバ本罪ヲ爲サズ〕
  - (五) 處 分 〔人ヲ殺シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ三年以上ノ懲役〕
- (二) 身分ニ關スル場合
  - (甲) 豫備ノ場合 〔人ヲ殺ス目的ヲ以テ其豫備ヲ爲シタル場合即チ其手段方法ヲ用意シタルヲ云フ其處分ハ二年以下ノ懲役但情狀ニ因リ其刑ヲ免除ス〕
  - (乙) 教唆若クハ幫助 〔人ヲ教唆シテ自殺セシムルニハ自殺者ノ意思ニ依テ自己ノ生命ヲ絶ツチ云フ自殺ノ幫助トハ自殺者ノ爲メニ殺人ノ實行ヲ爲シ容易ニスルヲ云フ〕
  - (丙) 被殺者ノ囑託 〔被殺者ノ囑託ヲ受ケテ人ヲ殺ストハ自殺者ノ依頼ニ依リ其生命ヲ絶ツベキヲ云フ〕
  - (丁) 承諾ヲ得テ殺ス 〔自己ノ生命ヲ絶ス場合トハ男子ガ女子ニ承諾ヲ得テ殺ス〕
  - (二) 追テ自殺ヲ承諾セシムルガ如キヲ云フ
- (三) 豫備ヲ爲シタル場合ト自殺教唆若クハ幫助ノ場合
  - 自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ヲ殺シタル者ハ一般ノ者即チ自分ノ關係ナキ者ヲ殺シタルヨリ其罪重キヲ以テ必ズ死刑又ハ無期懲役

第二十七章 傷害ノ罪

- 〔改正要點〕 舊法ハ本章ノ規定ヲ毆打創傷ノ罪ト名ケト雖モ其語釋當ヲ欠キ因リテ甚シク不便ヲ感ズルヲ以テ改正法ハ傷害ノ罪ト名ケ汎ク身體傷害ニ關スル規定タルコトヲ明ニシタリ是ヲ以テ毆打以外ノ方法ニ依リ又ハ外部ニ創傷ヲ生ゼズシテ傷害ヲ生ジタル場合ノ如キモ皆之ヲ包含スルヲ以テ從來ノ疑義ハ爲メニ氷解シタリ
- 舊法ハ豫防ニ出ヅル傷害罪ト否ラザルモノトヲ區別スト雖モ其必要ナキヲ以テ此區別ヲ廢シタリ
- 第二百四條 人ノ身體ヲ傷害シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス
- 〔意義〕 本條ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ條件ヲ必要トス
- 第一 犯罪ノ目的ノ主體タル人ハ生活セル人ノ身體タルコト
- 第二 生存セル人ノ身體ヲ傷害スルコト
- 第三 其所爲ノ結果トシテ人身ニ傷害ヲ生ジタルコト
- 第四 不法ノ所爲ナルコト

第五 人ノ身體ニ傷害ヲ加フルノ意思アルコト

第一 人トハ現ニ生活セル人ヲ謂フガ故ニ胎兒又ハ死體ニ對スル行為ニ在ラズ

第二 ハ行為ノ結果トシテ人ノ身體ニ傷害ヲ生ズルニ在レバ單ニ毆打セシノミニシテ身體ニ傷害ナキトキハ本罪ヲ構成セズ改正法ガ舊法ノ毆打創傷罪ノ名稱ヲ改メ汎ク傷害罪ト爲シタルハ外部ヲ毀損スル場合ニ限ラズ不表見即チ外部ニ表ハレザル身體ノ機能ヲ傷害スル場合ヲ包含セシムルニ在リ故ニ苟モ人ノ身體ニ對シ表見的ニ外部ヲ傷害スルト不表見的ニ内部ノ生活機能ヲ傷害シタルト問ハズ

第三 不法ノ所爲ナルコトヲ要スルガ故ニ例ヘバ醫師ガ治療ノ目的ヲ以テ爲シタルトキハ不法ニアラズシテ職業上ノ行為ヲ爲シタルモノナリ然レドモ醫術界ニ於ケル學術ヨリ施ス常法ノ行為ニ限ルモノトス故ニ研究ノ爲メニシテ治療ノ場合ニアラザルトキニ身體ヲ傷害シタルハ不法ノ行為ト爲スベキナリ

第四 人身ニ傷害ヲ加フルノ意思アルコトヲ要スルガ故ニ忿怒憎惡怨恨ノ發シタルトキ手足又ハ物ヲ以テ暴行ヲ爲シ人ヲ傷害スルニ在リ而シテ其ノ傷害ハ如何ナル程度ヨリ本罪ヲ成スヤハ常ニ異ナル狀態ヲ以テ侵害ノ所爲アリタルモノトス舊法ニハ第三百條ニ之ヲ列記シテ其程度ヲ明示セリ改正法ハ列記ニ限ラズ汎ク内臟ニ對スルト筋肉ニ對スルト皮

肉ニ對スルト將又毛髮切斷ニ對スルヲモ包含スルモノト解スルヲ至當トス

第五 本罪ハ故意ニ出ヅルヲ要ス故ニ身體ニ侵害ヲ加フルノ意思アラバ毆打ノ結果傷害ノ生ズベキヲ豫見スルト否ト問ハズ唯ダ其結果ノ程度ガ如何ナルカヲ豫見セザルノミ語ヲ換テ言ハ、犯人ノ行為ガ身體ノ一部ニ對シテ如何ナル傷害ヲ生ズベキヤヲ犯人ニ於テ之ヲ豫見スルコトヲ要セズ唯ダ其ノ所爲ガ人ノ身體ノ一部ヲ傷害スルニ足ルモノナルコトヲ豫見シタレバ本罪ヲ構成スベシ是レ一般ノ場合ト異ニシテ犯人ニ於テ法律上ノ格別ナル結果ヲ豫見セシコトヲ要セシズテ其結果ニ對シテ罪責アルモノトス

改正法第二百四條ハ舊法第三百一條ニ修正ヲ加ヘタルモノナリ舊法ハ身體傷害ノ場合ヲ三段ニ區別シ其疾病休業ノ程度ニ因リ刑ノ輕重ヲ分ツト雖モ此ノ如キ細密ナル區別ハ徒ニ裁判上ノ煩雜ヲ生ズルノミナラズ實際上疾病休業ノ日數ヲ確定シテ創傷ノ輕重ヲ分ツ如キハ甚正確ヲ期スルコト極メテ困難ナルヲ以テ改正法ハ全ク此等ノ區分ヲ廢止シ概括的ニ刑ノ種類及ビ範圍ヲ設ケ裁判所ヲシテ充分事情ヲ斟酌シ自由ニ適宜ノ刑ヲ科セシムルコト、爲シタリ然レドモ此等ノ區分ハ實際刑ノ適用ノ場合ニハ之ニ因ラザルベカラザルコトアルベシ

本條ト第二百八條トノ關係ニ付テ一言セバ第二百八條ニ於テ傷害ノナキ場合ハ一年以下ノ

懲役若クハ五十圓以下ノ罰金ニ處セラルル罪ヲ申告罪トシタルニ拘ラズ本條ニ於テハ單ニ科料ニ處セラル、場合ト雖モ申告罪トナラザルナリ要スルニ之ハ法文ヨリ生ズル當然ノ結果ニシテ止ムヲ得ザルコトナリ即チ第二百四條ハ豫メ斯々ノ事項ハ科料ニ當リ斯々ノ事項ハ罰金ニ該當スト云フ區別ヲ設クルコト能ハザルガ爲メニ自然科料ニ該當スルモノト雖モ申告罪ト規定シ難キニ由ルモノナリ

第二百五條 身體傷害ニ因リ人ヲ死ニ致シタル者ハ一年以上ノ有期

懲役ニ處ス

自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ無期又ハ三年

以上ノ懲役ニ處ス

【意義】 本條ハ殺人ノ意ナクシテ單ニ身體傷害ノ犯意ヲ以テ人ヲ毆打創傷シタル結果トシテ被害者ノ死亡ヲ致シタル場合ノ規定ナリ即チ暴行ノ所爲ガ豫想外ニ死ノ結果ヲ致シタルモノニシテ殺人罪ヲ以テ論ズベカラズ然ルニ傷害罪ハ結果ニ依リ其罪ヲ論ズルモノナレバ本條ノ規定ヲ設ケタル所以ナリ

本條第二項ハ舊法第三百六十三條ト同一ノ趣旨ニシテ犯人ガ其子孫タル身分アルニ依リ普

通ノ者ニ對スル刑ヨリ加重スルモノニシテ祖父母父母ニ對スル特別ノ一罪ヲ規定シタルモノニアラズ而シテ舊法ト其異ナル點ハ舊法ハ之ヲ死刑ニ科スト雖モ本罪ハ元ト殺人ノ罪ニアラザルモノナルヲ以テ改正法ハ本條ノ如ク規定シタル所以ナリ

舊法ハ健康ヲ害スベキ物品ヲ用ヒテ人ヲ疾苦セシメタル者ハ豫メ謀テ毆打創傷スルノ例ニ照シテ處斷スルノ規定アリ改正法ハ此等ノ場合ニ關スル規定ナシト雖モ傷害罪ハ唯ダ外部ニ傷害ヲ加フル場合ヲ云フニアラズ内部ノ傷害ヲモ包含スルモノナルコトハ前ニ既ニ述ベタルガ如クナレバ別ニ規定ナシト雖モ此等ノ場合モ本罪ヲ構成スルモノト謂ハザルベカラズ而シテ其健康ヲ害スベキ物品トハ衛生ニ害アル毒物ナリ例ヘバ腐敗セントスル食物又ハ飲物ヲ與ヘタルヲ云フベシ然ラズトセバ毒藥ヲ用ヒテ人ヲ殺スノ未遂罪ヲ構成スルモノト爲ル而シテ本罪ハ常ニ殺意ナキヲ要ス若シ殺害アルトキハ毒殺ノ罪トナレバナリ

第二百六條 前二條ノ犯罪アルニ當リ現場ニ於テ勢ヲ助ケタル者ハ

自ラ人ヲ傷害セスト雖モ一年以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金若

クハ科料ニ處ス

【意義】 前二條ノ犯罪即チ他人ガ傷害罪ヲ犯ス場合ニ當リ現場ニ於テ其ノ勢ヲ助ケタル者ハ本條ニ依リテ處斷スルモノトス共犯ニ關スル總則規定ノ例外ニシテ共犯ノ場合ハ其ノ行

爲ノ輕重ニ依ラズ同一ノ罪ニ處スルモノトス然レドモ傷害罪ノ各共同正犯ハ共同行爲ニ基ク全體ノ結果ニ付テ責任ヲ負フコトナク又自己ガ勢ヲ助ケタルニ依テ他ノ共同正犯ガ與ヘタル結果ニ付キ現ニ傷害ヲ與ヘズト雖モ本條ノ規定ニ從フベキモノトス舊法第三百六條ニ「二人以上共ニ人ヲ毆打スルニ當リ自ラ人ヲ傷セズト雖モ幫助シテ傷ヲ成サシメタル者ハ現ニ成シタル者ノ刑ニ一等ヲ減ズ」ト云ヘリ本條ハ該條ト同一趣旨ニシテ要スルニ共同正犯ニ關スル規定ニシテ共犯者タルノ要件ヲ欠ク者ニ付テハ之ヲ適用スルコトヲ得ザルモノナリ

第二百七條 二人以上ニテ暴行ヲ加ヘ人ヲ傷害シタル場合ニ於テ傷

害ノ輕重ヲ知ルコト能ハス又ハ其傷害ヲ生セシメタル者ヲ知ルコ

ト能ハサルトキハ共同者ニ非スト雖モ共犯ノ例ニ依ル

【改正要點】 舊法第三百五條ハ共謀ノ有無ヲ問ハズ現ニ手ヲ下シタル傷害ニ付キ各自ニ責任ヲ負ハシムルヲ原則トシ若シ傷害ノ何人ノ手ニ成ルヤヲ知ラザルトキハ各自ヲ其重キ刑ニ一等ヲ減ジ處斷スルコト、爲シ教唆者ヲ其例外ト爲シタリ改正法ハ共犯ノ場合ト共犯ニ非ザル場合トニ分チテ規定シ若シ犯人共犯ナルトキハ總則ノ共犯例ニ依リ共犯ニ非ザルトキハ各其ノ自ラ爲シタル傷害ノ正犯トシテ之ヲ處斷スルコト、爲シ又暴行ヲ加ヘ人ヲ傷害

シタル場合ニ於テ傷害ノ輕重ヲ知ルコト能ハズ又ハ傷害ヲ生ゼシメタル者ヲ知ルコト能ハザルトキハ共同者ニ非スト雖モ共犯例ヲ適用シ各自ニ最モ重キ傷害ノ正犯トシテ處分スルコト、爲シタリ

改正法ハ舊法ニ於テハ何人ノ爲シタル傷害ナルヤヲ知ラザル場合ニ關スルヲ以テ眞ニ其傷害ヲ爲サル者ニ對スル刑ノ重キニ過グルヲ避クル爲メ一等ヲ減ズルモノニシテ罪ノ疑ハシキハ寬ニ從フ趣意ナルベシト雖モ稍不理ナル規定ニシテ犯行事實ト刑トノ權衡ヲ失スル嫌アルニ依リテ此主義ヲ改メ共犯例ニ依リ處分スルコト、爲シタリ

【意義】 共犯ニ關スル總則規定ノ例外ニシテ傷害ノ各共同正犯ハ共同行爲ニ基ク全部ノ結果ニ付テ責任ヲ負フコトナク現ニ自己ガ生ゼシメタル結果ニ付テノミ責任ヲ負フコト、爲シタルナリ是レ共犯ノ總則規定ト異ナル所以ナリ總則ノ共犯トハ共同シテ實行スルヲ云フ而シテ數人が數罪ヲ犯スニ非ズシテ數人共同シテ一罪ヲ犯スヲ云フ故ニ教唆者ハ實行者ニ非ズト雖モ共犯者ニ準ジ其責任ニ於テハ同一ナリトス然ラバ則チ茲ニ謂フ共犯者ハ各自ニ實行シタル者ヲ謂フナリ本條ノ罪ヲ犯ス者ガ共犯ナルトキハ總則ノ共犯例ニ依リテ之ヲ處罰シ共犯ニ非ザルトキハ各自ニ爲シタル傷害ノ正犯トシテ之ヲ罰スルモノトス何人ノ行爲ガ傷害ノ輕キヤ重キヤヲ知ルコト能ハズ又ハ其共犯者ニシテ何レノ行爲ガ傷害

ヲ生ゼシメタル者ナルコトヲ知ルコト能ハザル場合ニハ共同者即チ實行者ニ非ズト雖モ共  
犯例ニ依リ各自ヲ最モ重キ傷害ノ正犯トシテ處罰スルモノトス

**第二百八條 暴行ヲ加ヘタル者人ヲ傷害スルニ至ラサルトキハ一年**

**以下ノ懲役若クハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若クハ科料ニ處ス**

**前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス**

【意義】 傷害罪ト云フハ人ノ身體ニ傷害ヲ加ヘタルニ依リ其罪ヲ論ズルモノナレバ假令ヒ  
暴行ヲ加ヘタルモ其結果傷害スルコトナキトキハ傷害ノ場合ト同一ニ其罪ヲ論ズルハ不當  
ナリ故ニ本條ヲ規定シタルモノナリ舊法ニ於テハ之等ノ場合ニハ違警罪ニ處シタルモノナ  
レドモ改正法ハ比較的其罪ヲ重ク處斷スルモノトシタリ然レドモ本條ノ罪ハ本人即チ被害  
者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ズルモノトス

(甲) 成立要素

- (一) 被害者 (生活セル人ノ身體ヲ傷害スルコトヲ要ス故ニ胎兒又ハ死屍其  
他財産ニ對スルモノニアラズ)
- (二) 結果アルコトヲ要ス (暴行ノ結果トシテ人ノ身體ニ傷害ヲ生ズルコトヲ要ス故ニ暴  
行ノミニシテ傷害ナキトキハ第二百八條ニ依リテ處分ス)
- (三) 不法ナルコト (不法ノ所爲ナルコトヲ要スルガ故ニ父母ノ子ヲ懲戒スル爲メ  
毆打シ其他職業上ノ行爲ハ本罪ヲ成サズ)
- (四) 意思アルコト (人ノ身體ニ傷害ヲ加フルノ意思アルコトヲ要スルガ故ニ過失  
ニ出テタルトキハ本罪ヲ成サズ)

身體傷  
害ノ罪

(乙) 處分

- 第一 普通處分
  - (イ) 人ノ身體ヲ傷害シタルニ止マル者ハ十年以下ノ懲役又ハ  
五百圓以下ノ罰金若クハ過料
  - (ロ) 身體傷害ニ因リ人ヲ死ニ致シタル者ハ二年以上ノ有期懲  
役ニ處ス
  - (ハ) 自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ無期  
又ハ三年以上ノ懲役
  - (ニ) 勢ヲ助ケタル者 (他人ガ人ノ身體ニ傷害ヲ加フル場合ニ當  
リ現場ニ於テ勢ヲ助ケタル者ハ一年以下  
ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金若クハ科料  
ナル者)
- 第二 特別處分 (二) 二人以上  
ニテ暴行ヲ加ヘタル場  
合 (二人以上ニテ暴行ヲ加ヘ人ヲ傷害シタル  
場合ニ於テハ共同者ニ非ズト雖モ共犯例  
ヲ適用シ各自ノ最モ重キ傷害ノ正犯トシ  
テ處分スルコトトス)

**第二十八章 過失傷害ノ罪**

【改正要點】 舊法ハ本章ノ罪ヲ過失殺傷ト名クト雖モ其語意當ナラズトシテ過失傷害ト爲  
シタルナリ又舊法ニハ職務ニ關スル過失傷害ノ場合ニ付キ特別ノ規定ナキヲ以テ之ヲ必要  
ナリト認メタリ過失ニ因リ人ヲ傷害シタル場合ハ之ヲ親告罪ト爲シタルハ實際ノ必要ニ出  
デタル所ナリトス即チ過失ニ依テ人ヲ傷害シタル場合ハ告訴ヲ待タズシテ之ヲ論ズルノ價  
値ナシ故ニ本法ハ實際上ノ必要ニ應ズル爲メ親告罪ト爲セリ

舊法第三百十七條ハ過失ノ原因トシテ疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セズノ文句ヲ用フルト

雖モ無用ノ語タルノミナラズ從來徒ラニ疑義ノ基因トナリタルヲ以テ改正法ハ之ヲ删除シ  
單ニ過失ニ因テ人ヲ傷害シタル場合ヲ規定シタリ

**第二百九條** 過失ニ因リ人ヲ傷害シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ

科料ニ處ス

前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

【意義】 過失傷害トハ人ヲ傷害セントノ意思ナクシテ過テ人ヲ傷害シタルモノナリ

過失ト爲ルベキ結果ヲ生ズル所ノ原因ニニアリ即チ一ハ其行爲ヲ爲シタル者ノ思慮ガ毫モ  
其結果ニ及バザル場合ト他ハ思慮ガ必ズシモ結果ニ及バザルニアラザルモ此ノ結果ハナカ  
ルベシト誤信シ注意ヲ怠リタル場合幾分カ横着ナル所アルモノナリ語ヲ換テ言ハハ疎  
忽ニ出デタルモノニシテ一ハ犯人ニ於テ己ニ危險ヲ生ズルヤモ計リ難キコトヲ知ルガ故ニ  
其事ヲ中止セザレバ危險ヲ防グ方法ヲ思慮セザルベカラザルニ面倒ナリトシテ萬一ノ僥倖  
ヲ得ントシ遂ニ其危害ヲ生ズル場合ヲ云フナリ  
要スルニ過失トハ前以テ其事アルヲ見ルコトヲ得ベキ結果ヲ之ヲ見ザリシコトヲ云フ故ニ  
少シク注意ヲ加フレバ其過失ナカリシニ注意セズシテ其ノ結果ヲ生ズルモノナリ換言スレ  
バ前以テ此事アルヲ知ラザルベカラザル事ナルニ而モ之ヲ知ルコトヲ得ベカリシニモ拘ハ

ラズ之ヲ豫見セザリシヲ云フ即チ過失ハ注意ヲスベキ能力アルニモ拘ハラズ自己ノ意思ヲ  
實行スルニ付テ其ノ生ズベキ結果ヲ前以テ知ラザルコトヲ云フナリ若シ然ラザルトキハ過  
失ニアラズシテ之ヲ偶然ノ出來事ト稱スベク而シテ故意ト異ナル點ハ故意ハ法律上ノ結果  
ノ發生ヲ豫見シ其事實ヲ知ルコトヲ謂フナリ然ルニ過失ハ法律上ノ結果ノ發生ヲ豫見セズ  
シテ罪トナルベキ事實ナルコトヲ知ラズ罪トナルベキ事實ヲ知ラザルハ過失ニ出デタル場  
合ニ限リ之ヲ處罰スベキモノトス而シテ過失ニ基ク行爲トハ強制ヲ受ケザル意思ノ實行ニ  
依テ犯人ガ豫見スルコトヲ得ベキニモ拘ハラズ豫見セザリシ所ノ結果ヲ發生シ若クハ其ノ  
結果ノ發生ヲ防止セザルコトヲ云フ

【字義】 豫見トハ前方ニ其事アルヲ知ルコトヲ云フ○發生トハ形ニアラハレデキルコトヲ  
云フ

**第二百十條** 過失ニ因リ人ヲ死ニ致シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處  
ス

【意義】 本條ハ舊法第二百十七條ト同一趣旨ノ規定ニシテ同條ハ過失ノ原因トシテ疎虞解  
怠又ハ規則慣習ヲ遵守セザルヲ豫想スト雖モ單ニ無用ノ語タルノミナラズ徒ラニ疑義ヲ生  
ズル嫌アルヲ以テ改正法ハ此等ノ字句ヲ削リタリ過失ノ原由ニ付テハ此等ノ文字上ノ意義

ニ區分スルコトヲ得ベキモ唯ダ其過失行為ノ事實ヲ區別スルノミニシテ過失ト云フトキハ此等ノ字義ニ因リ區別スルノ必要ヲ見ズ或ハ次條ノ過失ノ場合ニ於テハ此等ノ意義ニ依リ區分スレバ解釋上便ナル所モアルベケレドモ普通過失ノ場合ニハ其必要ヲ見ザルナリ過失ニハ客觀的ト主觀的トニ因テ區別スベキ場合アリ今左ニ之ヲ説明スベシ

第一 意思ヲ決行スル場合ニ注意ノ不十分ナルハ過失ノ原因ト爲ル而シテ此ノ注意ノ程度ハ行為其物ノ性質ニ從ヒテ客觀的ニ決定スベキモノニシテ行為者自身ノ能力ニ依テ決スベキモノニアラザル場合ト

第二 行為者ニ於テ任意ナル意思ノ實行ヨリ現ニ發生シタル又ハ防ガザリシ結果ニ付テ豫見シ得ベカリシコト而シテ結果ヲ豫見スル能力ハ行為ノ當時ニ於ケル犯人自身ノ能力ニ依テ主觀的ニ決セザルベカラザルコト是ナリ

【字義】 客觀的トハ自己ニ對スル外物ヲ指ス例ヘバ過失ニ因テ人ヲ傷害スル場合ニ外物ヨリ來リテ傷害ヲ生ズルコトアリ此ノ傷害ヲ云フ主觀的トハ外物ニ依ラズシテ犯人自身ノ能力ニ依ル場合ニシテ其能力ガ行為ノ當時ニ於ケル狀態如何ニアルヲ云フ

第二百一十一條 業務上必要ナル注意ヲ怠リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

【意義】 本罪ハ普通ノ者ノ過失ト異ニシテ職業上必要ナル注意ヲ怠リタル者ナリ即チ本條ヲ解釋スルニハ懈怠ノ意義ヲ以テ過失ヲ解スベシ懈怠トハ職掌アル者ガ自己ノ職務上ノ地位例ヘバ公務員又ハ醫師、鐵道機關師、船長ノ如キ者ノ職業ニ伴フ必要ナル注意ヲ標準トシテ之ヲ怠リタル場合ナリ

本罪ノ主體タル者ハ三種ニ區別スベシ即チ職務アル者若クハ營業ヲ爲ス者又ハ其他ノ業務ニ従事スル者はナリ職務ヲ奉ズル者トハ公務員、鐵道機關師、船長、船員等ノ如キ者ヲ謂ヒ營業ヲ爲ス者トハ爆發物製造人ノ如キ者其他ノ業務トハ醫師、産婆等ノ如キ者ヲ謂フナリ

近年鐵道ニハ汽車、電車ヨリ生ズル椿事又ハ海上ニハ汽船ノ衝突等ニ依リ人命ヲ失ヒ身體ニ傷害ヲ受クル者多シ此等ノコトアルハ稀ニハ天災ノ不可抗力ノ場合アルモ其職務ニ従事スル者ノ不注意ヨリ生ズルコト多シ是ヲ以テ本條ヲ規定シタル所以ニシテ若シ本條ノ規定ナキトキハ不幸ヲ蒙リタル者ヲシテ慰安セシムル所ナシ且ツ此等ノ職務ニ在ル者ヲシテ自己ノ不注意ヲ省ミル者ナク益々社會ニ危害ヲ加フルニ至ルベキナリ



### 過失傷 成立要素

- (一) 過失ニ出ツルコト 〔行為者ノ思慮ガ結果ヲ豫想セザル場合ト思慮ハ結果ニ及ビタルモ此結果ハナカカルベシト誤信シタル場合〕
- (二) 過失ノ効果 〔過失ニ因リテ人ヲ死ニ致シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス固ト是レ過失罪ナリ故ニ罰金以上ノ刑ナシ然レドモ普通ノ人ニ限ルナリ〕
- (三) 職務アル者 〔業務上必要ナル注意ヲ怠リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ其業務アルガ爲メ普通ノ者ト異ニシテ罰金以上ノ刑ヲ科ス〕

## 第二十九章 墮胎ノ罪

【意義】 墮胎ノ罪ヲ犯スノ要件ハ左ノ如シ

第一 墮胎ノ罪ノ客體ハ胎兒ニシテ未ダ母體ヲ離レテ生存スベキ時期ニ達セザル胎内ノ兒ナリ

第二 墮胎ハ左ノ二ケノ行爲ヲ以テ成ルモノトス

- (一) 自然ノ出生時期ニ先チ胎兒ヲ母體ヨリ分離スル場合ニシテ此場合ニ於テハ犯人ガ胎兒ヲ殺サントノ意思アルコトヲ要セズ又胎兒ガ死亡スルト否トヲ問ハズ唯ダ自然ノ出生時期ニ先チテ母體ヲ分離セシメタルヲ以テ既遂ナリトス
- (二) 母ノ體内ニ於テ胎兒ヲ殺ス場合此場合ハ胎兒ガ母體内ニ於テ死亡シタルトキヲ以

テ既遂トス

故ニ此ノ場合ハ母ノ體内ニ在ル間ニ胎兒ノ生命ヲ絶テ出生期ニ先チ分離セシメテ殺スヲ云フ即チ犯人ノ意思ハ胎兒ヲ生存セシメザルニ在ルヲ以テ若シ母體ヨリ分離シ墮胎セシメタルモ其兒ヲシテ生存セシメ養育スルトキハ本罪ヲ構成セズ

墮胎ハ多クノ場合ガ養育ノ途ニ窮シ若クハ其原因タル不名譽ノ結合ヲ隱蔽センガ爲メニスルモノニシテ不品行ヨリ生ズル場合ト養育ニ困難スル事情ノアルニ依リテ犯ス罪ナレバ法律ハ直接ニハ將來ノ人ヲ殺ス罪ヲ問ヒ間接ニハ不品行ヲ防遏スルニ在ルナリ是レ墮胎罪ヲ罰スル所以ナリ

第二百十二條 懷胎ノ婦女藥物ヲ用ヒ又ハ其他ノ方法ヲ以テ墮胎シ

タルトキハ一年以下ノ懲役ニ處ス

【意義】 墮胎ノ方法ハ器械ヲ用フルト藥物ヲ用フルト將タ無形ノ精神的作用ニ依ルトアリ

本條ハ懷胎ノ婦女ガ藥物ヲ用ヒ又ハ其他ノ方法ヲ以テ墮胎シタル場合ナリ本罪ヲ構成スル

ニハ

第一 犯罪人ハ懷胎ノ婦女ナルコト

第二 自己ノ胎兒ヲ墮胎シタルコト

墮胎ノ方法ハ如何ナル方法ニ因ルモ之ヲ問ハズ墮胎スレバ本罪ヲ構成ス唯ダ犯人ガ婦女自カラ爲スト他人ノ教唆ニ因ルト又他人ノ手ヲ藉リテ墮胎セシメタル等ニ付キテ其刑ニ輕重ヲ設クルノミ本條ハ婦女自身ガ墮胎シタル場合ニシテ其罪ハ他人ガ爲シタル場合トハ輕キモノナリ

本罪ハ墮胎スト雖モ死セザルヲ以テ之ヲ養育セントシテ後日死シタルモ其ノ原因ガ墮胎ノ行爲ニ在ルヲ以テ之ヲ罪ト爲ス前ニ述ベタル如ク墮胎罪ハ自然ノ分娩期ニ先チ藥物其他ノ方法ヲ以テ母體ヨリ胎兒ヲ分離セシムルニ依リテ成立スルモノナレバナリ從テ胎兒ガ其結果トシテ死亡スルト否トハ犯罪ノ成否ニ關係スルコトナシ而シテ犯人ガ墮胎行爲ノ後チ尙ホ其兒ノ生存スルヲ見テ更ニ殺意ヲ以テ之ヲ殺害シタル所爲ハ墮胎及ビ殺ノ二罪ヲ構成スルモノトナル

**第二百十三條** 婦女ノ囑託ヲ受ケ又ハ其承諾ヲ得テ墮胎セシメタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

【意義】 本條ハ婦女ガ自カラ墮胎ノ行爲ヲ爲スニ在ラズシテ他人ニ囑託シ又ハ他人ノ勸メニ因リテ之ヲ承諾シ他人ニ其方法ヲ執ラシメテ墮胎スル場合ナリ即チ懷胎ノ婦女以外ノ他

人ガ懷胎ノ婦女ニ對シテ墮胎ノ行爲ヲ爲シタル場合ニシテ或ハ婦女ノ囑託ヲ受ケ或ハ之ヲ婦女ニ勸メテ爲ス者ニシテ婦女ノ囑託ヲ受ケテ墮胎ヲ爲ス者ハ多クハ營業的ニ之ヲ爲ス者ニシテ其ノ行爲ニ對シテハ報酬ヲ受クル者ナリ又其承諾ヲ得テ墮胎セシメタル者トハ多クハ私通シタル男子又ハ夫タル者ニシテ出生後ノ事ヲ憂ヒ慮リテ強テ承諾セシムル場合ノアルベキヲ豫想シタル規定ナリ

墮胎ヲ爲シテ婦女ヲ死ニ致スコト往々アリ此等ハ其方法ヲ誤リタル結果ニシテ故意ニアラザルモ其原因ハ墮胎行爲ニ在ルヲ以テ比較的其罪重キハ當然ナリ

**第二百十四條** 醫師、產婆、藥劑師又ハ藥種商婦女ノ囑託ヲ受ケ又ハ其承諾ヲ得テ墮胎セシメタルトキハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死傷ニ致シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

【意義】 本條ノ場合ハ其職業上又ハ營業上犯シ易キヲ以テ婦女ノ囑託ヲ受クル者ナレバ此等ノ者ガ犯シタルトキハ其罪ヲ重クセザレバ本罪ヲ爲ス者多キヲ防遏スルコト能ハザレバナリ

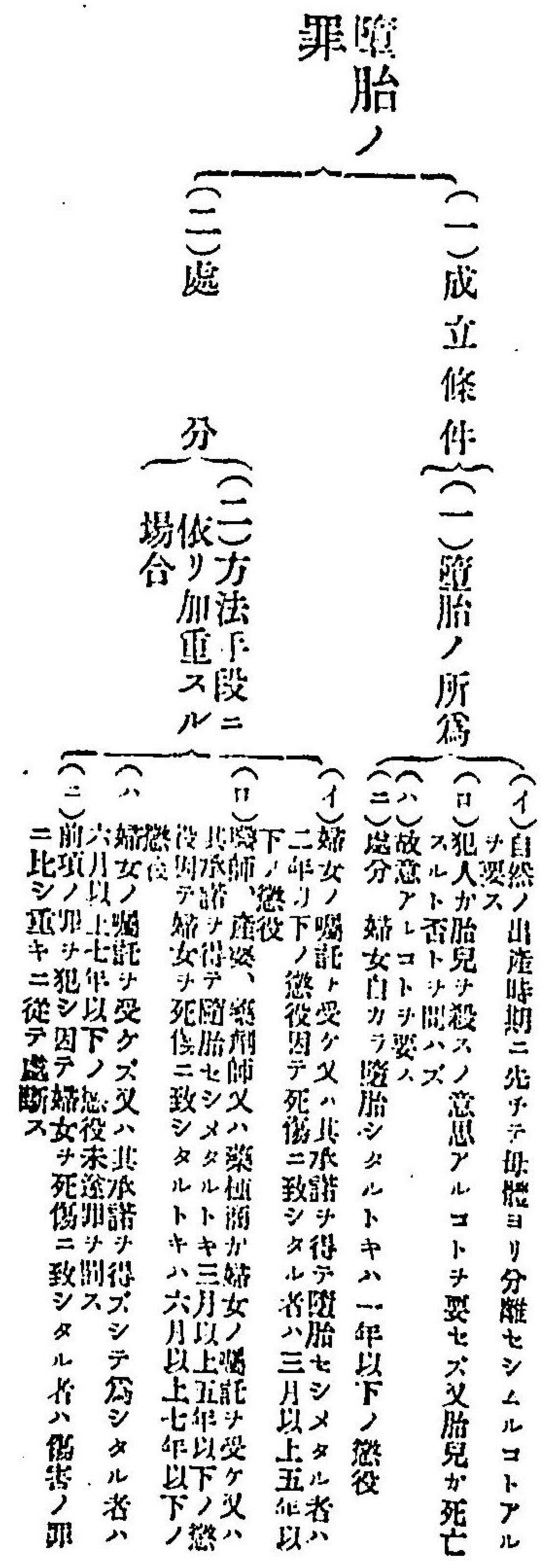
**第二百十五條** 婦女ノ囑託ヲ受ケス又ハ其承諾ヲ得スシテ墮胎セシメタル者ハ六ヶ月以上七年以下ノ懲役ニ處ス  
 前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

【意義】 本條ハ婦女ノ意ニ反シテ強制的ニ墮胎セシムル場合ノ規定ナリ而シテ強制手段トハ或ハ威逼シ又ハ誑騙シ毆打其他暴行ヲ加フル等ノ所爲ニ因ルヲ云フ  
 威逼トハ例ヘバ情夫ガ私通ノ婦女ニ對シテ墮胎ヲ迫リ若シ墮胎セザルトキハ關係ヲ絶ツベシ若クハ出産ノ後ニ至リ其兒ヲ殺害スベシナド、オドシテ墮胎セシムルガ如キヲ云フ  
 誑騙トハ懷胎ノ婦女ヲシテ墮胎ノ實行々爲タルコトヲ覺知セシメズシテ墮胎セシムルガ如キ即チ婦女ヲシテ錯誤ニ陥ラシメ又ハ其錯誤ヲ繼續セシメ墮胎ノ意思ナクシテ墮胎ヲ實行セシムルヲ云フ例ヘバ懷胎ノ婦女ニ對シ他ノ服藥ノ如ク偽テ墮胎藥ヲ服用セシムルガ如シ本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰スルモノトス而シテ其未遂ハ實行ニ着手シタルモ未ダ墮胎スルニ至ラザル場合ヲ云フ即チ故意ヲ以テ威逼シ又ハ誑騙シ錯誤ニ陥ラシムベキ行爲ヲ爲シ或ハ毆打スル等ノ暴行ヲ加ヘタルノミニシテ其實行ヲ遂ゲザルナリ

**第二百十六條** 前條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害

ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

【意義】 第二百十五條ノ罪ヲ犯シタルニ因リテ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ身體傷害ノ罪ト同一ノ状態ナルモノナレドモ其情狀ハ却テ重キガ故ニ單ニ普通ノ者ヲ傷害シタル罪ヨリ重キモノナレバ傷害ノ罪ニ比較シテ重キニ從テ處斷スルモノトス然シテ犯人ニ於テ死傷ニ致スベキ意思ノアリタルト否トヲ問ハズ若シ初メヨリ殺人ノ意思アリタルトキハ殺人罪ヲ以テ論ズベキモノトス



第三十章 遺棄ノ罪

第二百十七條 老幼、不具又ハ疾病ノ爲メ扶助ヲ要ス可キ者ヲ遺棄シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス

〔意義〕 本條ハ舊法第三百三十六條及ビ第三百二十七條ヲ合セテ修正ヲ加ヘタルモノナリ而シテ舊法ハ幼者ノ年齢ヲ八歳ニ滿タザル者ト爲シタルドモ滿八歳ヲ超エタル者ト雖モ尙ホ幼者ナルニモ拘ハラズ其幼者ハ全ク保護ヲ受クルコトヲ得ザルニ至ルヲ以テ之ヲ改メテ扶助ヲ要スベキ幼者ト爲シ其幼者タルヤ否ヤニ付テハ之ヲ裁判所ノ認定ニ任スコト、シタリ又舊法ハ寂寥無人ノ地ニ遺棄シタル場合ト否ラザル場合トヲ區別シ其刑ヲ異ニスト雖モ實際上其必要ナキモノトシ此區別ヲ廢シ刑ノ輕重ハ裁判所ニ一任シタルモノナリ

本罪ノ客體タルベキ人ハ幼者又ハ老者不具者ニシテ他人ヨリ扶助ヲ受クベキ者ナリ此等ノ者ハ自己ガ獨立生活スルコトヲ得ザル者ナラザルベカラズ而シテ其老幼者トハ何年ヨリト定メザルモ各場合ニ依リ決スベキコト、シタリ本條ノ犯罪ハ扶養ノ義務アル者以外ノ者ニシテ單純ノ遺棄者ヲ指ス扶養ノ義務アル者ノ場合ハ次條ノ規定ニ從フベキモノトス  
遺棄ノ所爲ハ現在ノ狀況ヨリ生命身體ニ害ヲ生ジ得ベキ危險ナル狀況ニ陥ラシムルヲ謂フ

故ニ假令ヒ現在ノ狀況ヲ變ズルモ第三者ニ依テ保護ヲ受クルナラントノ希望ノ意思アル場合ハ遺棄ノ實害ナキモノナリ然レドモ單ニ其希望ノミニテハ遺棄トナラザルコトヲ得ベカラズ例ヘバ往來ノ道路ニ遺棄シタルトキハ或ハ何人カノ同情ヲ得テ保護ヲ受クルニ至ルコトアランモ果シテ其希望ヲ得ラル、ヤ否ヤハ未定ノコトナレバ猶ホ之ヲ遺棄ト謂フコトヲ得ベキナリ

遺棄ニハ二個ノ場合アリ一ハ老幼者ヲ他ノ場所ニ移シ養育ヲ爲サズ衣服飲食ヲ給セズ放任スルヲ云フモノナリ單ニ自家ニ居ル者ニ扶養ヲ爲サル場合ハ本條ニ謂フ所ノ遺棄ニアラズ一ハ更ニ無人寂寥ノ地ニ移スコト是ナリ此遺棄罪ノ性質ハ普通ノ世話ヲ欠クヲ謂フニ非ズシテ生命身體ニ危險アルニ至ラシムルニ在リ而シテ老幼者等ヲ他ノ場所ニ移スノミナラズ犯人ガ他ノ場所ニ移轉スル場合ニ置キ去リスルモ本罪ヲ構成スルコトアリ此ノ置去リスル場合ニ遺棄罪ヲ構成スルハ村落ノ一軒家ノ如キ他人ノ之ヲ知ルコト難キ場所ニ於テスルニ限ルナリ

本條ノ場合ハ老幼者等ヲ保護スル者ノ責任アル者ガ遺棄スル場合ニ非ズシテ監護スベキ義務アル者ガ遺棄スル場合ナリ監護トハ父母ガ子ニ對シ雇主ガ雇人ニ對スル場合ノ如シ此監護者ガ本罪ヲ犯スニハ被監護者ガ現在ノ狀況ヨリ他ノ狀況ニ移ルヲ要セズ監護者ト被監護

者トハ場所ノ關係ニ於テ相分離スルコトヲ要ス故ニ監護ノ義務ヲ怠リタルノミニシテ場所ヲ分離セザルトキハ本罪ヲ構成セズ而シテ其分離スル方法ノ如何ヲ問ハザルナリ本條ハ比較的其刑ヲ重クシタルハ改正委員中ノ或學者ノ說ニ依レバ遺棄罪ニハ往々殘酷ノ場合アルガ故ナリ例ヘバ重病ノ雇人ヲ其雇主ガ遺棄スルガ如キ事ヲ想像スレバ毫モ恕スベキ點ナシトシタル所以ナリト

**第二百十八條** 老者、幼者、不具者又ハ病者ヲ保護ス可キ責任アル者之ヲ遺棄シ又ハ其生存ニ必要ナル保護ヲ爲サルトキハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

【意義】 本條ハ老幼者、不具者ヲ保護スベキ責任アル者ガ其保護ヲ爲サズシテ遺棄シタル場合ト又ハ其生存ニ必要ナル保護ヲ爲サル場合トニ區別シタリ其責任アル者トハ給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ保姆ガ雇傭契約ニ從ヒ幼兒ヲ保護スベク又棄子ヲ拾ヒ上ゲタル者ガ其拾ヒ上ゲタル行爲ヨリシテ更ニ之ヲ保護スベキ責任アルガ如ク又醫師ガ病院ニ患者ヲ入院

セシメ治療ヲ引受ケタルニヨリ其保護ノ責任アルガ如シ

生存ニ必要ナル保護ヲ爲スベキヲ爲サルハ遺棄スルニ非ズシテ自宅ニ置ナガラ病者ニ藥ヲ與ヘズ老幼者不具者ニ衣食ヲ給セザルガ如シ此等ハ遺棄罪トシテ處分スルニ非ズ單ニ生存ニ必要ナル保護ヲ爲サル者ナレドモ被害者ノ生命身體ニ危險ヲ生ズルヲ以テ之ヲ罪トスルモノトス

第二項ハ舊法第三百六十三條及ビ第三百六十四條ト同一ノ精神ナリ唯ダ舊法ニハ配偶者ノ直系尊屬ニ對スル場合ノ規定ハ之無キヲ以テ本條ハ之ヲ規定シテ其適用ヲ爲スコト、爲シタリ此ノ規定ハ彼ノ殺人罪傷害罪等ニハ尊屬親ニ對スル特例ヲ認メナガラ遺棄ノ罪ニ此特例ヲ認メザレバ權衡ヲ失フト云フニ在ルナリ

**第二百十九條** 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

【意義】 前二條ノ罪ヲ犯シタル者ハ普通ノ犯人ト異ナル者ニシテ或ハ身分アル者又ハ責任ト義務トアル者ナレバ一般ノ場合ト其罪ヲ同フスベキモノニ非ズ殊ニ之ニ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷スルモノトス

遺棄ノ罪

- (一) 犯罪ノ客體 〔老幼不具者ニシテ獨立シテ生活スルコト能ハザル者〕
  - (二) 犯罪ノ主體 〔一般入及ビ老幼者不具者ヲ保護スベキ責任アル者自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對スル身分アル者〕
  - (三) 遺棄ノ所爲 〔一ハ老幼者等ナ他ノ場所ニ移シ打棄テ置クコト  
一ハ無人寂寥ノ地ニ移シテ打棄テ置クコト  
何レモ生命身體ノ危險ニ陷ルニ至ルナクフ〕
  - (四) 惡意アルコト 〔遺棄シテ生命身體ニ危險ヲ生ゼシメントスル意思アルコトヲ要ス〕
- 分 〔一般ノ者ハ一年以下ノ懲役保護スベト責任アル者ハ三月以上五年以下ノ懲役身分アル者ハ六月以上七年以下ノ懲役〕 死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第三十一章 逮捕及ヒ監禁ノ罪

第二百二十條 不法ニ人ヲ逮捕又ハ監禁シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

〔意義〕 逮捕監禁トハ何レモ場所ニ關スル人ノ肉體運動ノ自由ヲ防止スルノ行爲ナリ而シテ其方法ハ逮捕ハ繩ニテ縛スルガ如キヲ謂ヒ監禁トハ戸締ノアル取圍マレタル場所ニ押籠

メラレ外出ノ自由ヲ失ハシムルヲ謂フナリ自由トハ舉動ノ自由ヲ云フ故ニ意思ノ自由ヲ失ハシメテ而シテ間接ニ舉動ノ自由ヲ失ハシムルヲ謂フニ非ズ又其逮捕監禁セラレタル人ハ自己又ハ他ノ力ニ依テ身體運動ノ自由ノ能力ナカルベカラズ故ニ其能力ナキ者ニ對シテハ逮捕又ハ監禁スト謂フコトヲ得ズ

逮捕ト監禁トノ異ナル所ハ逮捕ハ時間ニ依テ罪ヲ構成スルモノニアラズ之ニ反シテ監禁ハ時間ヲ要スルコト是ナリ故ニ逮捕ハ即時ニ成立スル犯罪ナリト雖モ監禁ハ犯罪ノ最終ニ成立スルモノナリ

人ヲ逮捕監禁スル者ハ其ノ職權アリテ法律ノ規定スル所ニ從ヒテ爲スモノトス故ニ假令ヒ職權アル者ト雖モ其職權ヲ濫用シテ人ヲ逮捕シ監禁スルコトヲ得ズ況ンヤ一私人ガ不法ニ人ヲ逮捕監禁スルニ於テオヤ

本條ハ舊法第三百十二條及ビ第三百二十三條ヲ合セ之ニ修正ヲ加ヘタルモノナリ舊法ニハ控ニ人ヲ逮捕シ云々ノ文字アレドモ違法ノ逮捕又ハ監禁ニアラザレバ罪トナラザルコトハ自ラ明カナルノ理ナルヲ以テ此字句ヲ廢シタルナリ然レドモ本罪ヲ爲スニハ左ノ行爲アルヲ要ス

第一不法ニ人ヲ逮捕監禁シタルコト 人ヲ逮捕監禁スルニハ職權アル者ガ法律ノ規定ニ從

フテ爲スノ外ハ皆不法行爲ナリ改正法ガ擅ニ云々ノ文字ヲ廢シタルモ是ハ明文ヲ要セズ  
 自明ノ理ナルヲ以テナリ故ニ其意義ナシト謂フニ非ズ即チ本罪ノ構成ニハ法令ノ命ズル  
 所ニ依ラズ其職權ナキ者ニ於テ擅ニ人ヲ逮捕監禁スルニ在レバ若シ擅ニ不法ニ爲サハ  
 トキハ本罪ヲ構成スル者ニ非ザルハ勿論ナリ此不法ナル場合ノ外一私人ガ權利トシテ人  
 ヲ逮捕監禁スルコトヲ得ル場合ハ例ヘバ刑事訴訟法第六十條ノ規定ニ基キ重罪又ハ禁錮  
 以上ノ刑ニ該ル可キ輕罪ノ現行犯人ヲ逮捕スルガ如キ又ハ精神病者監護法ニ基キ精神病  
 者ノ後見人配偶者四親等内ノ親族又ハ戶主ガ行政廳ノ許可ヲ得テ又ハ得ズシテ假リニ之  
 ヲ監禁スルガ如キ是レナリ

**第二**不法タルノ事實ヲ知リタルコト 犯人ガ罪トナルベキ事實ヲ知リタル場合ニ非ザレバ  
 法律ハ之ヲ罰セザルヲ原則トスルヲ以テ本條ノ如ク行爲ノ違法タルコトヲ罪ノ構成要件  
 トシテ特ニ記載セラレタル場合ニ在テハ其犯人ニ於テ罪トナルベキ事實ヲ知ルノ外ニ更  
 ニ其行爲ノ不法タルコトヲ知得シタル場合ニ限り罪ト爲ルベキモノト解釋セザルベカラ  
 ズ故ニ縱令ヒ人ヲ逮捕監禁スルモ法律ヲ誤解シタルニ依リ逮捕又ハ監禁ノ權利アル者ト  
 誤信シテ之ヲ爲シタル場合ハ本罪ノ構成要件ヲ缺キタルモノナルヲ以テ罪ヲ成サズ

【改正要點】 舊法ニハ私家ニ監禁シタル者ト爲シ監禁ノ場所ヲ示スト雖モ其意義狹キニ過

ギ往々不便ヲ感ズルヲ以テ改正法ハ場所ニ關スル規定ヲ除キタリ舊法ガ私家ニ限リタルガ  
 如ク規定シタルハ逮捕官吏又ハ司獄官吏以外ノ者ガ人ヲ監禁スル場合ヲ指示スル爲メニ過  
 ギザリキ

又舊法ニハ監禁日數ニ依リ刑ヲ加重スル規定アリト雖モ煩苛ニ過ギ却テ裁判所ヲシテ適宜  
 ノ刑ヲ科スルコトヲ得ザラシムル弊害アルヲ以テ改正法ハ此規定ヲ廢シ刑ノ輕重ハ之ヲ裁  
 判所ノ判定ニ任ズルコト、爲シタリ

**第二百二十一條** 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害

ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

【改正要點】 本條ハ舊法第三百二十四條第三百二十五條ヲ合セテ修正シタルモノナリ同條  
 ニ曰ク「前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル者云々」トアリ本條ハ疾病ノ文字ハ之  
 無シト雖モ死傷ト云フヲ以テ疾病ノ意ヲ含ミタレバ同一ノ意義ナリ而シテ本條法文ノ大意  
 ハ前條ノ罪ヲ犯シ其苛刻ナル取扱ヲ爲シタル結果被害者ヲ死傷ニ致シタル場合ノ規定ナレ  
 バ犯人ノ所爲ト被害者ノ死傷トノ間ニ因果ノ關係アルコトヲ要ス

又舊法第三百二十五條ニハ「擅ニ人ヲ監禁シ水火震災ノ際其監禁ヲ解クコトヲ怠リ因テ死  
 傷ニ致シタル者云々」ト規定スルモ改正法ニハ其文字ナシト雖モ此場合ヲ包含スベキモノ

トス何トナレバ監禁ノ場合ニハ實際此等ノ行爲アルハ往々免レザル所ナレバナリ而シテ犯人ニ於テ人ヲ死傷ニ致スノ犯意アルヲ要セズ  
茲ニ一言スベキハ監禁ハ一人ニテ時ヲ異ニシ共犯意ヲ異ニシテ罪ヲ犯ストキハ二罪ナリ然レドモ逮捕ハ監禁ノ手段ニシテ監禁ハ逮捕ノ結果ナルモ同一人ニテ同時ニ犯ストキハ一罪ナリ

逮捕及  
監禁ノ罪

第一 成立條件

- (イ) 不法ニ爲シタルコト (人ヲ逮捕監禁スル者ハ職權ト法令ノ命ズル所ニ從フモノナリ故ニ職權ナク又職權濫用シタル場合)
- (ロ) 故意ニテ爲シタルコト (犯人ガ罪ト爲ルベキ事實ヲ知リタル外ニ其不法ノ行爲タルコトヲ知ルコトヲ要ス)
- (一) 一般ノ場合ハ三月以上五年以下ノ懲役
- (二) 自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役
- (三) 本罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害罪ニ比シ重キニ從テ處斷ス

第二處分

第三十三章 脅迫ノ罪

【改正要點】 舊法ニハ唯脅迫ヲ爲シタル場合ノミヲ規定シ脅迫ニ因リ人ヲシテ義務ナキコトヲ行ハシメ又ハ行フベキ權利ヲ妨害シタル行爲ヲ豫想セザルヲ以テ改正法ハ之ヲ補修シタリ又舊法ハ脅迫罪ヲ親告罪ト爲スト雖モ脅迫罪ノ如キハ一私人ノ名譽ニ關スルヨリハ寧

ロ公ノ秩序ニ關スル罪ナルノミナラズ之ヲ親告罪ト爲ス結果實際上被害者ハ後難ヲ恐レテ告訴ヲ爲スコト能ハザル場合ガ多ク脅迫セラレテ之ヲ親告スル爲メニ更ニ脅迫ヲ受クルト云フ如キ場合ガアリテ遂ニ刑法ノ效果ヲ奏スルニ不適當ナリトシテ改正法ハ親告ノ制ヲ廢シタルモノナリ

本罪ハ相手方ニ於テ畏怖ノ念ヲ惹起シタルコトヲ要スルヤ否ヤニ付テハ學者間ニ議論アル所ナリ而シテ或論者ハ相手方ニ於テ危害ヲ受クベキコトヲ確信シタル以上ハ既ニ權利ニ關スル心裡ノ平和ヲ破ラレタリト云フベキヲ以テ畏怖ノ念ヲ惹起スルコトヲ要件トスルノ必要ナシト然リ而シテ單ニ脅迫スレバ本罪ノ既遂タル場合ハ畏怖ノ念ヲ生ゼシムルヲ要セズト雖モ脅迫シテ義務ナキコトヲ行ハシメ又ハ行フベキ權利ヲ妨害シタル場合ノ如キハ相手方ニ於テ畏怖ノ念ヲ惹起サルトキハ其脅迫ニ依リ義務ナキ事ヲ行ヒ又ハ行フベキ權利ヲ妨害セラル、コトナキモノナリト信ズ是レ畏怖セザルニ何ゾ徒ニ意思ヲ枉グテ脅迫ニ從フベキヤ決シテ之無キナリ

第二百二十二條

生命、身體、自由、名譽又ハ財産ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ人ヲ脅迫シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス



親族ノ生命、身體、自由、名譽又ハ財産ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ人ヲ脅迫シタル者亦同シ

〔意義〕 脅迫トハ意思ノ自由ヲ妨害シ或ハ爲サント欲スルコトヲ爲スヲ得ズ或ハ意思ヲ枉ゲテ之ニ從フ觀念ヲ惹起セシムルコトヲ云フ即チ相手方ニ於テ現ニ危害ヲ受クベキコトヲ確信シ意思ノ自由ヲ妨止セラル、コトヲ要ス然レドモ脅迫ヲ行フ者ニ於テ眞實ニ危害ヲ加フルノ意思アルコト又其手段方法ガ危害ヲ加フベキニ足レリトスルコトヲ必要トセズ而シテ脅迫ヲ行フ者ニ於テ假令眞ニ危害ヲ加フルノ意思アルモ其相手方ニ於テ之ヲ眞實トセズシテ意思ノ自由ヲ失ハザルトキハ脅迫ノ效ナキモノナリ故ニ脅迫ノ既遂ハ相手方ニ於テ其ノ脅迫ヲ眞實ナリトシタルトキニ初メテ本罪ヲ構成スルモノナリ之ヲ信ジテ畏怖シタルトキハ相手方ノ心中安全ナラズ意思ノ自由ヲ失フニ至ルモノニシテ脅迫ヲ眞實ナリトスレバ此ニ在ルナリ而シテ脅迫ニハ被害者ニ直接ナルモノト間接ナル場合トアリ間接ナルハ家族其他ノ血族ノ者ニ對シテ脅迫スルニ在リ又脅迫ニハ危害ヲ實行スルノ意思アルコトヲ要セズ故ニ單ニ戲レヲ以テスルモ犯人ニシテ相手方ヲ脅迫スルニ在リテ相手方モ亦其脅迫ハ危害ヲ蒙ルノ實アリト信ジタルトキハ本罪ヲ成ス之ニ反シテ假令脅迫スルモ相手ガ眞實トセザル場合例ヘバ婦女ニシテ強壯ナル男子ニ向ヒ暴行ヲ加ヘント脅迫スルモ脅迫ノ實ナキ

ガ如シ然レドモ假令ヒ老幼婦女子ノ如キ者ノ脅迫モ其實害ナシト謂フベカラザル場合アリ例ヘバ名譽ヲ毀損シ又ハ財産ニ對シ火ヲ放ツト云フガ如キハ爲シ能ハザル事實ニアラザルヲ以テナリ

本條ハ脅迫ノ事實ヲ左ノ事項ニ明示シタリ

第一人ノ生命 人ノ生命ニ害ヲ加ヘント脅迫スルコト例ヘバ予ガ爲スベシト命ズルコトヲ爲サザルトキハ汝ヲ殺害セント脅迫スルガ如シ此場合ニハ脅迫者ト被害者トノ體力ニ於テ脅迫者ノ體力ガ勝レタル場合ナルカ婦女老幼者ニ對シテ謂フ場合ニアラザレバ其脅迫ノ實害ナキハ勿論ナリ又其脅迫ノ危害ガ目前ナルコトヲ要ス若シ他日ニ害ヲ加ヘント云フガ如キハ之ヲ防ギ又ハ避クベキ方法アルガ故ニ脅迫ノ實ナキモノナリ

第二身體 身體ヲ傷害セント脅迫スルガ如キヲ云フ暴行ヲ用ヒテ人ヲ脅迫スル場合ハ身體ヲ傷害スルト云フモノナリ

第三自由 自由ニ對スル脅迫ハ或事ヲサシメント云ヒ又ハ爲サシメザルト云フガ如キ被害者ノ意思ニアラザルコトヲ強迫シテ爲サシムルガ如キハ意思ノ自由ヲ害スル者ナリ又被害者ヲ監禁スベシト云フガ如キハ自由ヲ害スルモノナリ

第四名譽 名譽ヲ害セントスルハ被害者ノ惡事醜行ヲ世ニ暴露シ社會ニ對シ信用ヲ失フコト

トヲ爲スト脅迫スルガ如キヲ謂フ彼ノ新聞紙ニ誹毀ノ事項ヲ記載シ演説ニ偶像等ヲ以テ名譽ヲ害セント脅迫スルガ如キ是ナリ

**第五財產** 財產ニ對シ害ヲ加ヘントハ或ハ家屋其他ノ建造物ニ火ヲ放ツト云フガ如キハ財產ニ對スル危害ノ脅迫ナリ此等ノ脅迫ヲ以テ最モ被害者ガ畏怖スベキ事項トシテ本條ガ列擧法ヲ採リタル所以ナリ

本條第二項ハ親族ノ者ニ對スル脅迫ニシテ親族ノ者ガ本條ニ列擧スル生命身體等ニ危害ヲ加ヘラル、ハ自己ガ害ヲ受クルト同一ノ感ヲ生ズルヲ以テ直接ニ脅迫シタルト同一ノ罪ニ處スルモノトス

**第二百二十三條** 生命、身體、自由、名譽若クハ財產ニ對シ害ヲ加フ可

キコトヲ以テ脅迫シ又ハ暴行ヲ用ヒ人ヲシテ義務ナキ事ヲ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

親族ノ生命、身體、自由、名譽又ハ財產ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ脅迫シ人ヲシテ義務ナキ事ヲ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタル者亦同シ

**前二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス**

【意義】 本條ハ普通ノ脅迫ノ場合ト異ニシテ單ニ生命、身體、自由、名譽若クハ財產ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ脅迫スル外尙ホ暴行ヲ用ヒ人ヲシテ義務ナキ事ヲ行ハシメ又ハ行フ權利ヲ妨害シタル場合ノ規定ナリ而シテ其脅迫ノ實行ニヨリテ被害者ヲシテ義務ナキコトヲ行ハシムルトハ例ヘバ債務ナキ者ニ對シ債務ノ辨濟ヲ爲サシメ又ハ二重ニ支拂ヲ爲サシムルガ如キコトヲ謂フ又行フベキ權利ヲ妨害シタルトハ例ヘバ相續權アル者ニ相續ヲ爲サシメズ或ハ選舉權ヲ妨害スルガ如キヲ謂フナリ

本條ノ脅迫モ親族ニ對シテ爲シタルトキハ前項ト同一ノ處分ヲ爲スモノトス其理由ハ前ニ述ベタルト同一ナリ

前二項ノ脅迫罪ノ未遂ハ之ヲ罰スルモノトス本罪ノ未遂トハ脅迫シテ未ダ其目的ヲ達セサルヲ云フ例ヘバ金錢ヲ得ルノ目的ヲ以テ名譽ヲ毀損セント脅迫シタルトキ其ノ被害者ニ於テ脅迫ヲ信ジタルモ犯人ニ對シ未ダ金錢ヲ與ヘザル場合ノ如キハ本罪ノ未遂トスベシ

脅迫ノ成立條件

- (一)脅迫スベキ事項
- (二)脅迫ニ依ル實行
- (三)處分

(イ)生命、身體、自由、名譽又ハ財産ニ對シテ加フベキコトヲ以テスルコト  
 (ロ)親族ノ者ノ生命、身體、自由、名譽又ハ財産ニ對シテ加フベキコトヲ以テスルコト  
 (ハ)生命、身體、自由、名譽若クハ財産ニ對シテ加フベキコトヲ以テ脅迫シ又ハ暴行ヲ用フルコト  
 (ニ)人ナシテ義務ナキコトヲ行ハシメ又ハ行フベキ權利ヲ妨害スルコト  
 (ホ)親族ノ者ニ對スル場合モ亦同シ  
 (前)場合ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金其親族ニ對スル場合モ亦同シ  
 (後)場合ハ三年以下ノ懲役親族ニ對スルトキモ亦同シ而シテ後ノ場合ハ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三十三章 略取及ヒ誘拐ノ罪

〔改正要旨〕 舊法ハ幼者ヲ略取誘拐スル罪ト題シ唯二十歳未満ノ幼者ヲ保護スル規定ナリト雖モ改正法ハ之ヲ汎ク人ヲ略取誘拐スル罪ト爲シ成年者ヲモ保護スルコト、爲シタリ舊法ハ其規定ノ趣旨明了ナラズシテ直接ニ幼者ヲ保護スル主義ナルヤ又ハ其監督者ヲ保護スル主義ナルヤヲ知リ難シト雖モ改正法ハ之ヲ明カニシテ幼者ヲ保護スルニ在ルコトヲ知ラシメタリ

第二百二十四條 未成年者ヲ略取又ハ誘拐シタル者ハ三月以上五年

以下ノ懲役ニ處ス

〔意義〕 略取誘拐スルトハ甘言ヲ以テ好事ノアルコトヲ説キ付ケ利慾ニ惑ハシテ連出スコトニシテ近年最モ多ク見聞スル所ノ密航者ノ如キ是ナリ而シテ二十歳未満ノ未成年者ヲ略取誘拐スルト成年ノ者ヲ爲ス場合トアリ  
 未成年者ト云フトキハ既ニ二十歳ノモノモアルト雖モ要スルニ法律ニハ未成年者ハ未ダ智能十分ナラザルモノトシテ規定スルガ故ニ相當ノ事ヲ考フルモ尙ホ智能ハ不十分ナルモノトスルヲ適當ス而シテ舊法ハ之ヲ二様ニ分チテ十二歳ニ滿タザル幼者十二歳以上二十歳未満ノ幼者ニ區別ス 正法モ亦同シク此例ニ依ルト雖モ未成年者ヲ云々トシテ幼者トセザリシハ實際ノ取締上ニ困難ナル所アルガ故ナリ  
 被拐取者ガ幼年ナルトキト二十歳近キ者ナルトニ依リテ本罪ヲ構成スル上ニ異ナル所アリ即チ幼者ナルトキハ之ヲ監督スル權利アル者親權者、後見人保護人等ニ對スル監督權ヲ侵害ス故ニ幼者ノ承諾アルモ本罪ヲ構成ス是レ略取誘拐トハ監督權者ノ監督ヲ事實上離脱セシムルモノナレバナリ而シテ略取ト誘拐トノ區別ハ誘拐ハ詭計ヲ用ヒテ承諾セシムルヲ云ヒ略取トハ暴力ニ依ルトノ二トナル  
 成年者ヲ略取誘拐スルトキハ監督權侵害ヲ生ゼズ唯ダ本人ヲ誘拐スレバ本罪ヲ構成スルモ

ノトス

略取誘拐ノ目的ハ自家ニ置キ猥褻及ビ結婚ヲ爲ス等ニ在ルト又ハ他人ニ賣買シ外國ニ移送スルモノナリ之ヲ要スルニ營利ト猥褻若クハ結婚ノ目的ニ出ヅルモノナリ

**第二百二十五條** 營利、猥褻又ハ結婚ノ目的ヲ以テ人ヲ略取又ハ誘拐シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

【意義】 本條ハ略取及ビ誘拐ノ目的ヲ明示シタルレバ即チ左ノ目的ヲ以テ略取及ビ誘拐シタル者ハ本條ノ罪ヲ成ス

**第一** 營利ノ目的 出ヅルコト營利ハ種々アレドモ本罪ノ場合ハ或ハ自家ニ置キ淫賣ヲ爲サシメ或ハ淫賣屋ヲ業トスル者ニ賣渡シ或ハ娼妓ト爲ス等ヲ云フ要スルニ之ニ因リ自己ニ利ヲ得ルニ在ルナリ

**第二** 猥褻又ハ結婚ノ目的ニ在ルコト本條及ビ第二百二十七條第二項ニ所謂ル猥褻トハ第二十二章ノ猥褻トアルトハ異ニシテ男女間ノ姦淫ヲモ包含スルモノトシ廣キ意義ノ猥褻ヲ謂フモノナリ

結婚ノ目的ヲ以テスルニハ對手者ノ眞實承諾シタル場合ハ本條ノ罪トナルモノニ非ズ法文ニ略取誘拐トアル以上ハ或ハ偽計ヲ以テスルカ或ハ威力ヲ以テスルカノ二ニ出ヅル場

合ニシテ本人ノ眞實ノ承諾ヲ得ザル場合ナルメシ故ニ假令ヒ其目的ガ結婚ニ出ヅル場合ナリト雖モ本罪ヲ構成スルモノトス

**第二百二十六條** 帝國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ略取又ハ誘拐シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

帝國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ賣買シ又ハ被拐取者若クハ被賣者ヲ帝國外ニ移送シタル者亦同シ

【意義】 帝國外ニ移送スル目的ハ所謂密航者トシテ近來略取誘拐セラル、者ニ此等ヲ最も多シトス外國ニ移送スルハ略取者自カラ同航スル者ハ彼地ニ到リテ外國人ニ賣渡シテ淫賣婦ト爲ス等ニ在ルナリ

自カラ畧取及ビ誘拐シタル者ヲ外國ニ移送スルニ非ズシテ内地ニ於テ移送ノ目的ヲ以テ人ヲ賣買スル者アリ又他人ガ略取誘拐シタル者若クハ賣リタル者ヲ移送スル者ハ本條ノ罪ヲ構成スル者トス

**第二百二十七條** 前三條ノ罪ヲ犯シタル者ヲ幫助スル目的ヲ以テ被拐取者又ハ被賣者ヲ收受若クハ藏匿シ又ハ隱避セシメタル者ハ三

月以上五年以下ノ懲役ニ處ス  
營利又ハ猥褻ノ目的ヲ以テ被拐取者又ハ被賣者ヲ收受シタル者ハ  
六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

【意義】本條ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ行爲アルヲ要ス

第一 前三條ノ罪ヲ犯シタル者ヲ幫助スル目的ニ出ヅルコト

第二 被拐取者又ハ被賣者ヲ收受若クハ藏匿シ又ハ隠避セシメタル者

第三 營利又ハ猥褻ノ目的ヲ以テ被拐取者又ハ被賣者ヲ收受シタル者

右三個ノ行爲ガ前三條ノ罪ヲ犯シタル者ヲ幫助スル目的ニ出デタル場合ナルヲ以テ單獨行  
爲ノ性質ニアラス幫助トハ行爲ニ便利ヲ與フルヲ云フモノニシテ拐取セラレタル者又ハ賣  
ラレタル者ヲ甲者ヨリ受取リテ之ヲ自己ノ家ニ藏匿シ又ハ適當ノ場所ヲ指示シテ之ニ隠レ  
サセル等ノ行爲ニシテ要スルニ前三條ノ犯人ヲシテ其目的ヲ達セシムル爲メニ便宜ヲ與フ  
ルニ在リ

營利又ハ猥褻ノ目的ヲ以テ被拐取者又ハ被賣者ヲ收受スル者ハ前項ノ者ノ如ク前三條ノ罪  
ヲ犯シタル者ヲ幫助スル目的ニ出ヅルトハ異ニシテ自己ガ猥褻又ハ營利ノ目的ニ出ヅル者  
ナレバ幫助者ニアラス

本條ガ結婚ノ目的ヲ以テ之等ノ者ヲ收受シタル行爲ノ場合ヲ規定セザルハ第二百二十五條  
ノ略取誘拐ハ假令結婚ノ目的ニ出ヅルモ之ヲ罰スルノ必要アリト雖モ本條ハ他人ヨリ收受  
スル場合ナレバ既ニ其被害者ハ略取若クハ誘拐ヲ受ケテ悲境ニ陥テ居ル者ナレバ此被害者  
ト結婚ノ目的ヲ以テ收受スル場合ハ却テ被害者ヲ苦境ヨリ救ヒ出シテ被害者ノ利益トナル  
場合多キニアルヲ想像スレバナリ

第二百二十八條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

【意義】本章ノ未遂罪ハ如何ナル場合ニアルヤハ茲ニ一例ヲ擧グレバ略取又ハ誘拐セント

シテ既ニ被害者ヲ連出シ又ハ相手ニ向テ偽計暴力ヲ用ヒ居ルトキ發見セラレタル場合又ハ

外國ニ移送セントスル者ガ被害者ヲ船ニ乗ラセントスル場合又ハ船中ニテ航海中ノ場合ノ

如キヲ云フ

第二百二十九條 第二百二十六條ノ罪、同條ノ罪ヲ幫助スル目的ヲ以

テ犯シタル第二百二十七條第一項ノ罪及ヒ此等ノ罪ノ未遂罪ヲ除

ク外本章ノ罪ハ營利ノ目的ニ出テサル場合ニ限り告訴ヲ待テ之ヲ

論ス但被拐取者又ハ被賣者犯人ト婚姻ヲ爲シタルトキハ婚姻ノ無

效又ハ取消ノ裁判確定ノ後ニ非サレハ告訴ノ效ナシ

「意義」本條ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ズベキ場合ヲ定メタルモノナリ  
 本章ノ罪ハ被害者ノ名譽ニ關スル罪ナルヲ以テ總テ親告罪ト爲スベキモノ、如クナレドモ  
 法律ガ悉ク之ヲ親告罪ト爲サルハ大ニ見ル所アリテ然ルナリ舊法第三百四十四條ニ曰フ  
 前數條ノ罪ハ被害者又ハ其親族ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ズ但略取誘拐セラレタル幼者式ニ從  
 テ婚姻ヲ爲シタルトキハ告訴ノ效ナシト其理由トスル所ハ略取誘拐タル所爲ハ幼者ノ自由  
 ヲ害スルト同時ニ又一方ニ於テハ被害者タル幼者ノ名譽ヲ害スル結果ヲ生ズルコトアリテ  
 從テ若シ被害者ノ告訴ヲ待タズシテ之ヲ訴追シ處罰スルモノトセバ幼者ヲ保護セントシテ  
 却テ其利益ヲ害スルニ至ルヲ以テナリトシテ普通ノ親告罪ト同一ニ視ルモノナリ然レドモ  
 被害者タル幼者ガ犯人ト式ニ從テ法律上有效ノ婚姻ヲ爲シタルトキハ假令被害者又其親族  
 ノ告訴アルモ犯人タル夫ヲ處罰スルトキハ夫婦間ノ平和ヲ破リ家族ノ名譽ヲモ害スルコト  
 トナルヲ以テ此場合ニ於テハ本罪訴追ノ條件タル告訴ハ其效ナキモノトスベキナリ而シテ  
 式ニ從テ婚姻ヲ爲シタルトキハ告訴ノ效ナシトシタルノミニテ婚姻ノ取消ニ依テ夫婦關係  
 ノ消滅シタル場合ニ付テハ何等ノ規定ナキガ故ニ一旦婚姻ノ有效ニ成立シタル以上ハ取消  
 後ト雖モ告訴ノ效ナキモノトセザルベカラズ是レ改正法ガ本條ノ如ク規定シタル所以ナリ

改正法ハ營利ノ目的ニ出デザル場合ニ限り親告罪トシテ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ズルモノトシ  
 タリ是レ犯人ガ營利ノ目的ニ出デタル場合ハ其情狀甚ダ憎ムベキ行爲ナルノミナラズ之ヲ  
 親告罪ト爲ストキハ被害者モ後難ヲ恐レテ告訴ヲ爲サルニ乘ジ此犯人ヲシテ益々増長セ  
 シムルノ弊害ヲ生ズルヲ以テナリ  
 然レドモ假令ヒ被害者等ガ告訴ヲ爲ストモ被拐取者又ハ被賣者ニ於テ犯人ト婚姻ヲ爲シタ  
 ルトキハ其婚姻ガ無効トナルカ又ハ取消ノ裁判確定シタル後ニ非ザレバ告訴ノ效ナキモノ  
 トス是レ一旦婚姻シタルトキハ其夫タル者ノ犯罪トシテ訴追スルトキハ却テ夫婦間ノ平和  
 ヲ破リ好マシカラザル結果ヲ見ルニ至ルヲ以テナリ

略取及ヒ誘拐ノ罪

第一本罪ノ被害者  
 第二犯罪ノ目的  
 第三處分

- (イ) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (ロ) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (ハ) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (ニ) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (三) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (四) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (五) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (六) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (七) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (八) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (九) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (十) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (十一) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (十二) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (十三) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (十四) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (十五) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (十六) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (十七) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (十八) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (十九) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト
- (二十) 營利ヲ爲スル目的ニテテスルコト

### 第三十四章 名譽ニ對スル罪

【意義】 名譽ニ對スル罪トハ人ヲ誹毀スル罪ナリ而シテ誹毀トハ人ノ惡事醜行ヲ摘發スルヲ謂フモノナリ名譽ニ對シテ之ヲ害セントスルニハ惡事醜行ヲ摘發スルニ在ルナリ名譽トハ人ガ社會的生存上收得スル信用ナリ信用ハ價值ナリ價值ハ地位ニ因テ保ツモノナリ他人ノ名譽ヲ傷クルニハ左ノ方法ニ依ルモノトス

第一 侮辱即チ他人ヲ輕蔑スル意思ノ表示ニ因テ他人ノ名譽ヲ毀損スルコト換言スレバ犯人自カラ他人ノ價值ナキコトヲ判定スル場合ニシテ其方法ハ更ニ左ノ如ク分ツコトヲ得ベシ

(一) 他人ニ對シテ名譽ノ實質ヲ否認スル場合即チ直接ニ風儀上社會的價值又ハ職責ヲ盡スベキ能力若クハ經濟的信用ノ缺點ヲ判定スルモノニシテ其ノ欠缺ヲ立證スベキ特定ノ事實ヲ引證スルト否トハ問フ所ニアラズ

(二) 其他總テノ方法ニ於テ不敬ノ意思ヲ表示スル場合例ヘバ罵詈、暴行、嘲弄、風儀ヲ破ルベキ行為ヲ強制スルノ類是ナリ

第二 誹毀ノ場合即チ他人ノ名譽ヲ毀損スベキ事實ヲ主張シ依テ他人ノ名譽ヲ危險ナラシ

#### ムル場合

以上名譽毀損ノ所爲ハ不作爲ニ依テモ又行フコトヲ得ベシ例ヘバ先方ノ敬禮ニ對シ答禮ヲ爲サルガ如キ苟モ作爲ヲ行フベキ義務アルニモ拘ハラズ之ヲ行ハザリシトキハ名譽毀損ノ行為アリタリト云フコトヲ得ベシ

名譽毀損ノ結果ハ犯人以外ノ者ガ侮辱ノ意思表示又ハ誹毀ノ主張ヲ知覺シタルコトニ依テ既遂トナルモノニシテ其知覺者ハ必ズシモ被害者タルコトヲ要セズ被害者以外ノ第三者ガ之ヲ知覺シタル場合ニ於テモ等シク既遂ヲ以テ論ズルコトヲ得ルナリ是レ名譽毀損ノ所爲ハ他人ノ名譽ニ關スル感情ヲ侵害スル行為ニアシズシテ他人ノ社會ニ於ケル價值ヲ侵害スル所爲ナルガ故ニ苟クモ此結果ヲ生ジタルトキハ必ズシモ被害者ガ此結果ヲ知覺シタルコトヲ要セザルナリ然レドモ他人ニ於テ此結果ヲ知覺シタルコトヲ要スルガ故ニ例ヘバ此結果ヲ生ズベキ文書ヲ郵便箱ニ投入シタルノミニテ他人ガ其文書ノ内容ニ付知覺セザル以上ハ未タ既遂ト云フコトヲ得ザルナリ

名譽毀損ノ犯意ハ侮辱又ハ誹毀ノ事實ヲ知ルコトヲ以テ足レリトシ原因ノ如何ハ問フ所ニアラズ

舊法ニ於テハ犯人ガ不法ニ他人ノ名譽ヲ毀損スルノ事實ヲ知リタルコトヲ必要トセズ然レ

トモ各譽ハ個人ノ處分スベキ性質ノモノニアラザルガ故ニ被害者ノ承諾ハ此名譽毀損ノ處  
爲ニ對シテ違法排除ノ原因トナラズ從テ此場合ニ於テ假令犯人ガ違法ニアラズト信シタル  
トキト雖モ其責任ヲ免ルル、コトヲ得ズ  
誹毀ト侮辱ノ區別

第一 侮辱ハ犯人自カラ被侮辱者ヲ尊敬セズト謂フ意思ノ表示ニシテ

(一) 此表示ハ或ハ判定ノ形式ニ依テ例ヘバ馬鹿、間拔ナド、謂フガ如シ或ハ當然此判  
定ヲ生ズベキ事項ヲ主張スルコトニ依テ行ハル、コトアリ

(二) 此表示ハ被侮辱者ニ對シテ行ハル、ト被侮辱者以外ノ第三者ニ對シテ行ハル、ト  
ハ敢テ問フ所ニアラズ

(三) 不敬ハ意思表示アルコトヲ要ス而シテ不敬ノ意思表示ト云フベキヤ否ヤハ被侮辱  
者ノ階級・被侮辱者ト犯人トノ關係ヲ標準トシテ決セザルベカラズ例ヘバ天皇、三皇  
皇太子、皇族ニ對スル不敬罪普通人ニ對スル侮辱罪ノ正準アルガ如シ

第二 誹毀トハ被誹毀者ニ關シ其人ニ對スル第三者ノ輕蔑ヲ招キ又ハ輿論ニ於テ名譽ヲ毀  
損スベキ事項ヲ主張スルコトニ依テ被害者ノ名譽ヲ危險ナラシムルコトヲ云フ從テ(一)  
侮辱ハ犯人自身ガ被害者ヲ尊敬セズト謂フ判定ヲ表示スルモノナルモ誹毀ハ被害者ガ第

三者ヨリ受クベキ尊敬ヲ危險ナラシムルモノナリ(二)侮辱ハ現實ニ尊敬ヲ毀損スルコト  
ヲ意味スルモ誹毀ハ尊敬ヲ危險ナラシムルヲ以テ足レリトス即チ第三者ヨリ惡評ヲ招ク  
原因トナルベキ恐アル事項等ヲ報告スルコトヲ以テ足ルモノトス故ニ現ニ名譽ヲ毀損シ  
タルト否トハ問フ所ニアラザルナリ(三)侮辱ノ行爲ハ被侮辱者ニ對シテ行フコトヲ得ベ  
シト雖モ誹毀ハ被誹毀者以外ノ第三者ニ對スルニアラザレバ之ヲ行フコトヲ得ズ而シテ  
第三者ガ犯人主張ノ事項ヲ知覺シタルトキヲ以テ既遂トナル(四)名譽毀損ノ恐アルヤ否  
ヤハ被誹毀者ノ特別ナル階級ニ依テ判定スルコトヲ得ズシテ被誹毀者ト一般公衆トノ關  
係ヲ標準トシテ之ヲ決スベク而シテ現實ニ其名譽ヲ害シタルト否トハ問フ所ニアラズ  
(五)誹毀ノ材料ハ侮辱ト異ナル現在又ハ過去ノ事項タルコトヲ要シ未來ニ屬スル事項ヲ  
材料トスルコトヲ得ザルナリ而シテ其材料タル事項ハ被害者ニ對シテ不能ノ事タルト否  
トハ問フ所ニアラズ又誹毀セラル、者ノ心中ニ屬スル事項即チ行爲ノ遠因性質ニ關スル  
事項ヲモ包含スルモノトス

名譽ハ左ノ如ク區別スルコトヲ得ベシ

第一 名譽ノ實質タル人類ノ價值ハ左ノ如シ

(一) 風儀ノ價值



- (一) 社會ニ於ケル地位ニ基キ科セラレタル義務履行即チ社會的價値
- (二) 自己ノ擔任スル義務ノ履行ニ付キ身體上并ニ精神上可能的生格ヲ具備スルコト
- (三) 經濟上ノ信用即チ支拂ノ能力并ニ支拂ノ意思ノ上ニ認ムルコトヲ得ベキ名譽ト謂フ
- (四) 利益ヲ享有スル者ハ現ニ生存セル人類ニ限ルモノニシテ即チ左ノ者ノ上ニ付テ謂フナリ
  - (イ) 死者ハ名譽ノ主體タルコトヲ得ズ何トナレバ死者ハ死亡ニ因テ從來社會ニ於ケル地位ヲ失ヒタレバナリ但シ法律ニ於テ死者ニ對スル誹毀ヲ認ムルハ死者其モノ、名譽ヲ保護スルニアラズ又其親族中ノ特別ノ人ヲ保護スルニアラズ死者ノ生存シタル親族全體ノ名譽ヲ保護スルニ在リ
  - (ロ) 子供ニ付テハ子供ガ或ル義務ヲ負擔スベキ地位ニ進ミ且ツ其義務ヲ了解スルニ至リタルトキニ始メテ名譽ノ主體タルコトヲ得ベシ
  - (ハ) 精神病者モ過失ニ於ケル健全ナル精神ノ狀況ト現在ニ於ケル一部不健全ナル精神ノ狀況ニ於テ亦名譽ノ主體タルコトヲ得ルナリ
  - (ニ) 人類ノ團體ニシテ別ニ一ケノ人格ヲ有スル者ハ其人格ニ依テ享有スル利益ノ範圍内ニ於テ亦名譽ノ主體タルコトヲ得ベシ即チ社團法人ノ如シ然レドモ假令人類ノ

團體ナリト雖モ別ニ人格ヲ享有セザルモノニ付テハ刑法ニ特別ノ明文ナキ以上ハ此等ノ團體ハ之ヲ組織スル各個人ヲ離レテ名譽ノ主體タルコトヲ得ズ例ヘバ公務所ノ如シ

- (五) 共同名稱ノ下ニ屬スル各個人ハ假令各自ニ付キ指示サレズトモ共同ノ名稱ノ下ニ各自ノ名譽ヲ毀損セラル、コトアリ得ベシ例ヘバ裁判所ノ判檢事某警察署ノ警部某聯隊ノ將校ト謂フガ如シ其名稱ノ表示ニ依リテ之ニ屬スル各個人ノ確定シ得ラルベキ場合はナリ但シ此場合ニ於テハ被害者ハ各個人ニシテ第四ノ場合ノ如ク之ヲ組織スル各個人ヲ離レテ存在スル獨立ノ人格ガ被害者タル場合トハ區別スルコトヲ要ス又單ニ普通名稱ニ對シテ例ヘバ汎ク判檢事、將校、僧侶、教員ト云フ名稱ニ對シテハ名譽毀損ト云フコトハ之無キナリ

第二百三十條 公然事實ヲ摘示シ人ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ其事實ノ有無ヲ問ハス一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

死者ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ誣罔ニ出ツルニ非サレハ之ヲ罰セス

【意義】 本條ノ罪ヲ成スニハ左ノ條件ニ依ルヲ要ス

第一 惡事醜行ヲ摘示スルコト 惡事醜行トハ他人ノ名譽ヲ毀損スベキ事實ヲ云フ即チ他人ノ名譽ヲ毀損スベキ事項ナリ之ヲ詳細ニ説明セバ惡事トハ名譽ヲ毀損スベキ事實ニシテ行為以外ノコトヲ云ヒ醜行トハ名譽ヲ毀損スベキ人ノ行為ヲ云フ例ヘバ彼ノ人ハ目下何某ト姦通シ居ルトカ或ハ詐欺ヲ爲シタルコトアルトカ云フガ如シ摘示トハ自己ノ知リタル所ヲ他人ニ云觸スカ或ハ事實ニ付テ未ダ知ラザル所ヲ他人ニ風聞スルヲ云フ而シテ之ヲ多數ノ人ガ知ルベキ方法ヲ以テ告知スルヲ云フ故ニ多數ノ人ニアラズシテ二三ノ人ニ告知スルガ如キハ摘示ニアラザルナリ又其之ヲ告知スルニハ自己ガ意見トシテ述ブルト風聞トシテ云ヒ觸ストヲ問ハザルナリ

第二 惡意アルコトヲ要ス 故ニ犯人ハ其惡事醜行ヲ摘示スレバ人ノ名譽ヲ毀損スベキコトヲ知ルヲ要ス若シ惡意ナクシテ惡事醜行ヲ摘示スルモ本罪ヲ構成セズ例ヘバ裁判所ノ宣告シタル事件ヲ新聞紙上ニ掲載スルガ如キハ惡意アル者ト云フベカラズ惡意アリトスルニハ未ダ多數ノ人ガ知ラザル前ニ之ヲ世ニ告知シテ名譽ヲ害セントノ意ニ出テ新聞紙上ニ掲載シタル場合ノ如キヲ云フ  
右ノ行為ハ何レモ公然ナルコトヲ要ス公然トハ汎ク一般人ノ人ガ之ヲ知ルベキ方法ヲ以

テスルヲ云フ即チ新聞雜誌ニ掲載シ若クハ演說ニ述ブルガ如キハ公然ナリト云フベシ而シテ茲ニ人ト云フハ社會ニ立テ相當名譽ヲ有スル人ヲ云フ而シテ其一人ナルト數人ナルト將タ法人ナルトヲ問ハズ明カニ指名シタル人ヲ云フ且ツ其被害者ノ之ヲ知ルト否トヲ問ハズ他人ノ知ルヲ必要ナリトス

第三事實ノ有無ヲ問ハズ 被害者ニ於テ果シテ事實アルモ之ヲ罰ス若シ事實ナケレバ當然之ヲ罰スベキナリ

本條第二項ハ死者ノ名譽ヲ毀損スル場合ニ在リテハ事實ノナキ場合ノミ之ヲ罰スルモノトシテ其ノ事實ノアリシトキハ之ヲ罰セザルモノトス之ヲ罰スル所以ハ死者ノ親族全體ノ名譽ヲ保護スルモノナリ是レ名譽毀損ノ罪ハ親告罪ナルガ故ニ當然告訴シテ其利益ヲ受クル丈ノ緣故ヲ有スル人ニ非ザレバ告訴スルコトヲ得ズ從テ死者ノ範圍モ制限セラル、ニ至ルナリ

第二百三十一條 事實ヲ摘示セスト雖モ公然人ヲ侮辱シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

【意義】 惡事醜行ヲ摘示セスト雖モ公然人ヲ侮辱シタル者ハ本罪ヲ構成ス侮辱トハ前ニ述べタルガ如ク人ヲ尊敬スルコトヲ缺キ罵詈訾嘲弄等ヲ爲スヲ云フ其ノ誹毀罪ト異ナル所ハ侮

辱ハ現實ニ名譽ヲ毀損シ被侮辱者ニ對シテ行フモノニシテ被害者ノ現ニ之ヲ聞知スルヲ要ス本罪モ亦公然ニ侮辱スルヲ要ス即チ新聞紙上演説等ヲ以テ衆人ノ知ルコトヲ要ス

第二百三十二條 本章ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

【意義】 本章ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ズルコトハ前條ノ下ニ於テ述ベタル所ナリ普通親告

罪トスベキ理由ハ被害者ニ於テ重ク之ヲ威ゼザルコトアリ又之ヲ威ジタリトモ寛大ニシテ恕スルモノアリ故ニ本人ノ意思ニ任スモノトス是レ法律ハ被害者ヲ保護スル者ナルニ其ノ意思ニ反シテ訴追スルモノトセバ法律ノ保護ニ因リ却テ迷惑ヲ蒙ルニ至ルヲ以テナリ

然レドモ公務員ニ對シ公然事實ヲ摘示シ名譽ヲ毀損シタルトキハ本人ハ告訴セズト雖モ其上長官ヨリ訴追ノ請求アリタルトキハ被害者ノ意思ニ拘ハラズ訴追スベキモノトス蓋シ上官ニシテ其部下ノ者ノ名譽ヲ毀損セルトキハ其公務員全體ニ不面目ヲ被ムルガ如キ場合ナキニシモアラズ此場合ニハ假令被誹毀者本人ニ於テ之ヲ告訴セズトモ公務員全體ノ體面上犯人ノ刑罰ヲ請求スル必要アルコトアリ

名譽ニ對スル罪

第一 成立條件

(イ) 惡事醜行ヲ摘示スルコト (一定ノ人ニ對シテ惡事醜行ヲ摘示スルヲ要ス故ニ何人ナルカヲ知ルコト能ハザルモノハ本罪ヲ成サズ)

(ロ) 惡意アルコト (犯人ハ人ノ名譽ヲ毀損スベキコトヲ知リテ惡事醜行ヲ公ニスルコトヲ要ス)

(ハ) 公然ナルコト (公然ノ演説、文書、圖畫ノ公布又ハ雜劇偶像等ニテ摘示スルコト)

(ニ) 事實ノ有無ヲ問ハズ (事實ナクレバ固ヨリ事實ノアルコトモ之ヲ問スルモノトス)

(ホ) 事實ヲ摘示セズト雖モ公然人ヲ侮辱シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處セラレ

(甲) 公然事實ヲ摘示シ名譽ヲ毀損シタル者ハ一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金

(乙) 死者ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ事實ノアルトキハ之ヲ問セズ

(丙) 本章ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第三十五章 信用及ヒ業務ニ對スル罪

第二百三十三條 虛偽ノ風説ヲ流布シ又ハ偽計ヲ用ヒ人ノ信用ヲ毀損シ若クハ其業務ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

【意義】信用トハ之ヲ對人信用及ビ財物信用ノ二種アリ對人信用トハ人ニ付テノ信用ニシテ其人ノ性質技能資力又ハ業務ノ狀況等ニ基クモノヲ謂ヒ經濟上ヨリ云ハハ財ノ辨濟ニ關スル或人ノ約束ヲ信認シテ之ニ財ヲ交付スルヲモ包含スルナリ

對物信用トハ貨物ニ着眼スル信用ニシテ質物又ハ抵當物ノ提供ニ基クモノヲ謂フ而シテ對人信用ノ生ズルニハ人ヲ知ルコトヲ必要トスルガ故ニ其行ハル、範圍狹シト雖モ對物信用ハ人ニ重キヲ置カサルガ故ニ其行ハル、範圍ハ廣キモノトス

本條ヲ解釋スルニハ左ノ二項ニ區別シテ説明スルヲ便トス

第一 虚偽ノ風説ヲ流布スルコト

第二 偽計ヲ用ヒ人ノ信用ヲ毀損シ若クハ其業務ヲ妨害スルコト

第一ノ場合ハ舊法第二編第八章商業及ビ農工業ヲ妨害スル罪トアルニ該當スルモノニシテ即チ商業ノ如キ一瞬間ノ遲速ニ因リテ大利ヲ得ルト之ヲ失フトノ危機一髮ナル場合ニ放言虚詞以テ一步ヲ誤ラセバ大利ヲ失フニ至ルベシ此ノ虚偽ノ風説ヲ爲ス者ハ常ニ惡意アリテ自己ノ利ヲ得ントシテ風説ヲ流布シ廣ク社會ニ傳ヘテ商工業ヲ害ス

第二ノ場合ハ偽計ヲ用ヒ人ノ信用ヲ毀損スルモノニシテ例ヘバ彼ノ人ハ近頃大ニ商業ニ失敗シテ種々ノ回復策ヲ講ジツ、アルモ到底回復ノ見込ナシナゾト其人ノ信用ヲ毀損シ

或ハ又彼ノ人ノ販賣スベキ品物ハ品質粗悪ニシテ其價格モ高クシテ甚ダ不利ナリト云フガ如クニシテ一般ノ商取引ヲ妨害スルヲ云フ

第二百三十四條 威力ヲ用ヒ人ノ業務ヲ妨害シタル者亦前條ノ例ニ

同シ

【意義】威力ヲ用ヒトハ汎キ暴行脅迫ヲ爲スヲモ包含ス言換フレバ人ヲシテ畏怖セシムルヲ云フ此ノ威力ヲ用ヒテ業務ヲ妨害スルトハ農工ノ雇人ガ其ノ雇賃ヲ増サシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變ゼシムル爲メ雇主及ビ他ノ雇人ニ對シ威力ヲ用ヒテ自己ノ希望ヲ達セント爲スガ如キヲ云フ例ヘバ暴行脅迫ニ因リテ同盟罷工ヲ企ツルガ如キモ其一例ナリ

- （甲）人ノ信用ヲ毀損スルコト  
 虚偽ノ風説ヲ流布シ又ハ偽計ヲ用ヒテ人ノ信用ヲ毀損スルコト其ノ實害ハ經濟上ヲ目的トスルニ在ルコト
- （乙）業務ヲ妨害スルコト  
 信用ヲ毀損スル場合ト同シク虚偽ノ風説ヲ流布シ又ハ偽計ヲ用ヒテ其業務ヲ妨害スルコト右二個ノ處爲ハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金
- （丙）人ノ業務ヲ妨害シタルコト  
 威力ヲ用ヒテ人ノ業務ヲ妨害スルコト故ニ威力ヲ用ヒズシテ妨害シタルトキハ本罪ニ對スルコト即チ成サズ本罪ノ處分ハ前條ニ同シ

### 第三十六章 竊盜及ヒ強盜ノ罪

〔改正要旨〕 舊刑法ハ竊盜又ハ強盜ニ關シ其ノ目的ヲ以テ家宅ニ侵入シタル者ハ既ニ強盜又ハ竊盜ノ未遂ト爲スト雖モ解釋上多少不明ノ嫌ナキ能ハズ因テ改正法ハ之ヲ改メ竊盜又ハ強盜ノ未遂ハ單ニ強盜又ハ竊盜ノ實行ニ着手シタル場合ニ於テノミ始メテ成立スルコトト爲シタリ

前號ノ結果トシテ本章ニ於テ新ニ竊盜強盜ノ目的ヲ以テ人ノ住所ニ侵入シタル罪ノ規定ヲ設ケタルナリ

舊法第三百六十七條乃至第三百七十條及ビ第三百七十二條乃至第三百七十四條ハ共ニ皆竊盜ノ情狀ニ因リ設ケタル區別ニシテ少シモ實益ナキノミナラズ爲メニ却テ刑ノ範圍ノ狹隘ヲ感ジ不便少ナカラザルヲ以テ斷然此ノ如キ煩鎖ナル規定ヲ廢棄シ汎ク竊盜及ビ強盜ニ關スル規定ヲ設ケ其情狀ハ一ニ裁判所ノ認定ニ任ジタリ

第二百三十五條 他人ノ財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪ト爲シ十年以下ノ懲役ニ處ス

〔意義〕 竊盜ハ不法ニ他人ノ所有物ヲ自己ノ保有ニ移スコトヲ云フ即チ我以外ノ他人ガ所

有シ又ハ保管シアルモノヲ要ス即チ明細ニ區別スレバ左ノ如シ

第一 竊盜ノ目的物ハ他人ノ所有物タルコト

(一) 其物ハ有形物ノ動産ナルベシ故ニ債權ノ如キ權利ハ茲ニ云フ物ニアラズ但債權證書ハ一ノ物體ナリ亦液體瓦斯ノ如キモ物ト云フコトヲ得ベキモノナリ

(二) 他人ノ所有物ナルコト故ニ何人ニモ屬セザル物ニ付テハ竊盜ヲ爲スコトヲ得ズ否之ヲ自己ノ物トスルモ竊盜ト云フ性質ヲ成スモノニアラズ隨テ無主物、遺棄物等ハ竊盜ノ目的物トナラザルナリ而シテ山野ニ棲息スル鳥獸ノ如キハ無主物タリト雖モ一旦先キニ占有スル者アラバ占有ニ因リ所有權ヲ取得セラルレバ竊盜ノ目的物ト爲スコトヲ得ベシ又人ノ遺蹟、入齒ノ如キ人ニ付屬シタル物ハ之ヲ物ト云フコトヲ得ベシ故ニ死屍ト共ニ埋葬セラレタル物件ハ所有者ガ拋棄セザル以上ハ竊盜ノ目的物ト爲スコトヲ得ベシ他人ノ所有權アル物ナルトキハ國家若クハ公法人ニ屬スル物モ亦竊盜ノ目的物ト爲スコトヲ得ルナリ而シテ共有物ナル場合ニハ共有者ノ一人ニ對シテ竊盜ノ目的物トナルコトヲ得ルナリ假令ヒ自己ノ所有物ト雖モ他人ニ質入シ又ハ差押ヘラレタル物件ハ他人ノ看守スルモノナレバ之ヲ處分スルトキハ竊盜罪ヲ構成ス

第二 他人ノ保有ニ係ル物タルコト

保有トハ現實ニ物ヲ支配スルコトヲ謂フ即チ其物ニ對スル事實關係ナリ而シテ此事實關係ヲ有スルト否トハ吾人ガ日常ノ慣習ニ從テ決スベキ問題ナリ例ヘバ吾人ガ現實ニ物ヲ所持シ居ル場合ノミナラズ縱令ヒ之ヲ所持セズ且ツ家人ノ不在中ニ於テモ吾人ノ居室ニ存在スル物ハ總テ保有スル物ト謂フコトヲ得ルガ如シ之ト同ジク農夫ガ耕作地ニ農具ヲ置キ去ルガ如キ旅客ガ手荷物ヲ旅舎ニ置キタルガ如キ商人ガ店頭ニ於テ顧客ニ商品ヲ點檢セシムルガ爲メ商品ヲ手渡スルガ如キ或ハ家畜ガ戶外ニ飛來リテ飼家ニ歸ルノ慣習ヲ失フザル限りハ保有ハ繼續シツ、アルモノト謂フベキナリ而シテ此保有ハ現實ニ物ヲ支配スルノ事實ト意思アルコトヲ必要トス故ニ民法ニ所謂占有トハ必ズシモ一致スルコトヲ要セズ茲ニ其ノ兩者ノ異ナル所ヲ述ブレバ左ノ如シ

- (一) 民法ニハ代理者ノ占有ヲ認ムルモ代理占有ハ間接ノ占有ナレバ物ヲ保有スト云フコトヲ得ズ之ニ反シテ占有ヲ代理スル者ハ眞ノ保有者ナリ
- (二) 民法上ノ占有ハ自己ノ爲メニスル意思ヲ必要トスルモ保有ハ自己ノ爲メニスルト云フ意思アルヲ必要トセズ
- (三) 占有ハ相續ニ因リ直ニ承繼スルモ保有ハ承繼ヲ許サズ隨テ遺産ハ相續人ガ現實ニ之ヲ保有スルコトヲ得ル狀況ニ達スルマデモ何人ノ保有ニモ屬セザルモノトス例ヘバ

道路ニ斃死セシ者ノ衣類其他ノ携帶品ハ其相續人ハ第三者ニヨリ現ニ保有セララル、

ヤデハ縱令之ヲ剽取スルモ保有ヲ奪取シタルモノト云フコトヲ得ザルナリ

斯ノ如ク保有ハ必ズシモ一人ノミニ屬スベキニ非ズ數人ガ共同シテ保有スルコトヲ得ベシ即チ數人ガ同等ノ資格ニ於テ共同保有スル場合例ヘバ一個ノ金匣ヲ開クニ必要ナル二個ノ鍵ヲ共同シテ保有スル場合共有保有者ノ一人ガ他ノ共同保有者ノ指揮ヲ受クル場合例ヘバ下女下男及ビ商家ノ使用人等ガ主人ヨリ委託ヲ受ケテ現實ニ物ヲ支配スル所ノ人ハ主人ト共ニ保有者ノ一人ト云フコトヲ得ベキガ如シ

又、貸借關係ノ當事者モ共同保有者ト云フコトヲ得ベキ場合アリ即チ貸主ガ貸與シタル場所ハ貸主又ハ其雇人ガ自由ニ出シ得ル場合ノ如シ例ヘバ學生ニ貸與シタル寄宿所又ハ下宿屋ノ如キ小使又ハ下女等ガ掃除ノ爲メニ自由ニ其場所へ出入スルコトヲ得ベキトキニ借主ガ貸與セラレタル居間ノ裝飾品ヲ竊取スルガ如シ

第三 他人ノ保管ヨリ自己ノ保管ニ移スコト

總テ人ノ保管ニ物ヲ不正ニ自己ノ保管ニ移スハ竊取ナリ此ノ竊取ノ意義ニ付テハ接觸主義遷移主義、隱匿主義ノ諸説アリ左ニ之ヲ區別シテ述フベシ

第一 接觸主義ハ他人ノ保管セル物ニ手ヲ觸ル、時ヨリ竊取ナリトス是レ單ニ手ヲ觸レタ

ルノミナレバ未ダ之ヲ窃取シタルモノニ非ザレバ此説ハ非ナリトス  
保有ノ喪失トハ日常ノ慣習ニ適當スル所ノ方法ニ依リテ物ヲ支配スルコトノ意思ヲ實行  
スルコトノ不能ナル狀況ニ達シタルヲ云フ即チ遺失物ハ此ノ狀況ニヨルモノナリ飼養ノ  
家畜ガ逸走シタル場合モ亦然リトス而シテ自己ノ居室内ニ於テ物ノ置場所ヲ忘レタル場  
合ハ未ダ其物ノ保有ヲ失ヒタリト云フコトヲ得ズ然レドモ公衆ガ知覺シ得ベキ場所ニ物  
ヲ置キ忘レタル場合ニ於テハ普通ニ保有ヲ失ヒタリト云フコトヲ得ベシ

第二 遷移主義ハ物ヲ甲所ヨリ乙所ニ持去リタル場合ナリトス是レ未ダ自己ノ所持ニ移リ  
タルモノニアラザレバ窃取シタリト云フコトヲ得ズ

第三 隱匿主義ハ窃取スルノ意思ヲ以テ他ニ物ヲ隱シ置キタル場合ニシテ窃取シタリト云  
フコトヲ得ズ

要スルニ窃取ハ保管者ヲシテ其保管ヲ失ハシメ自己ノ保管ニ移シテ收得セルニ至リテ始  
メテ窃取ノ實アリトスルモノナリ故ニ竊盜ノ目的ヲ以テ他人ノ家宅ニ侵入シ目的物ヲ探  
索中ハ勿論其目的物ニ手ヲ觸ル、ト雖モ未ダ保管ヲ自己ニ移サザル間ハ竊盜ノ未遂ニシ  
テ實行ニ着手シタル場合ナリ

故ニ其着手ハ物ニ對スル他人ノ保管侵害ニ始マルト雖モ竊盜罪ノ着手ナリヤ否ヤハ侵害

セラルベキ保管物ノ状態ニ依リテ決スベシ例ヘバ牧場ニ在ル獸畜森林内ノ材木等ノ如キ  
ハ自己ノ手ニ所持スル以前ニ於テハ着手ノ行爲ハ之ナキモ家宅内ノ如キ門牆アル場所ニ  
在ル物ニ對シテハ犯人ガ窃取スベキモノヲ選擇スルト否トヲ問ハズ

其場所ニ侵入スルトキハ着手シタルモノトスベキナリ換言セバ竊盜罪ハ物ニ對スル他人  
ノ保管ヲ自己ノ保管ニ移スニ依テ成スモノナレバ或ル行爲ガ竊盜ノ着手ナリヤ否ヤヲ判  
斷スルニハ侵害セラルベキ保管物ノ状態ノ如何ニ從フテ定マルベク從テ家宅内ニ在ル物  
ニ付テハ其邸宅内ニ侵入スルニ依リテ己ニ保管ノ侵害アリト云ハザルベカラズ故ニ縱令  
ヒ物ニ觸レザルモ尙ホ竊盜未遂ニシテ實行ニ着手シタルニ止マルモノトス

他人ノ保有ヨリ自己ノ保有ニ移ス手段方法ニ付テハ法律ハ別ニ限定ナク又前ノ保有者ハ  
正當ニ保有スルト否トヲ問ハズ又他人ニ知レザル様ニ保有ヲ移スコトヲ必要トセズ然レ  
ドモ暴行脅迫等ニ依ラザルコトヲ要ス而シテ如何ナル場合ヲ既遂ナリト謂フヤニ至テハ  
犯人ガ物ノ上ニ支配力ヲ實行シ得ル狀況ニ置キタルトキヲ以テ既遂ナリトス

第四 犯意アルコトヲ要ス今左ニ其場合ヲ區別シテ説明スベシ

(一) 窃取ト云フ犯意ナカルベカラズ即チ犯人モ他人ノ所有物ナルコト且ツ他人ノ保有  
ニ屬スル物ヲ保有者ノ承諾ナクシテ之ヲ自己ノ保有ニ移スト云フ事實ヲ知ルコトヲ必

要トス故ニ犯人ガ自己ノ所有物ト誤信シタル場合無主物ト誤信シタル場合遺失物ナリト誤信シタル場合ニ於テハ竊取ノ意思ナキモノト云フベシ然レドモ所有者并ニ保有者ノ何人ナルコトヲ知リタルコトヲ要セズ而シテ保有者ノ承諾アルモノト誤信シタル場合ニ於テモ亦竊取ノ意思ナキモノト云フベシ

(一) 竊取ハ行爲者ガ自己ノ物トスル意思ヲ以テ爲シタルコトヲ意味スト解スベキナリ而シテ自己ガ其物ノ眞ノ所有者トナルト謂フノ義ニ非ズ又一時其物ヲ所持スル爲メト謂フ義ニモアラズ只ダ保有者ノ物ヲ永久ニ奪ヒ且ツ其物ヲ自由ニ處分スベキ目的ニ出デタルコトヲ要セズ

(三) 竊取ハ不法ニ自己ノ物トスル意思アルコトヲ要ストスルガ故ニ例ヘバ所有者ノ承諾アリ又ハ法律ニ於テ權利所有者ト認メラル、場合ナリト誤信シタルトキハ不法ノ意思ナキヲ以テ本罪ヲ構成セズ

竊盜ノ罪

第一竊盜罪ノ成立要素

- (甲) 不法ニ他人ノ所有物ヲ自己ノ保有ニ移ス  
目的物ハ他人ノ物タルコト  
物體ハ有形物ノ動産ナルコト  
國家若クハ公法人ニ屬スル物モ竊盜ノ目的物ナリ
- (乙) 他人ノ保管ヨリ自己ノ保管ニ移スコト  
接觸主義アリ  
隠匿主義アリ
- (丙) 犯罪ノ意思アルコト  
他人ノ物ヲ竊取スト云フ意思ナカルベカラズ而シテ自己ノ物トスル意思アルヲ要ス

第二準 竊盜

(イ) 自己ノ財物ト雖モ他人ノ占有ニ屬シ又ハ看守シタルモノヲ處分シタルトキハ竊取ヲ成ス  
(ロ) 電氣ヲ約束外ニ擅ニ使用シタル場合

竊盜ハ他人ノ財物ヲ竊取スルト云フニアレバ財トハ經濟上ニ吾人ノ欲望ヲ満足スルニ適スルモノヲ稱スト云フ吾人ノ欲望ニハ其人ノ階級ト生活ノ程度ニ從テ異ナルモノヲ要スルニ衣服飲食金錢其他器具裝飾等ハ吾人ガ常ニ欲望スル所ノモノナリ而シテ經濟上ノ財ニモ有形ナルモノト無形ナルモノトアリト雖モ竊盜罪ヲ構成スルニハ有形ノ財ニシテ動産ナルコトハ前ニ述べタルガ如シ故ニ物ニ非ザル財ハ竊盜ノ目的物ト爲スコトヲ得ザルナリ

竊盜ニハ屋內竊盜ト屋外竊盜トアリ明治二十三年法律第九十九號第一條ニ「家屋其他ノ建造物外ニ於テ犯シタル竊盜ニシテ未ダ遂ゲザル者又ハ己ニ遂ゲタルモ其殘額五圓ニ充タザル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處ストアリ同條ニ所謂建造物トハ荷モ土地ト定着シ家屋及ビ牆壁ヲ有シ人ノ出入ニ適スル建造物ヲ總稱シ其一時のノモノト永久のノモノトハ問フ所ニアラズ即チ倉庫ハ勿論劇場汽車ノ待合所等モ包含スルモノトス家屋ハ人ノ常ニ住居スベキニテ建築造物ヲ云フ而シテ現ニ人ノ住居スルト否トハ問フ所ニアラズ而シテ建造物内ノ竊盜ナリヤ將タ建造外ノ竊盜ナリヤトノ標準ハ竊盜ノ目的物ガ建造物内ニ在リタルヤ否ヤニ依リテ決スベキモノトシテ犯人ガ建造物内ニ在ルヤ否ヤハ問フ所ニアラズ



改正法第二百三十五條ハ舊法第三百六十六條乃至第三百七十條及ビ第三百七十二條乃至第三百七十四條ノ規定ヲ合セテ修正シタルモノト云フヲ以テ第三百七十二條ニハ田野ニ於テ穀類菜菓其他ノ產物ヲ竊取シタル者ノ罪ヲ規定シ同第三百七十三條ハ山林ニ於テ竹木鐵物其他ノ產物ヲ竊取シ又ハ川澤池沼湖海ニ於テ人ノ生養シ若クハ營業ニ關スル產物ヲ竊取シタル者モ亦前條ニ同ジト規定セリ

以上ノ二ヶ條ニ所謂產物トハ田野若クハ山林等ヨリ生ズル天然ノ果實ヲ總稱スルモノニシテ既ニ原物ヨリ分離シタルト否トハ問フ所ニアラズ故ニ一旦收穫シタル穀類ト雖モ苟モ元物タル田野又ハ山林等ニ存在スル物ニ付テハ同條ヲ適用スベキナリ

第三百七十四條ニハ牧場ニ於テ牧畜ノ獸類ヲ竊取シタル者ハ云々ト規定シタリ以上三個ノ條項ニ付テハ前ニ引例シタル特別ノ規定アリ即チ

明治二十三年法律第九十九號第二條ニ曰ク「田野山林川澤沼湖海ニ於テ其產物ヲ竊取セントシ又ハ牧場ニ於テ其獸類ヲ竊取セントシテ未ダ遂ゲザル者又ハ己ニ竊取シタル者其殘額五圓未満ノモノ又前四條ニ同ジ

改正法ハ舊法第三百六十七條以下ノ規定ハ竊盜ノ情狀ニ因リ爲シタル區別ニシテ適用上徒ニ混雜ヲ來タスノミナラズ爲メニ刑ノ範圍ヲ狹メ却テ不當ノ刑ヲ科スル結果ヲ生ズルヲ以

テ總テ此等ノ情狀ノ認定ヲ裁判所ニ一任シ刑期ヲ廣クシテ適宜ノ刑ヲ科スルコトヲ得セシムルコトニ修正シタルモノト解スベキナリ然ラバ即チ改正法第二百三十五條中ニハ舊法第三百六十七條以下ノ場合ノ犯罪ヲ包含セシメテ十年以下ノ懲役ニ處スベキ刑ノ範圍内ニ於テ處罰スベキモノト爲シタルナリ而シテ舊法第三百六十七條以下ノ規定ハ左ノ如シ

第三百六十七條ニ曰ク「水火震災其他ノ變ニ乘ジテ竊盜ヲ犯シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

同條ニ列記ノ如キ天災地變ノ場合ハ竊盜罪ノ犯シ易キヲ以テ比較的其罪ヲ重クシタルモノナリ

第三百六十八條ニ曰ク「門戶牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ鎖鑰ヲ開キ邸宅倉庫ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ亦前條ニ同ジ

第三百六十九條ニ曰ク「二人以上共ニ前三條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

本條ハ二人以上共同シテ竊盜ノ罪ヲ犯シタル場合ヲ規定シタルモノナリ而シテ竊盜共犯者ノ内教唆者ハ二人以上ト云フ人數ノ内ニ加フルコトヲ得ザルモノトス

第三百七十條ニ曰ク「兇器ヲ携帯シテ人ノ住居シタル邸宅ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ輕懲役ニ處ス

本條ハ竊盜ニ持兇器竊盜ナル者アリ兇器トハ人ヲ殺害スルニ足ルベキ刀劍其他ノ刃物又ハ短銃等ヲ云フ而シテ竊盜ハ始メヨリ此兇器ヲ使用スルノ意思ナクシテ俗ニ居直強盜ト云フガ如ク其場合ニ臨ンデ應變ニ使用スルモノナリ近時ノ大審院判決例ヲ見ルニ左ノ如ク判決シタリ

苟モ人身ニ危険ナル器具ヲ携帯シテ人ノ住居シタル邸内ニ入り竊盜ヲ爲スニ於テハ持兇器竊盜罪ヲ構成スルモノトス而シテ其兇器ハ竊盜ヲ行フニ當リ故ラニ之ヲ携帯セシモノナルヤ否ヤ又顯然之ヲ携帯シタル否ヤヲ問フ所ニアラズト

然ラハ則チ兇器ノ意義甚ダ廣シ苟クモ人身ニ危険ナル器具トアル以上ハ針一本ニテモ其使用ニ依リテハ随分危険ナルモノトナレバ之ヲ携ヘ居タル時モ亦持兇器竊盜トナルベシ

第二百三十六條 暴行又ハ脅迫ヲ以テ他人ノ財物ヲ強取シタル者ハ

強盜ノ罪ト爲シ五年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セ

シメタル者亦同シ

〔意義〕 本條ノ暴行ハ普通ノ場合ト異ニシテ一ノ手段トナルベキ場合ノ暴行ナリ暴行ニハ

人ニ對スル場合ト物ニ對スル場合トアリ本條ハ人ニ對スル場合ナリ而シテ人ニ對スル暴行モ必ズシモ直接ニ人ニ對スルコトヲ要セズ即チ直接ニ腕力其他ノ暴行ヲ加フル場合ニ限ラズ間接ニ抵抗力ヲ排除スル場合ヲモ包含ス例ヘバ戸ヲ閉ヂテ一室ニ押込メルガ如キモ本罪ノ場合ハ暴行ト云フコトヲ得ベキナリ而シテ此ノ暴行ハ一ノ手段トナルベキヲ要スルト云フハ即チ他人ノ物ヲ強取スルノ手段トスルニ由ルナリ故ニ強取ノ手段ニ依ラザル暴行ヲ加ヘテ而シテ後チ物ヲ強取スルノ意ヲ生ジタルトキハ本罪ヲ成サズ故ニ強盜着手ノ際ニ之ヲ爲スコトヲ要ス又其暴行ハ人ニ對シテ爲スコトヲ要スル所以ハ他人ノ保有物ヲ強取スルニ在ルヲ以テナリ

脅迫ハ單ニ脅迫スルト持兇器脅迫トノ二アリテ持兇器脅迫ヲ以テ其罪ヲ重シトス而シテ脅迫ハ現ニ迫リタル場合ヲ云フ例ヘバ金ヲ出サント汝ヲ殺害セントカ毆打スベシトカ危急ナルヲ云フ是レ他人ノ物ヲ奪取スルノ手段ナルガ故ニ他人ノ抵抗力ヲ精神的ニ排除スルモノナリ從テ將來他人ノ身體財產ニ危害ヲ加フベキコトヲ以テ脅迫スルモ本罪ヲ成サズ又此脅迫ハ他人ノ保有物ヲ強取スルノ實行々爲ノ手段タルコトヲ要シ此ノ目的ノ豫備行爲トシテ之ヲ行フモ本罪ヲ爲サズ又此暴行脅迫ハ必ズシモ其物ノ保有者ニ對スルコトヲ要セズ被害者ニ於テ救護スベキ者例ヘバ妻子兄弟祖父母父母等ニ對シテ行フトキモ本罪ヲ成スモノト

ス要スルニ犯人ガ物ヲ強取スル場合ニ事實障害ヲ爲ス者ニ對シテ行フヲ云フ且ツ犯人ニ對シテ障害ヲ加フル人タルコトヲ知テ自己ニ保有スル目的ヲ以テ此人ニ對シテ暴行脅迫ヲ加フルコトヲ必要トス故ニ物ノ保有者ニ對シテ若シ抵抗スルトキハ汝ノ妻子ヲ殺害セント脅迫スルガ如キハ強盜ニアラズシテ竊盜ト脅迫罪トノ二罪ヲ犯スモノナリ

前ノ方法ヲ以テ現ニ有形ノ財物ヲ強奪セザルモ不法ニ他人ノ得べき財産上ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者モ亦強盜ヲ以テ論ズルモノトス

本條ガ第二項ヲ設ケタル趣旨ハ實際ノ場合ヨリ云ヘバ無形ノ強取ヲ以テ自己ノ債務ヲ免ルルト云フコト往々アリ然ルニ舊法ニ此ノ規定ナキヲ以テ否債務ヲ免脱スルヲ計ルガ如キ場合ニハ盜罪トナラズト云フニ規定セラレテアルガ故ニ改正法ニハ之ヲ補修シタルモノナリ

**第二百三十七條 強盜ノ目的ヲ以テ其豫備ヲ爲シタル者ハ一二年以下ノ懲役ニ處ス**

【意義】 本條ハ強盜ノ豫備ヲ爲シタルニ止マル場合ヲ罰スルモノトス強盜ノ目的ヲ以テ其豫備ヲ爲シタル者トハ例ヘバ兇器ヲ買ヒ之ヲ以テ目的ノ場合ニ使用セント携帯シ居ルガ如キ又共犯者ト相計リ目的ノ場所ヲ定ムルガ如キヲ云フ是レ強盜ノ豫備ヲ罰スルハ若シ之ヲ罰セザルトキハ之ヲ遂行スルノ恐アルヲ以テナリ

**第二百三十八條 竊盜財物ヲ得テ其取還ヲ拒キ又ハ逮捕ヲ免レ若クハ罪跡ヲ湮滅スル爲メ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタルトキハ強盜ヲ以テ論ス**

【意義】 本罪ハ準強盜トモ云フベキ行爲ニシテ竊盜ニ強盜ヲ以テ論ズベキ場合ナリ故ニ本條ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ場合トス

第一財物ヲ得テ其取還ヲ拒グコト 初メハ竊盜ヲ犯セシ者其竊取セル財物ヲ自己ノ保有ニ移シタル時家人等ノ知ル所トナリテ其財物ヲ取還サントスルニ因リ之ヲ拒グ爲メ暴行ヲ加ヘ又ハ脅迫ヲ爲シテ實行ヲ遂グルニ在リ而シテ其強盜ト異ナル所ハ強盜ハ初メ暴行脅迫ヲ以テ他人ノ保有物ヲ強取スルヲ手段トシ本罪ハ既ニ得タル目的物ノ取還ヲ拒グノ手段ニ出ヅルモノトス而シテ犯人ガ此保有取還ヲ拒ムノ目的ヲ遂ゲタルヤ否ヤヲ問ハズ本罪ハ成立スルモノトス

第二逮捕ヲ免レントシテ暴行又ハ脅迫ヲ爲スコト 此場合ハ屋内又ハ屋外ニ在ルトヲ問ハズ竊盜ヲ行ヒタルトキ巡查又ハ被害者ガ追跡シテ逮捕セントスルニ因リ之ヲ免レントシテ暴行又ハ脅迫ヲ爲スヲ云フ

第三罪跡ヲ湮滅スル爲ナルコト 自己ガ竊盜ヲ爲シタル證據ヲ滅失センガ爲メ暴行脅迫ヲ

爲スヲ云フ例ヘバ竊盜ノ犯人ガ其家人ノ知ル所ノ者ニシテ直チニ自己ノ罪跡ガ顯ハル、  
コトヲ恐レ家人ヲ暴行脅迫シテ其罪跡ヲ湮滅セシムル場合ノ如キヲ云フ

### 第二百三十九條 人ヲ昏醉セシメテ其財物ヲ盜取シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

【意義】 昏醉トハ舊法ニハ醉迷ト云フ文字ヲ使用シタルト同一ノ意味ナレバ全ク其人ノ知覺ヲ失ハシメルコトニシテ勿論藥酒其他ノ方法ヲ以テ昏醉セシムルニ在リ而シテ有形的無形的ニ抵抗力ヲ失ハシムルガ故ニ暴行又ハ脅迫ニ因リテ財物ヲ奪取シタルト同ジク強盜ヲ以テ論ズルモノトス又昏醉セシムルニハ他人ノ保有物ヲ奪取スル手段トシテ行フコトヲ要スルガ故ニ犯人ニ於テ此事實ヲ知り且ツ昏醉セシムルトキニ盜取スルノ意思ナキトキハ假令ヒ後ニ此ノ意思ヲ生ズルモ本罪ヲ構成スルモノニ非ズ

### 第二百四十條 強盜人ヲ傷シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

【意義】 強盜傷人罪ヲ成スニハ其暴行ガ財物ヲ奪取スル手段タルコトヲ要スルハ勿論假令ヒ其手段ニ非ズト雖モ強盜ノ現場ニ於テ傷人行爲ヲ併セ行ヒタルトキヲモ包含スルモノト

ス而シテ強盜ノ現場トハ強盜ノ實行中ハ勿論現ニ行ヒ終リタル際及ビ強盜犯人ガ其現場ヨリ追跡セラレテ逮捕又ハ贓物ノ取戻ヲ免ガル爲メニ人ヲ傷害シタル場合ヲモ包含ス

強盜傷人ノ所爲ハ單一ノ犯罪ヲ構成シ強盜及ビ傷人ノ二罪ヲ構成スルモノニアラズ故ニ數人共犯ノ場合ニ於テモ現實ニ此傷人行爲ニ加功シタル者ハ勿論假令ヒ此行爲ニ與ラズト雖モ傷人行爲ノ事實ヲ知リテ強盜ニ加功シタル者ハ總テ傷人罪ノ責任ヲ負フベキナリ

強盜傷人ニ付テハ傷人ノ意思アリタルコトヲ要シ過失傷人ノ場合ヲ包含セズト雖モ死ニ致シタル者トアルニ依レバ殺人ノ意思アリタルコトヲ必要トセズ苟モ此結果ガ故意ノ傷人行爲ニ因リテ生ジタルヲ以テ足レリトス此ノ場合ニ付テノ近來ノ判決例ヲ見ルニ左ノ如シ

#### (判決例)

強盜傷人ノ所爲ハ單一ノ犯罪ヲ構成シ強盜及ビ傷人ノ二罪ヲ構成スルモノニ非ズ故ニ強盜傷人ノ所爲アリトシテ提起セラレタル公訴ニ對シテハ一ノ判決ヲ以テ刑ノ言渡ヲ爲スノミニテ足ルモノトス云々

強盜ノ着手後人ヲ殺傷シタルモ未ダ財物ノ強取ヲ爲サズ財物ノ強取ハ之ヲ遂グルモ殺傷行爲ハ着手シタルノミニテ未ダ其結果ヲ生ゼザルトキハ本罪ノ未遂ト爲スベキモノトス  
又死ニ致スト云フモ殺害ノ意思ナク即チ死ト云フ結果ヲ豫期シタルニ非ザル場合ト之ヲ豫